

さくら市
子育て支援についてのアンケート調査
【結果報告書】

令和6年5月

さくら市

目 次

I	調査の概要.....	1
II	調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）	2
	1. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について.....	2
	2. 子どもの育ちをめぐる環境について.....	5
	3. お子さんの保護者の就労状況について.....	9
	4. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	18
	5. お子さんの土日・休日や長期休暇中の「定期的」な 教育・保育事業の利用希望について.....	33
	6. お子さんの病気の際の対応について.....	36
	7. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	43
	8. お子さんの子育て支援センターの利用状況について.....	50
	9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	53
	10. 育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度について.....	67
	11. 子育て全般について.....	76
III	調査結果（子どもの生活実態調査）	83
	1. お子さんの教育など家庭の様子について.....	83
	2. 家庭での暮らしについて.....	88
IV	資料編.....	96

I 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、令和2年3月に策定した「第2期さくら市子ども・子育て支援事業計画」が令和6年度に終了することに伴い、令和7年度からの「第3期さくら市子ども・子育て支援事業計画」の策定の基礎資料とするため、市民の皆さまの子育てに関する実態やご意見・ご要望等を把握することを目的に実施しました。

(2) 調査対象者

調査区分	調査対象者	調査対象者数
就学前児童	市内在住の就学前の児童から全員抽出	1,642人
小学生児童	市内在住の小学校の児童から全員抽出	1,264人

※きょうだいがいる世帯は、一番下の児童を調査対象者とした。

(3) 実施概要

- 調査地域：さくら市全域
- 調査形式：アンケート調査
- 調査方法：郵送配布・郵送回収またはWEB調査
- 調査期間：令和6年1月31日（水）～令和6年2月29日（木）

(4) 回収結果

調査区分	配布数	回答方法	回収数	回収率
就学前児童	1,642件	郵送	489件	29.8%
		WEB	348件	21.2%
		小計	837件	51.0%
小学校児童	1,264件	郵送	369件	29.2%
		WEB	234件	18.5%
		小計	603件	47.7%
合計	2,906件	-	1,440件	49.6%

(5) 報告書を見る際の留意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。

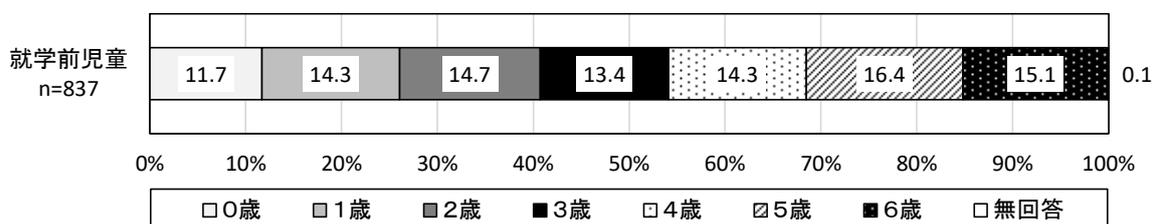
II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

1. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

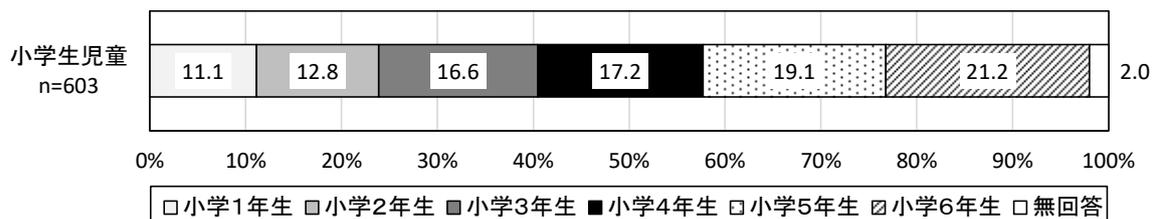
(1) 宛名の子どもの年齢・学年〈単数回答〉[就学前児童調査：問1、小学生児童調査：問1]

子どもの年齢・学年について、就学前児童は「5歳」が16.4%で最も高く、次いで、「6歳」が15.1%となっています。小学生児童は「小学6年生」が21.2%で最も高く、次いで、「小学5年生」が19.1%となっています。

■就学前児童



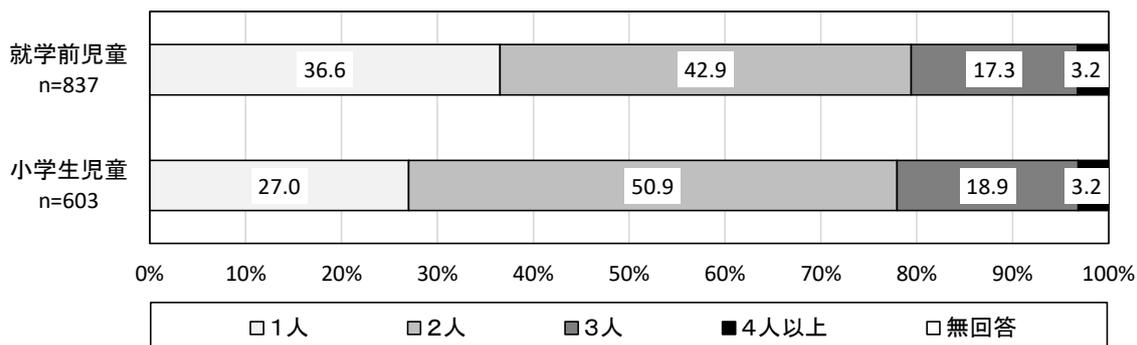
■小学生児童



(2) きょうだいの人数・末子の子どもの年齢〈単数回答〉[就学前児童調査：問2、小学生児童調査：問2]

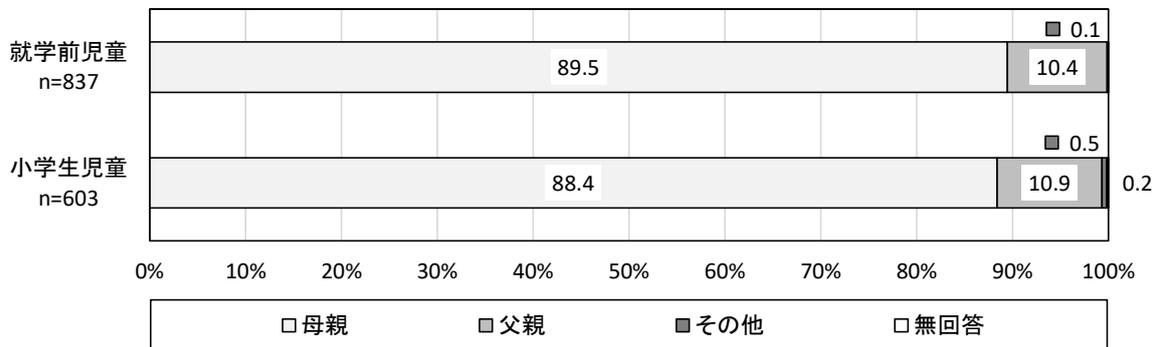
【きょうだいの人数（宛名の子どもを含めた人数）】

きょうだいの人数については、「2人」が就学前児童で42.9%、小学生児童で50.9%と最も高く、次いで、「1人」が就学前児童で36.6%、小学生児童で27.0%となっています。



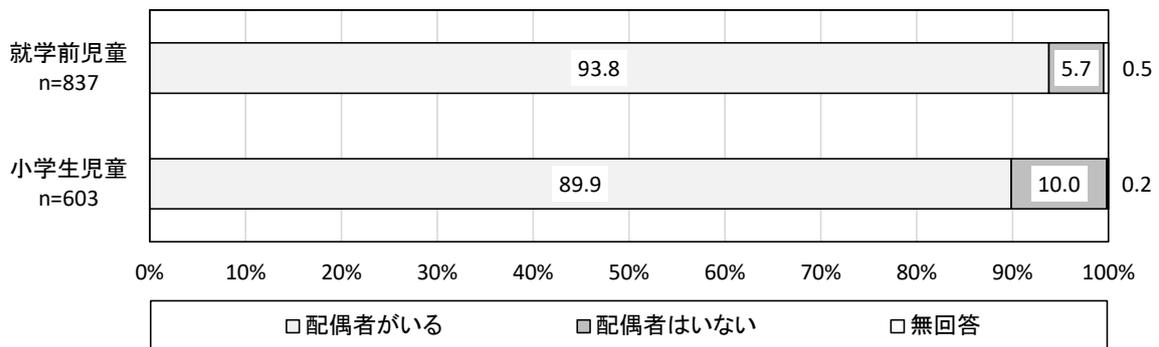
（３）調査票の回答者〈単数回答〉〔就学前児童調査：問３、小学生児童調査：問３〕

調査票への回答者については、「母親」が就学前児童で89.5%、小学生児童で88.4%と最も高く、次いで、「父親」が就学前児童で10.4%、小学生児童で10.9%となっています。



（４）回答者の配偶関係〈単数回答〉〔就学前児童調査：問４、小学生児童調査：問４〕

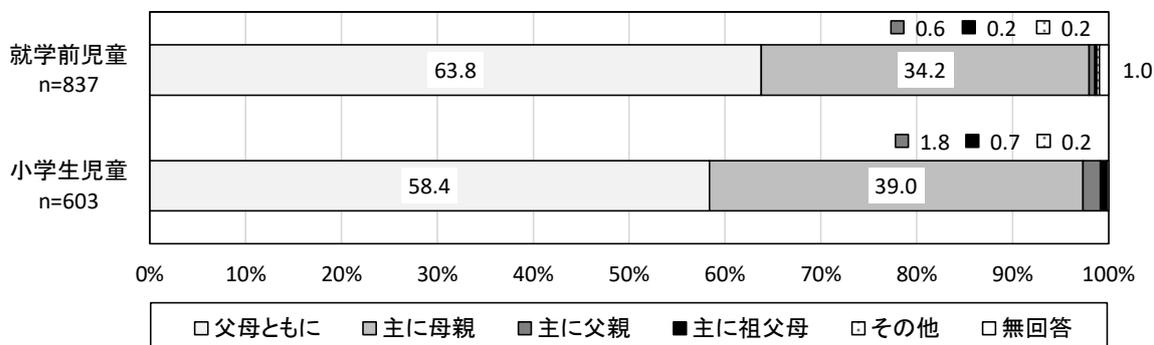
回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる」が就学前児童で93.8%、小学生児童で89.9%となっており、「配偶者はいない」が就学前児童で5.7%、小学生児童で10.0%となっています。



II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

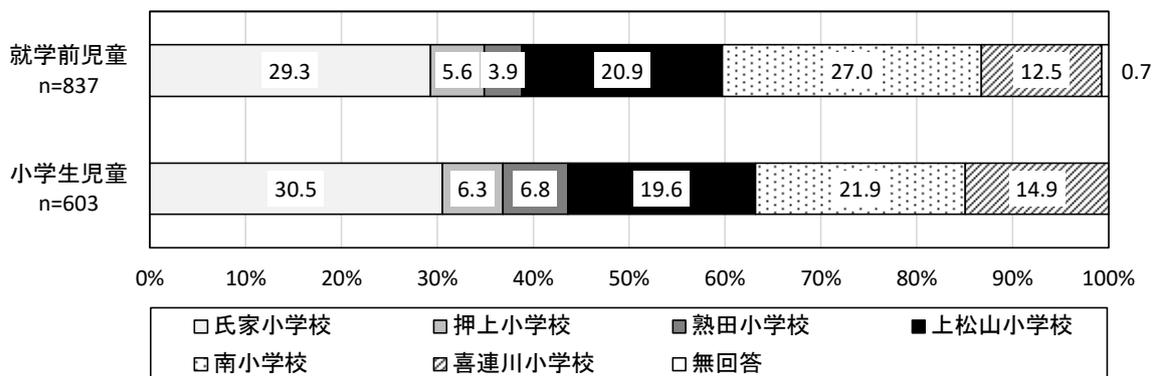
（５）子育て（教育を含む）を主に行っている方〈単数回答〉〔就学前児童調査：問５、小学生児童調査：問５〕

子どもの子育てを主にしている方については、「父母ともに」が就学前児童で63.8%、小学生児童で58.4%と最も高く、次いで、「主に母親」が就学前児童で34.2%、小学生児童で39.0%となっています。



（６）居住地区の小学校区〈単数回答〉〔就学前児童調査：問６、小学生児童調査：問６〕

居住地区の小学校区については、「氏家小学校」が就学前児童で29.3%、小学生児童で30.5%と最も高く、次いで、「南小学校」が就学前児童で27.0%、小学生児童で21.9%となっています。



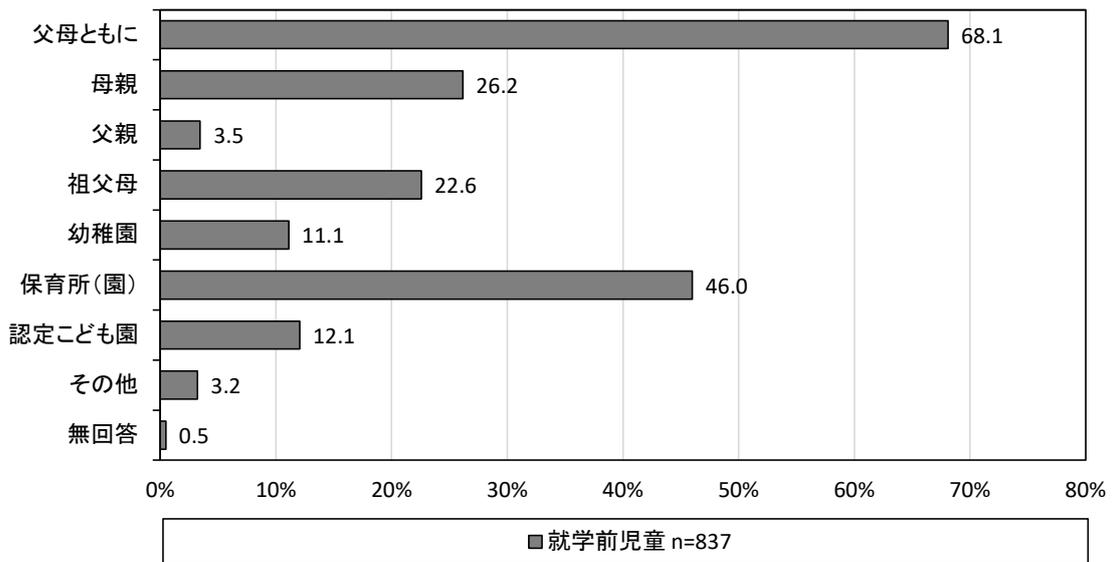
2. 子どもの育ちをめぐる環境について

（1）子育て（教育を含む）を日常的に行っている人・施設について〈複数回答〉

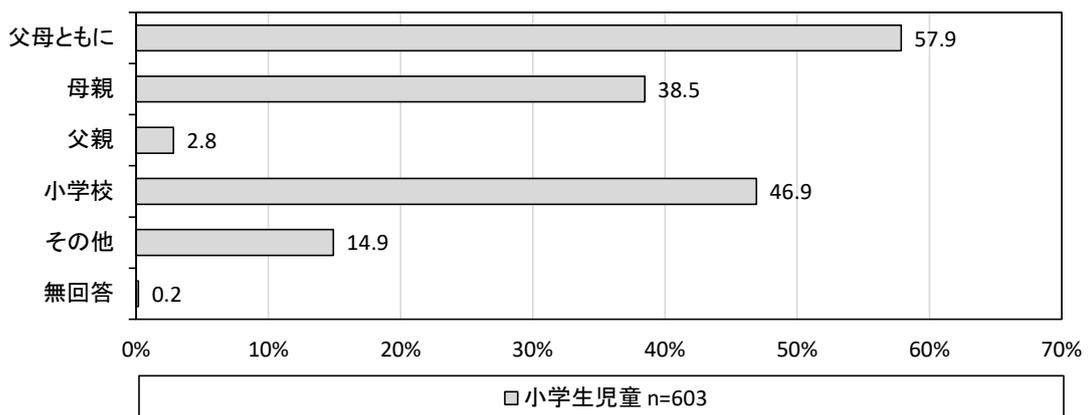
[就学前児童調査：問7、小学生児童調査：問7]

子どもの子育てに日常的に関わっている方（施設）については、「父母ともに」が就学前児童で68.1%、小学生児童で57.9%と最も高く、次いで、就学前児童では「保育所（園）」が46.0%、小学生児童では「小学校」が46.9%となっています。

■就学前児童



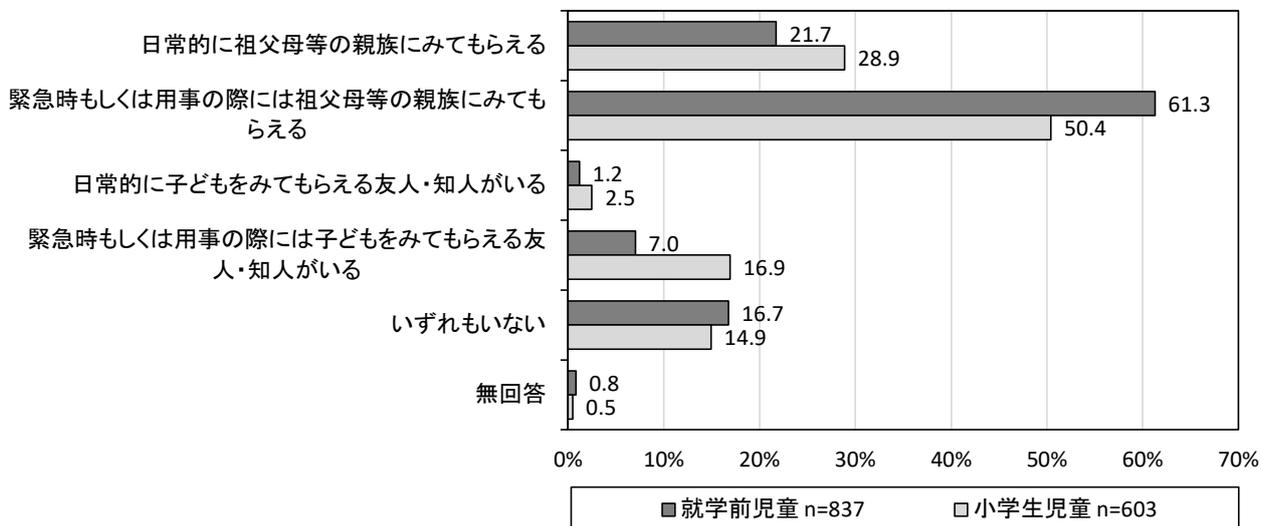
■小学生児童



II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

（2）日常的にみてくれる親族・知人の有無〈複数回答〉〔就学前児童調査：問8、小学生児童調査：問8〕

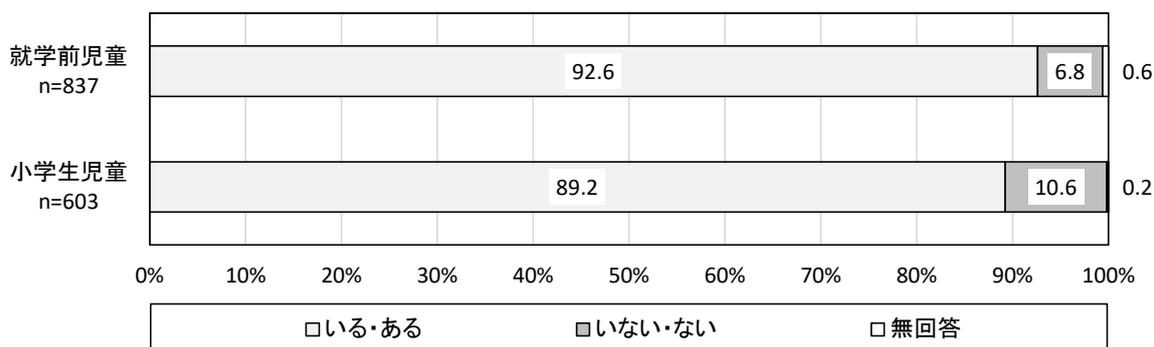
宛名の子どもを日常的にみてくれる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童で61.3%、小学生児童で50.4%と最も高く、次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童で21.7%、小学生児童で28.9%となっています。



（3）子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査：問9、小学生児童調査：問9〕

子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無については、「いる・ある」が就学前児童で92.6%、小学生児童で89.2%となっており、「いない・ない」が就学前児童で6.8%、小学生児童で10.6%となっています。

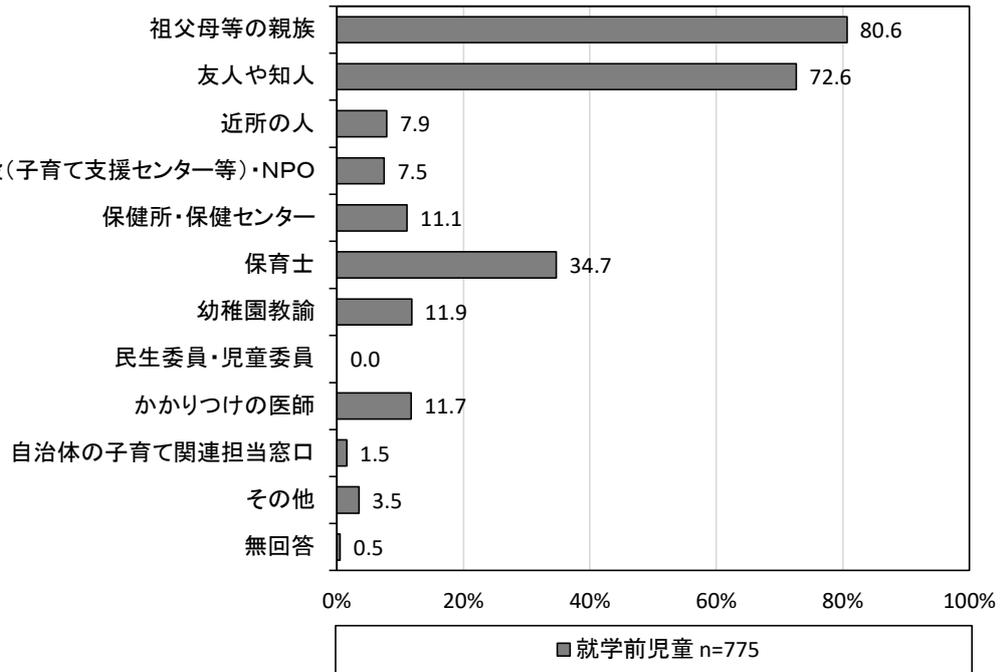


（3）で「いる・ある」を選択した方

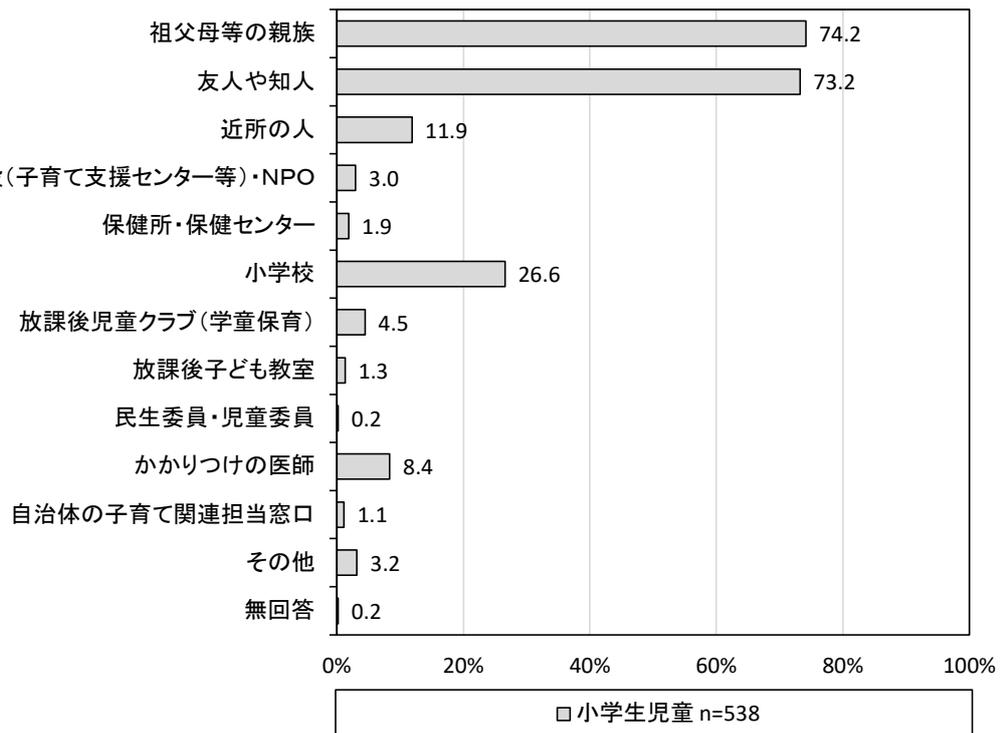
（4）相談相手・相談場所〈複数回答〉〔就学前児童調査：問9-1、小学生児童調査：問9-1〕

相談相手・相談場所については、「祖父母等の親族」が就学前児童で80.6%、小学生児童で74.2%と最も高く、次いで「友人や知人」が就学前児童で72.6%、小学生児童で73.2%となっています。

■就学前児童



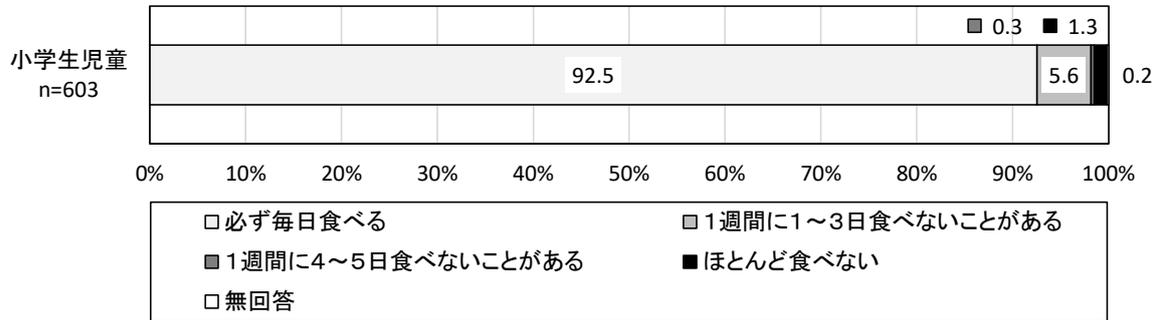
■小学生児童



II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

（5）子どもが毎日朝食を食べるか〈単数回答〉〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問10〕

子どもが毎日朝食を食べるかについては、「必ず毎日食べる」が92.5%で最も高く、次いで、「1週間に1～3日食べないことがある」が5.6%となっています。



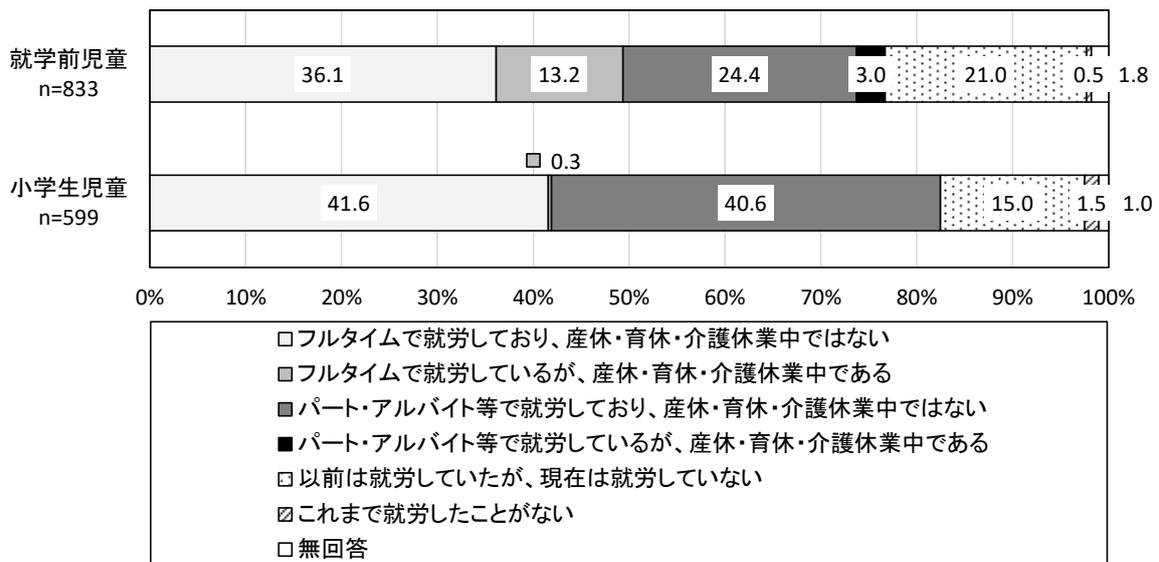
3. お子さんの保護者の就労状況について

〈母親の状況について〉

※父子家庭の方は記入不要

（1）母親の就労状況〈単数回答〉[就学前児童調査：問 10、小学生児童調査：問 11]

母親の現在の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が就学前児童で36.1%、小学生児童で41.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が就学前児童で24.4%、小学生児童で40.6%となっています。



II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

（1）で（就労している）を選択した方

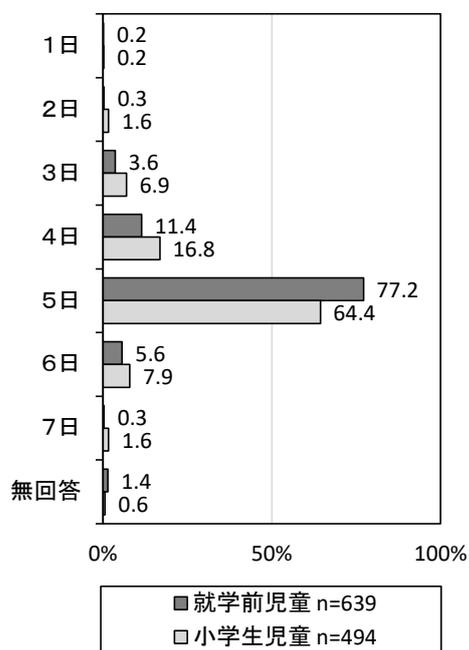
（2）母親の就労日数・時間〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 10-1、小学生児童調査：問 11-1〕

母親の1週あたりの就労日数については、「5日」が就学前児童で77.2%、小学生児童で64.4%と最も高く、次いで、「4日」が就学前児童で11.4%、小学生児童で16.8%となっています。

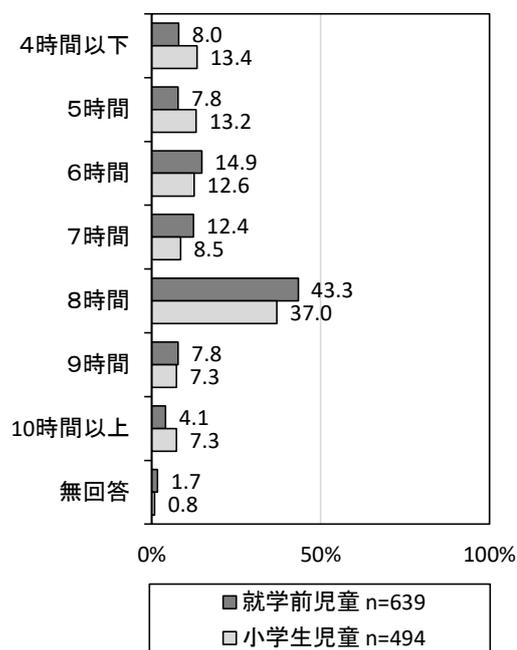
母親の1日あたりの就労時間について、就学前児童は「8時間」が43.3%で最も高く、次いで、「6時間」が14.9%となっています。小学生児童は「8時間」が37.0%で最も高く、次いで、「4時間以下」が13.4%となっています。

【母親の就労日数・時間】

■ 1週あたりの就労日数



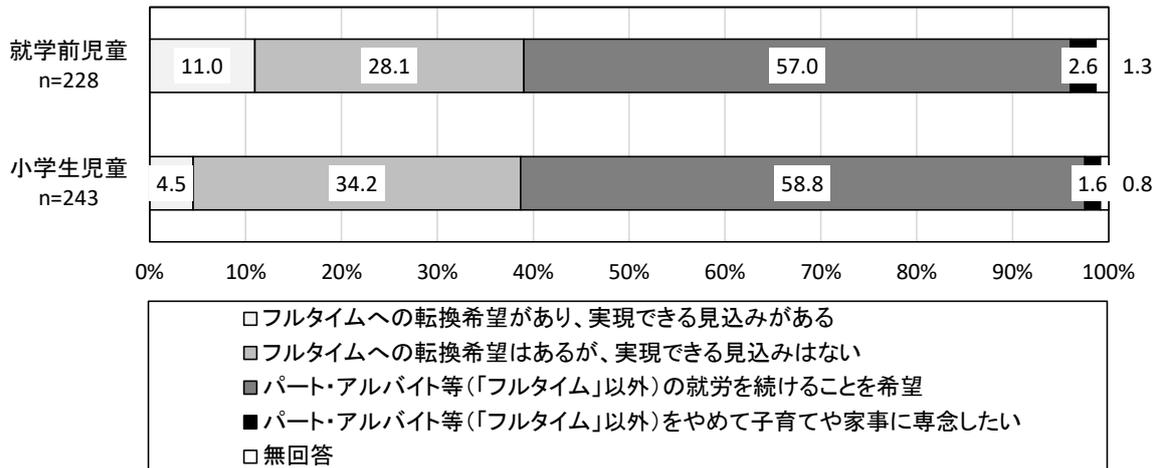
■ 1日あたりの就労時間



（1）で（パート・アルバイト等で就労）を選択した方

（3）母親のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 10-2、小学生児童調査：問 11-2〕

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が就学前児童で 57.0%、小学生児童で 58.8%と最も高く、次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が就学前児童で 28.1%、小学生児童で 34.2%となっています。



II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

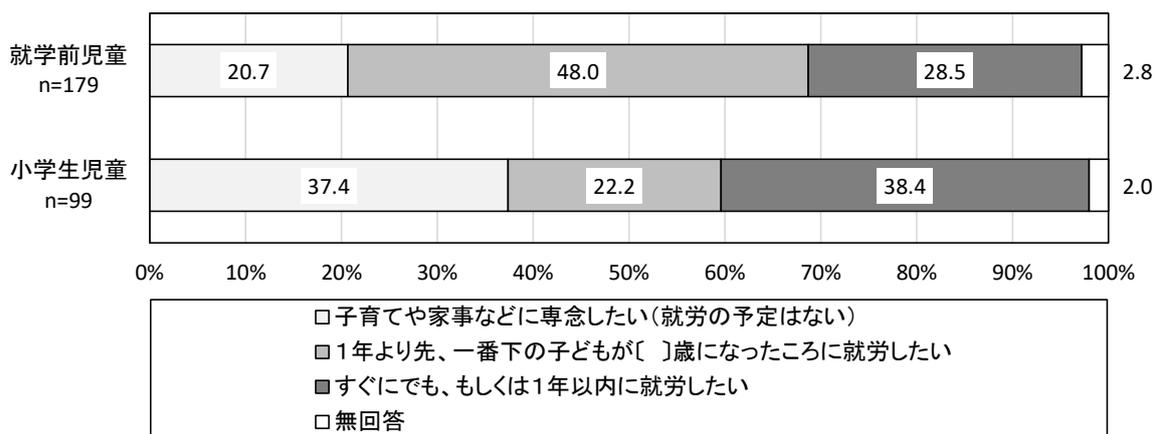
（1）で（就労していない、就労したことがない）を選択した方

（4）母親の就労希望の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 10-3、小学生児童調査：問 11-3〕

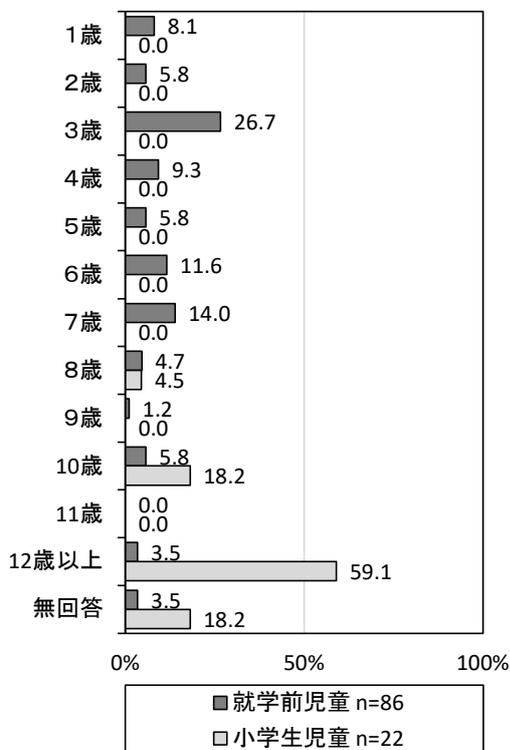
母親の就労希望について、就学前児童は「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」が48.0%で最も高く、次いで、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が28.5%となっています。

小学生児童は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が38.4%で最も高く、次いで、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が37.4%となっています。

なお、一番下の子どもが何歳になったところに就労したいかについて、就学前児童は「3歳」が26.7%で最も高く、小学生児童は「12歳以上」が59.1%で最も高くなっています。



■子どもが〔 〕歳になったところに就労したい

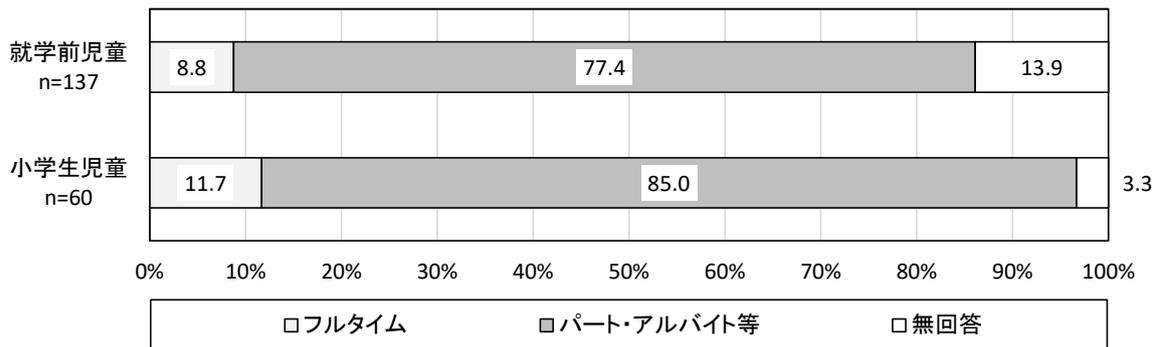


（4）で（就労したい）を選択した方

（5）母親の希望する就労形態〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 10-4、小学生児童調査：問 11-4〕

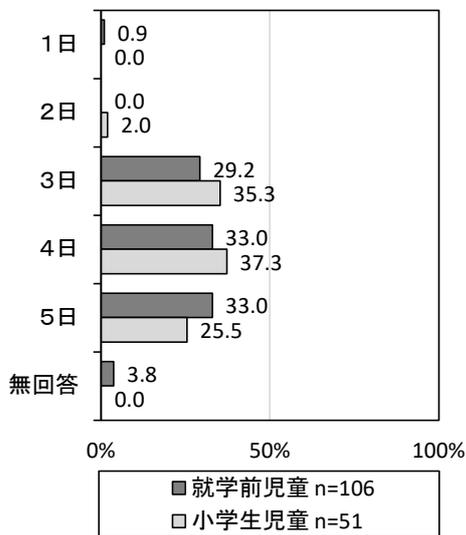
就労したいという希望がある母親の希望する就労形態については、「パート・アルバイト等」が就学前児童で 77.4%、小学生児童で 85.0%となっており、「フルタイム」が就学前児童で 8.8%、小学生児童で 11.7%となっています。

また、希望する就労形態において「パート・アルバイト等」と回答した方の 1 週あたりの希望就労日数について、就学前児童は「4 日」、「5 日」が 33.0%、小学生児童は「4 日」が 37.3%で最も高く、1 日あたりの希望就労時間については、「5 時間」が就学前児童で 37.7%、小学生児童で 39.2%と最も高くなっています。

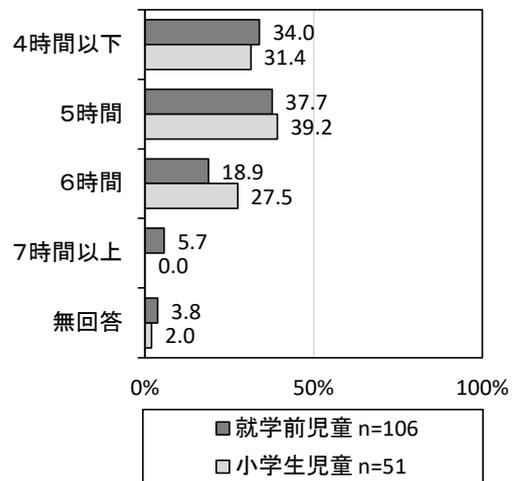


【パート・アルバイト等の希望就労日数・時間】

■ 1 週あたりの希望就労日数



■ 1 日あたりの希望就労時間



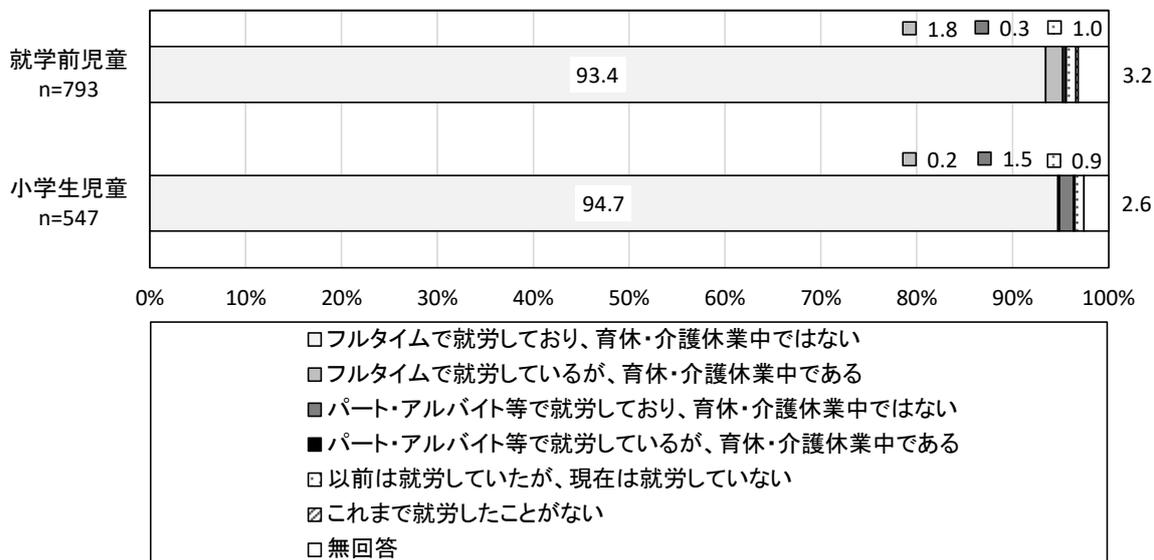
II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

〈父親の状況について〉

※母子家庭の方は記入不要

（6）父親の就労状況〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 11、小学生児童調査：問 12〕

父親の現在の就労状況については、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が就学前児童で 93.4%、小学生児童で 94.7%と最も高く、9割以上を占めています。



（6）で（就労している）を選択した方

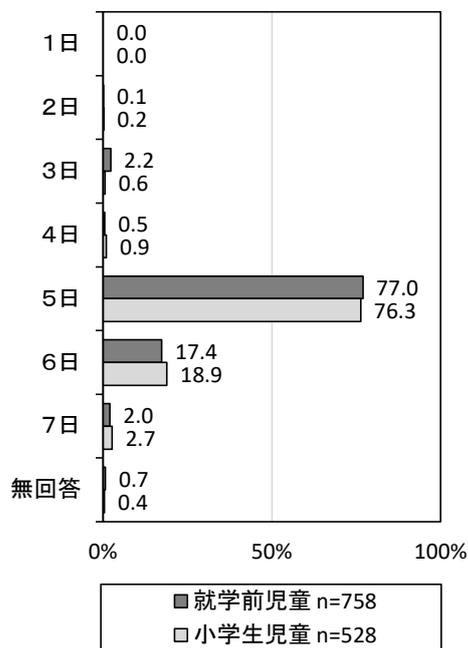
（7）父親の就労日数・時間〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 11-1、小学生児童調査：問 12-1〕

父親の1週あたりの就労日数については、「5日」が就学前児童で77.0%、小学生児童で76.3%と最も高く、次いで、「6日」が就学前児童で17.4%、小学生児童で18.9%となっています。

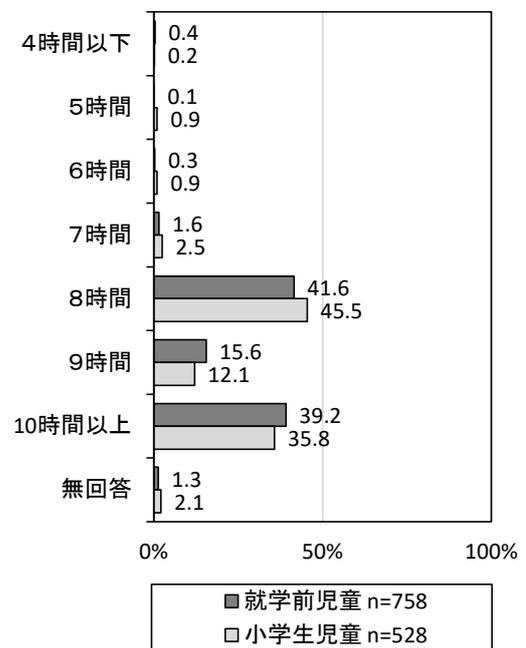
父親の1日あたりの就労時間については、「8時間」が就学前児童で41.6%、小学生児童で45.5%と最も高く、次いで、「10時間以上」が就学前児童で39.2%、小学生児童で35.8%となっています。

【父親の就労日数・時間】

■ 1週あたりの就労日数



■ 1日あたりの就労時間

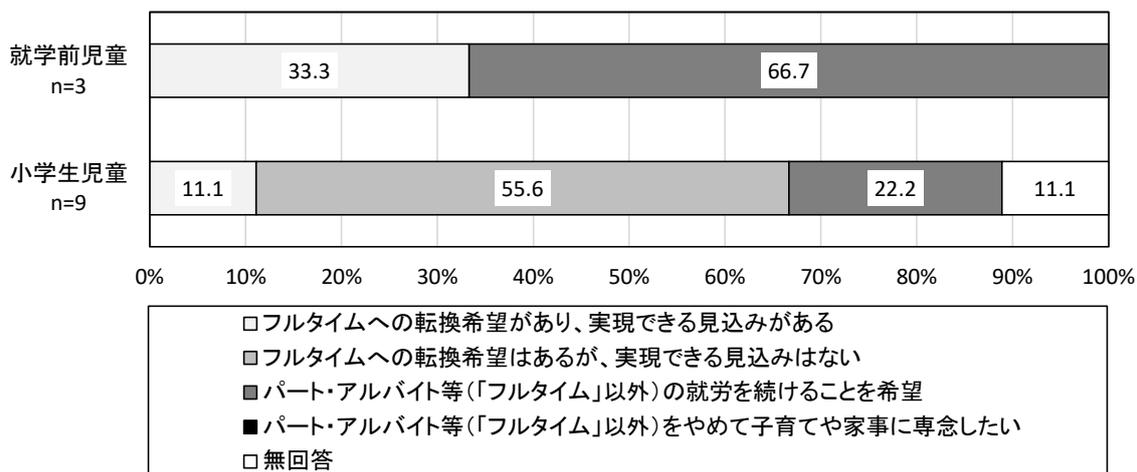


II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

（7）で（パート・アルバイト等で就労）を選択した方

（8）父親のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 11-2、小学生児童調査：問 12-2〕

父親のフルタイムへの転換希望について、就学前児童は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 66.7%で最も高く、次いで、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 33.3%となっています。小学生児童は「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 55.6%で最も高く、次いで、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 22.2%となっています。

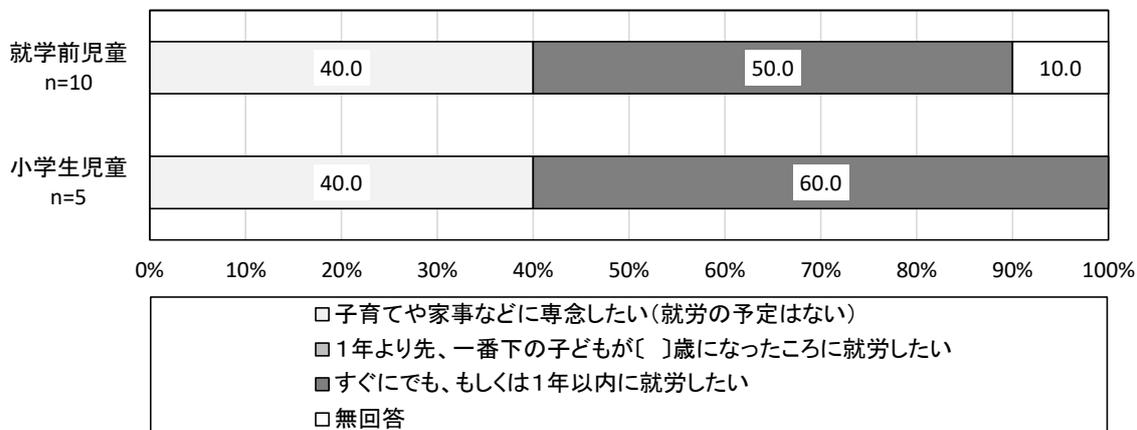


（6）で（就労していない、就労したことがない）を選択した方

（9）父親の就労希望の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 11-3、小学生児童調査：問 12-3〕

父親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が就学前児童で 50.0%、小学生児童で 60.0%と最も高く、次いで、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が就学前児童で 40.0%、小学生児童で 40.0%となっています。

なお、一番下の子どもが何歳になったところに就労したいかについて、該当する回答者がいませんでした。

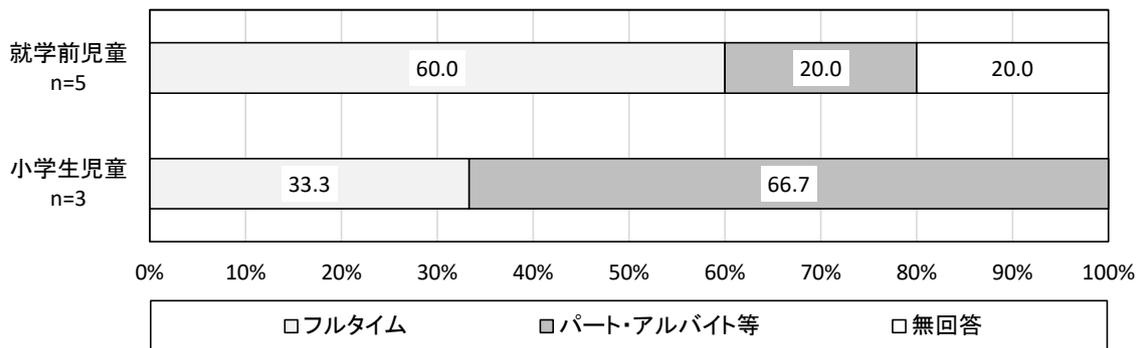


（9）で（就労したい）を選択した方

（10）父親の希望する就労形態〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 11-4、小学生児童調査：問 12-4〕

就労したいという希望がある父親の希望する就労形態について、就学前児童は「フルタイム」が 60.0%で最も高く、次いで、「パート・アルバイト等」が 20.0%となっています。小学生児童は「パート・アルバイト等」が 66.7%で最も高く、次いで「フルタイム」が 33.3%となっています。

また、希望する就労形態において「パート・アルバイト等」と回答した方の 1 週あたりの希望就労日数について、就学前児童は「5 日」が 100.0%、小学生児童は「3 日」が 50.0%で最も高く、1 日あたりの希望就労時間について、就学前児童は「7 時間以上」が 100.0%、小学生児童は「4 時間以下」が 50.0%で最も高くなっています。



【パート・アルバイト等の希望就労日数・時間】

■ 1 週あたりの希望就労日数

1 週あたりの希望就労日数について、就学前児童は該当する回答者は 1 人で、「5 日」となっています。小学生児童は該当する回答者は 2 人で、「3 日」、「無回答」がそれぞれ 1 人となっています。

■ 1 日あたりの希望就労時間

1 週あたりの希望就労日時間について、就学前児童は該当する回答者は 1 人で、「7 時間以上」となっています。小学生児童は該当する回答者は 2 人で、「4 時間以下」、「無回答」がそれぞれ 1 人となっています。

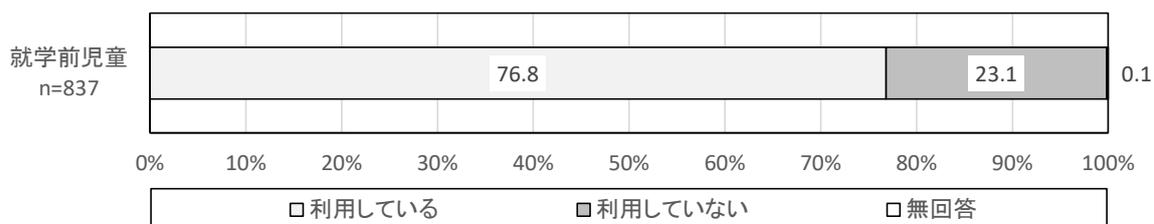
4. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

（1）幼稚園や保育所などの「教育・保育の事業」の定期的な利用の有無〈単数回答〉

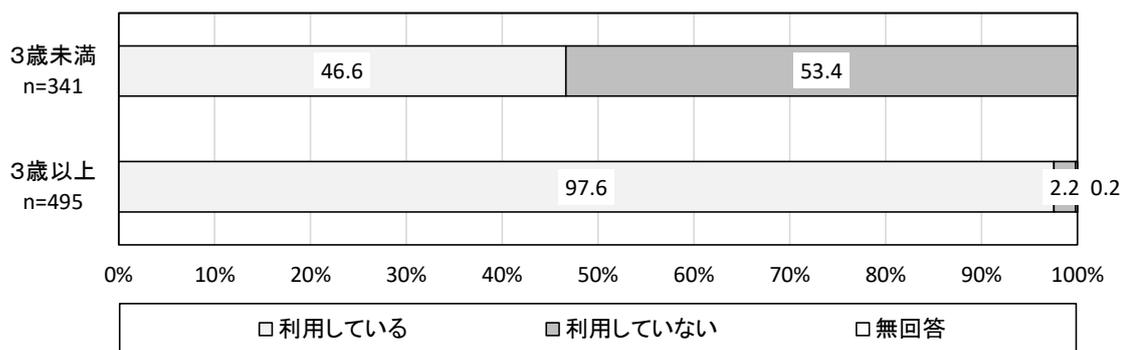
〔就学前児童調査：問 12、小学生児童調査：－〕

平日の幼稚園や保育所などの利用状況については、「利用している」が76.8%、「利用していない」が23.1%となっています。

年齢別にみると、「利用している」が3歳未満で46.6%、3歳以上で97.6%となっています。



■年齢別 平日の幼稚園や保育所などの利用状況



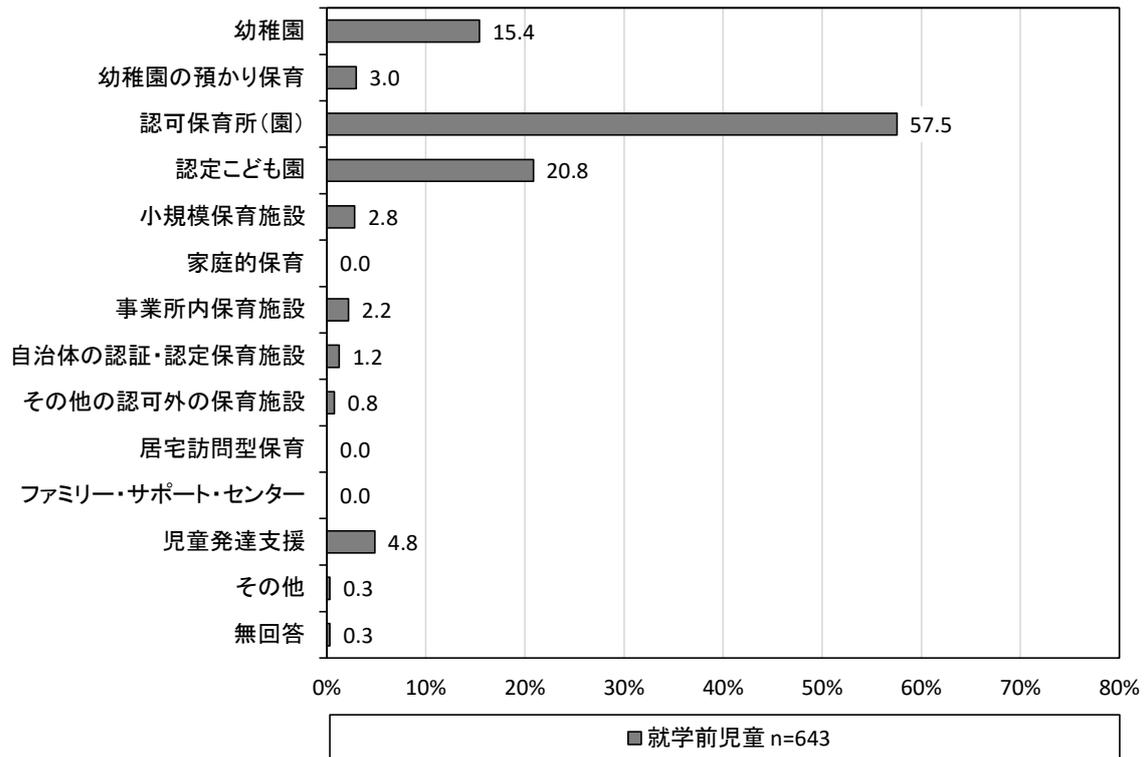
（1）で「利用している」を選択した方

（2）平日に定期的に利用している幼稚園や保育所などの「教育・保育の事業」〈複数回答〉

〔就学前児童調査：問 12-1、小学生児童調査：－〕

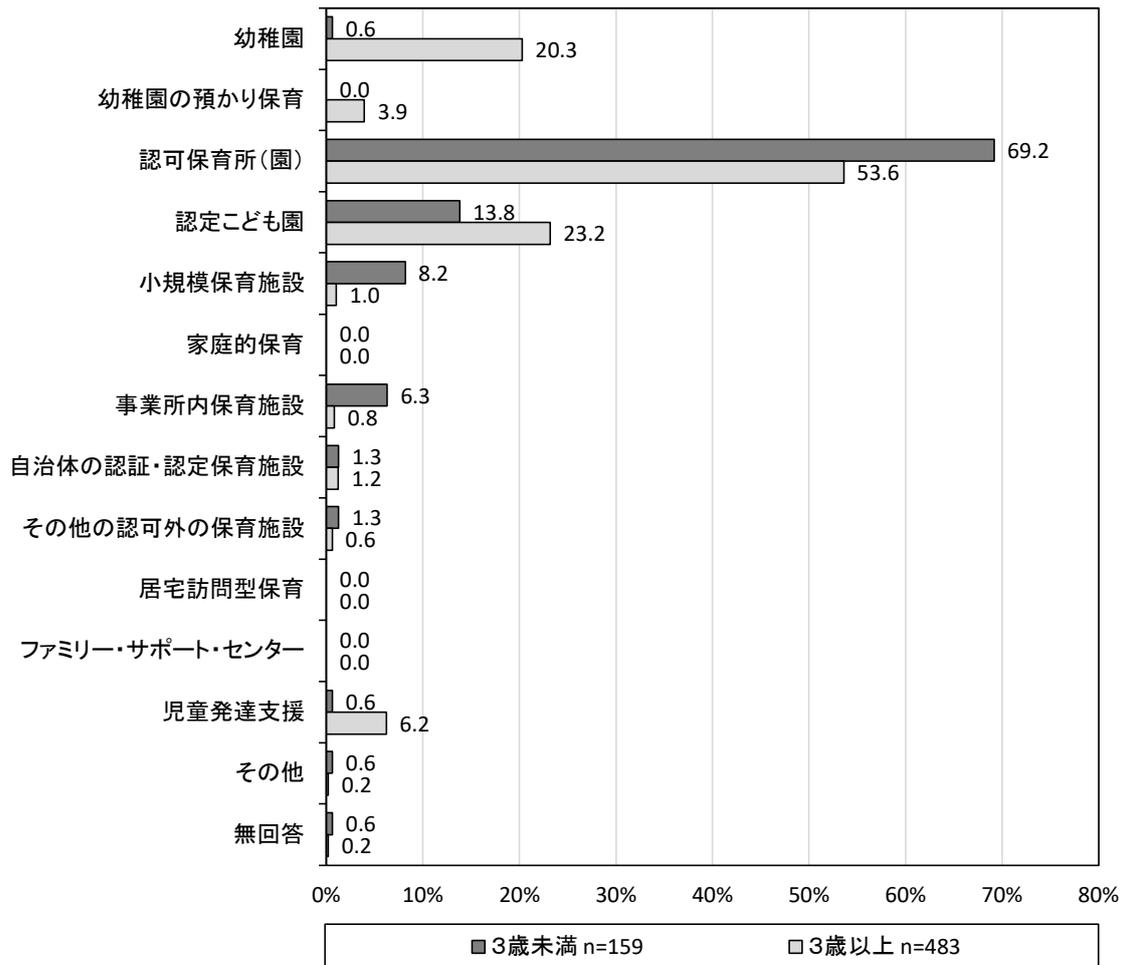
平日に定期的に利用している事業については、「認可保育所（園）」が 57.5%で最も高く、次いで、「認定こども園」が 20.8%、「幼稚園」が 15.4%となっています。

年齢別にみると、「認可保育所（園）」が 3歳未満で 69.2%、3歳以上で 53.6%と最も高く、次いで、「認定こども園」が 3歳未満で 13.8%、3歳以上で 23.2%となっています。



II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

■年齢別 平日に定期的にご利用している事業



（1）で「利用している」を選択した方

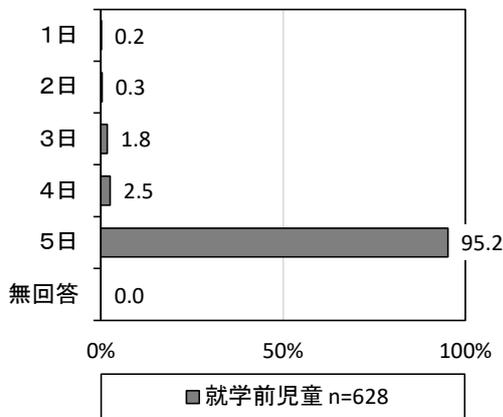
（3）平日に定期的に利用している教育・保育の事業の、①現在の利用状況、②今後の利用希望
 〈数量回答〉[就学前児童調査：問 12-2（1）（2）、小学生児童調査：－]

①現在の利用状況

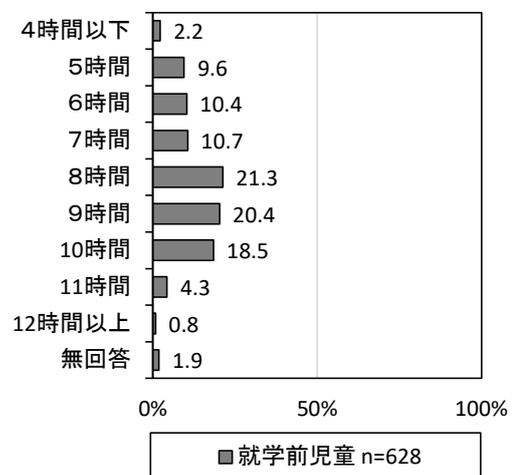
現在の利用状況における1週あたりの利用日数については、「5日」が95.2%で最も高く、次いで、「4日」が2.5%となっています。1日あたりの利用時間については、「8時間」が21.3%で最も高く、次いで、「9時間」が20.4%となっています。

また、利用開始時間については、「8時」が50.6%で最も高く、次いで、「9時」が28.7%となっています。利用終了時間については、「17時」が30.7%で最も高く、次いで、「16時」が24.5%となっています。

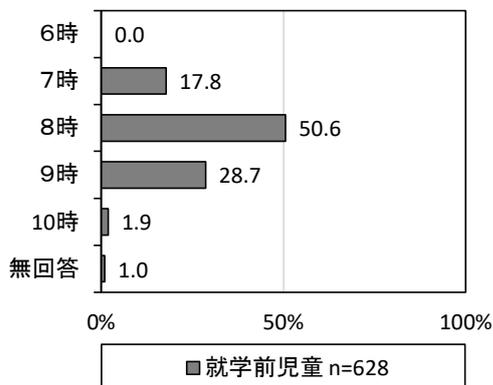
■ 1週あたりの利用日数（現在）



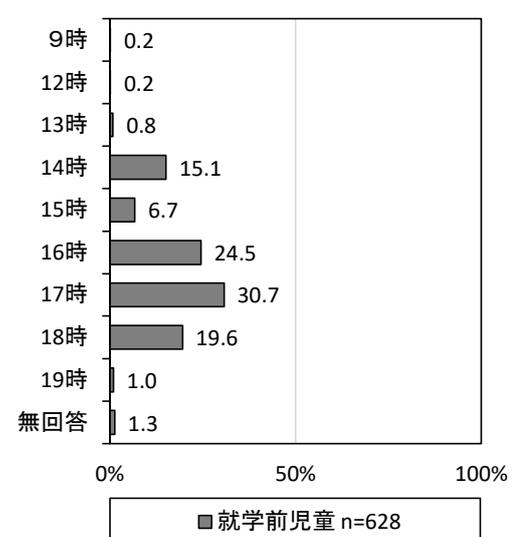
■ 1日あたりの利用時間（現在）



■ 利用開始時間（現在）



■ 利用終了時間（現在）



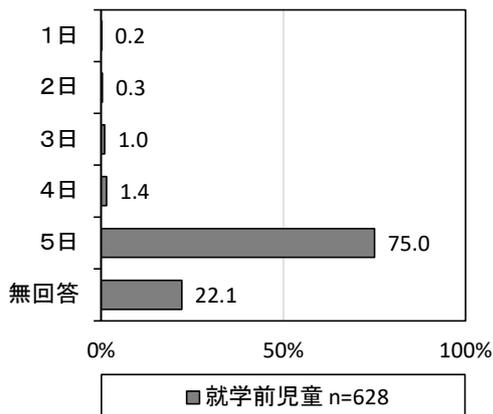
II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

②今後の利用希望

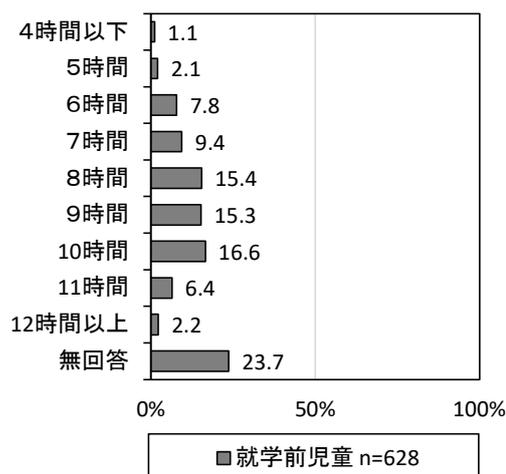
今後の利用希望における1週あたりの利用日数については、「5日」が75.0%で最も高く、次いで「4日」が1.4%となっています。1日あたりの利用時間については、「10時間」が16.6%で最も高く、次いで、「8時間」が15.4%となっています。

また、希望の利用開始時間については、「8時」が39.6%で最も高く、次いで、「9時」が19.1%となっています。希望の利用終了時間については、「17時」が22.9%で最も高く、次いで、「18時」が21.0%となっています。

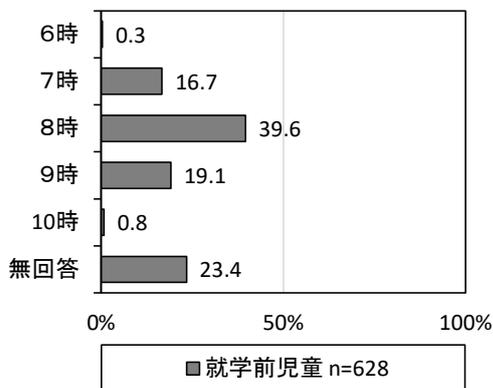
■ 1週あたりの利用日数（希望）



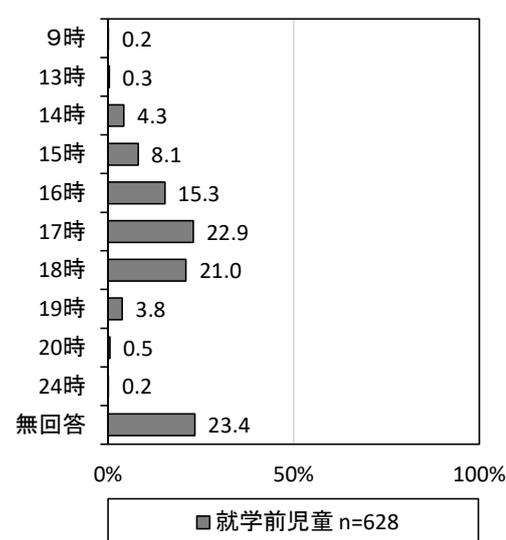
■ 1日あたりの利用時間（希望）



■ 利用開始時間（希望）



■ 利用終了時間（希望）



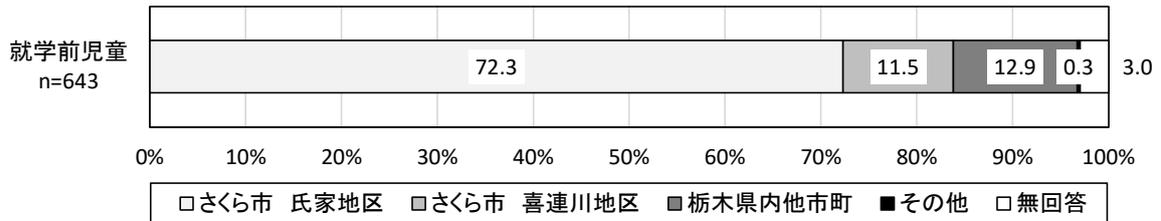
（1）で「利用している」を選択した方

（4）現在、利用している「教育・保育の事業」の実施場所〈単数回答〉

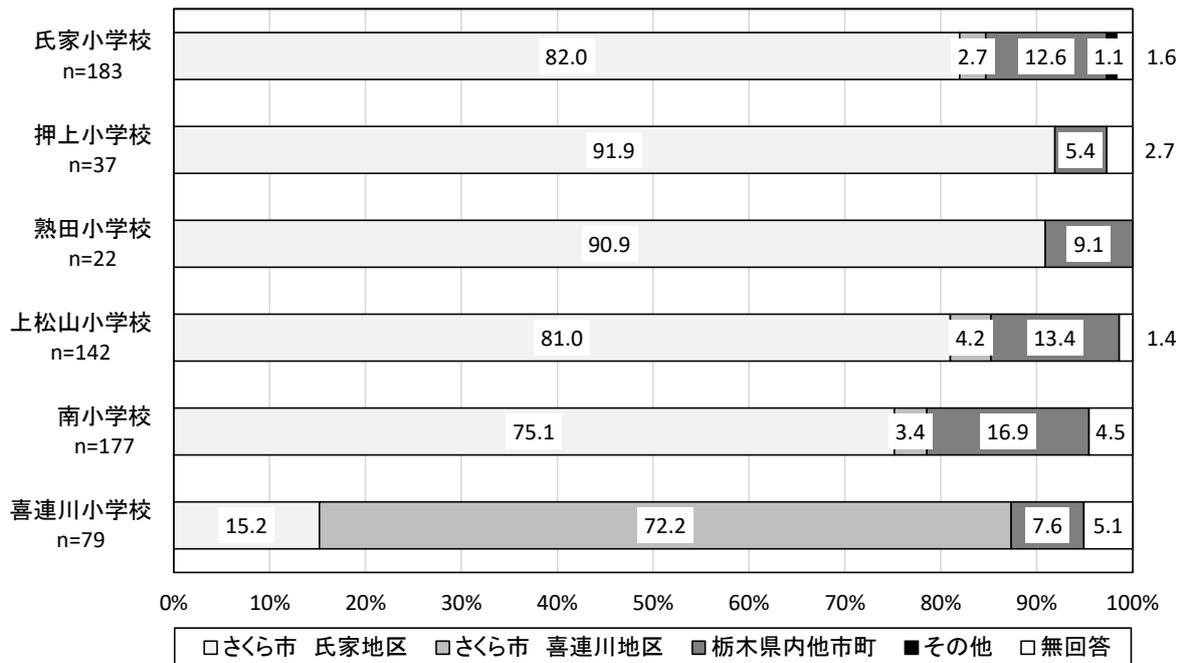
〔就学前児童調査：問 12-3、小学生児童調査：－〕

現在、利用している教育・保育の事業の実施場所については、「さくら市 氏家地区」が72.3%で最も高く、次いで、「栃木県内他市町」が12.9%となっています。

居住地区別にみると、喜連川小学校を除く5地区では「さくら市 氏家地区」が最も高くなっており、喜連川小学校では「さくら市 喜連川地区」が最も高くなっています。



■居住地区別 利用している教育・保育の事業の実施場所



II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

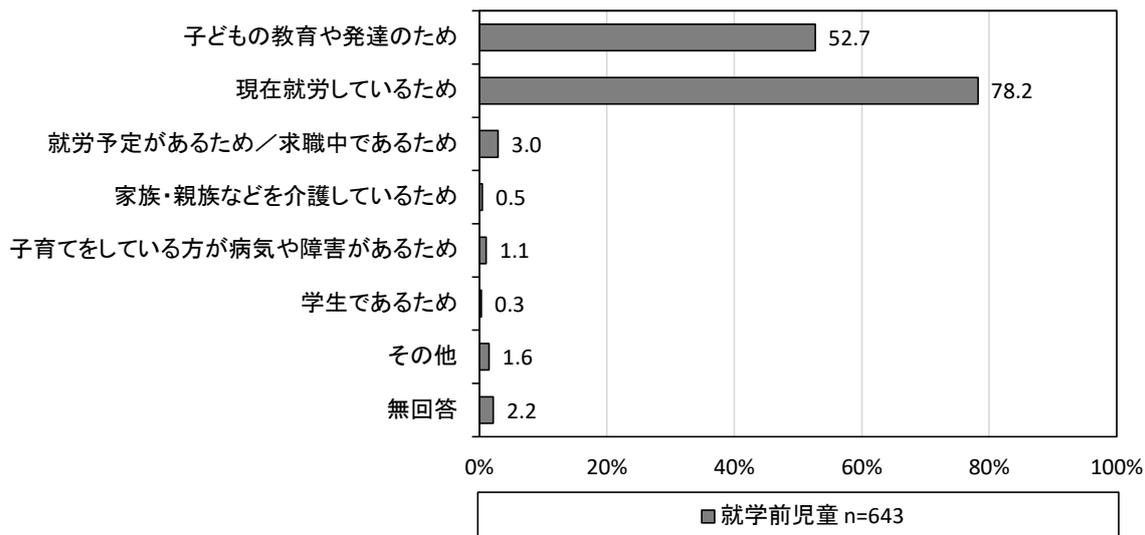
（1）で「利用している」を選択した方

（5）平日に定期的に「教育・保育の事業」を利用している理由〈複数回答〉

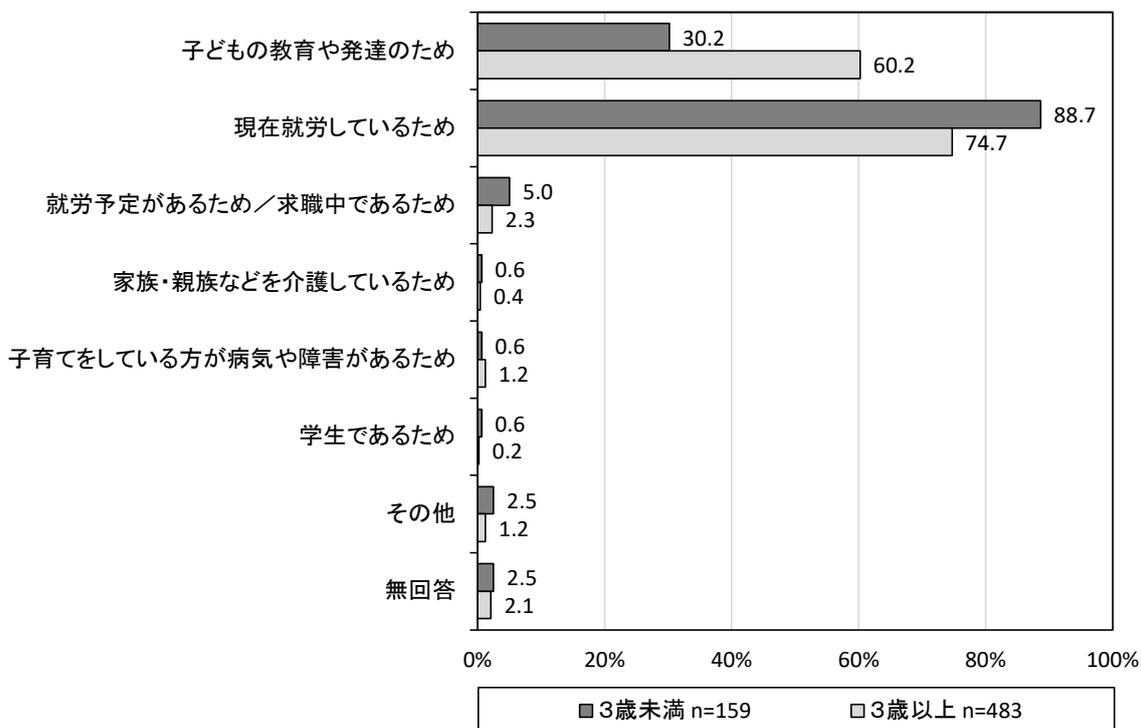
〔就学前児童調査：問 12-4、小学生児童調査：一〕

定期的に教育・保育の事業を利用している理由については、「現在就労しているため」が78.2%で最も高く、次いで、「子どもの教育や発達のため」が52.7%となっています。

年齢別にみると、「現在就労しているため」が3歳未満で88.7%、3歳以上で74.7%と最も高く、次いで、「子どもの教育や発達のため」が3歳未満で30.2%、3歳以上で60.2%となっています。



■年齢別 定期的に教育・保育の事業を利用している理由



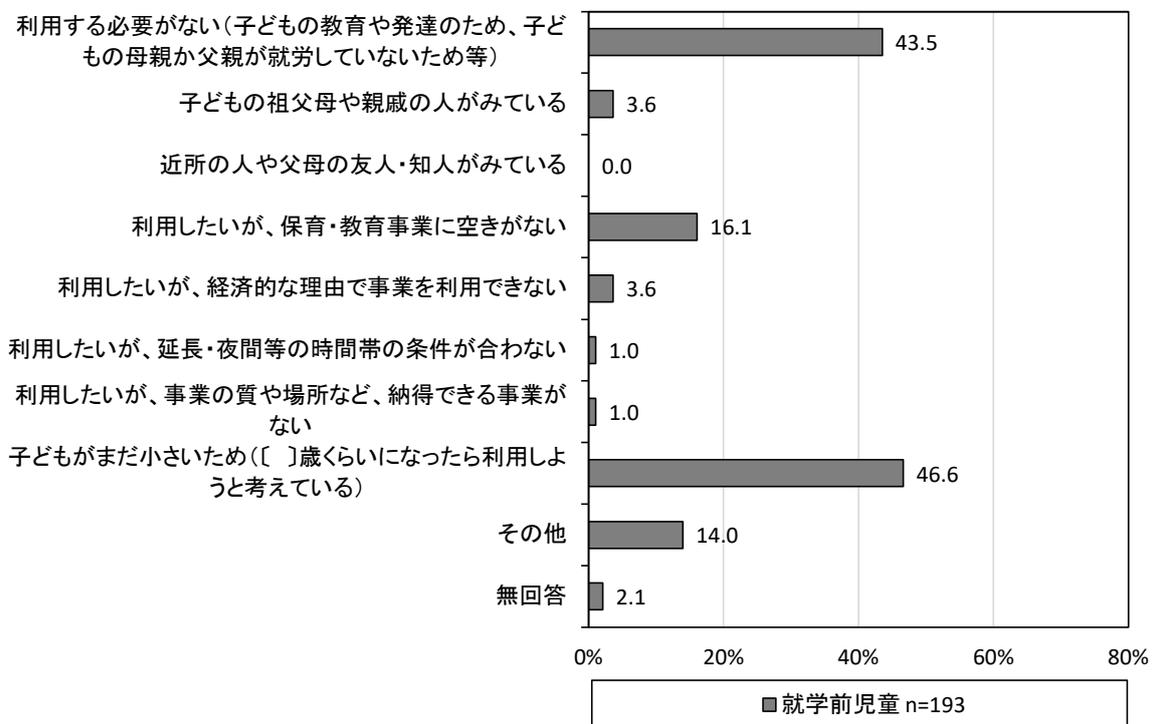
（1）で「利用していない」を選択した方

（6）利用していない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査：問 12-5、小学生児童調査：一〕

定期的な教育・保育の事業を利用していない理由については「子どもがまだ小さいため（〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている）」が 46.6%で最も高く、次いで、「利用する必要がある（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないため等）」が 43.5%となっています。

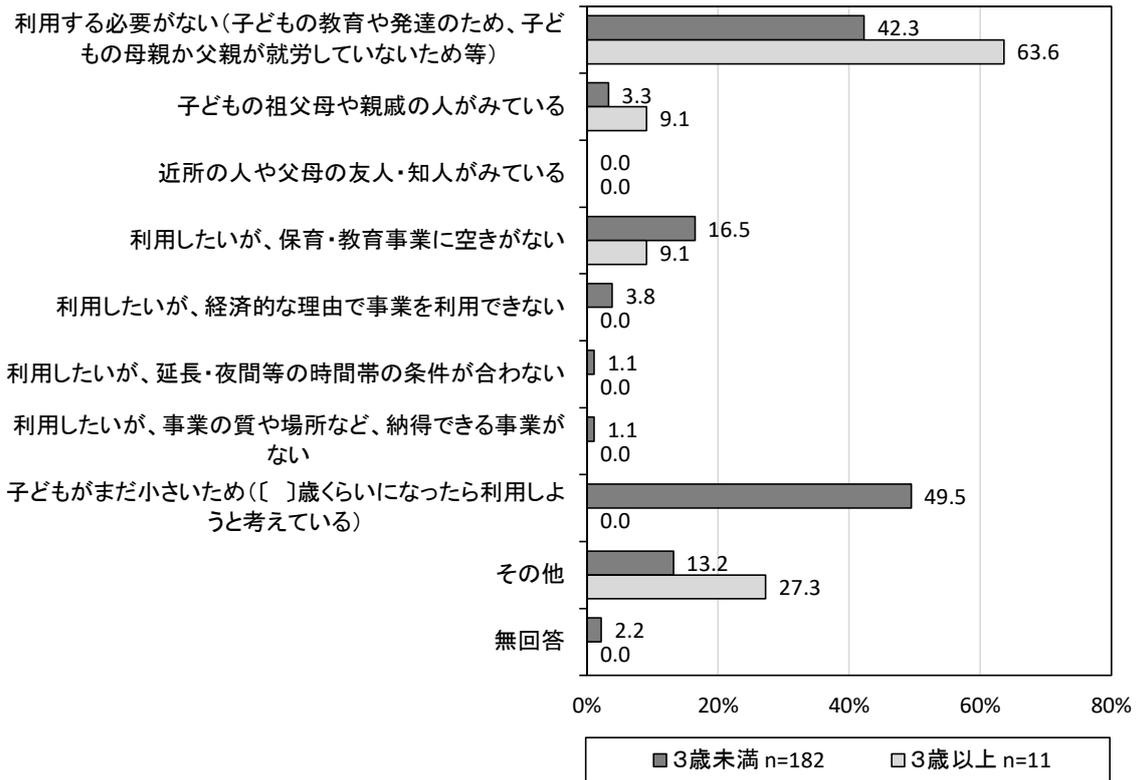
年齢別にみると、3歳未満では「子どもがまだ小さいため」が 49.5%で最も高く、次いで、「利用する必要がある」が 42.3%となっており、3歳以上では「利用する必要がある」が 63.6%で最も高く、次いで、「その他」が 27.3%となっています。

なお、何歳くらいになったら利用しようと考えているかについては、「3歳」が 44.4%で最も高く、次いで、「1歳」が 32.2%となっています。

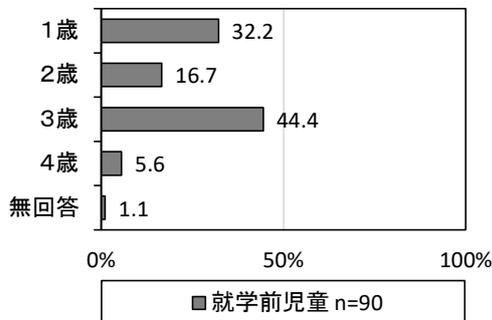


II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

■年齢別 定期的な教育・保育の事業を利用していない理由



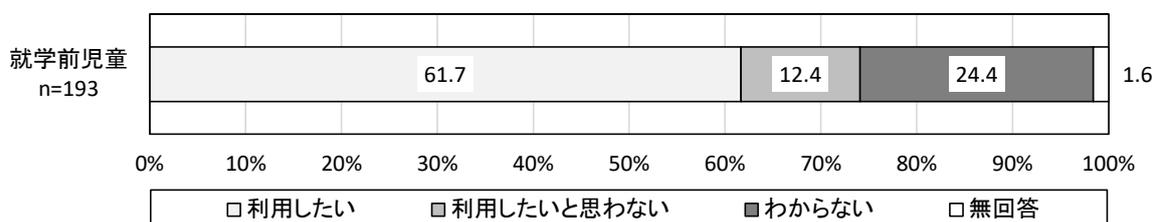
■子どもが〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている



(1)で「利用していない」を選択した方

(7) こども誰でも通園制度の利用希望〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 12-6、小学生児童調査：一〕

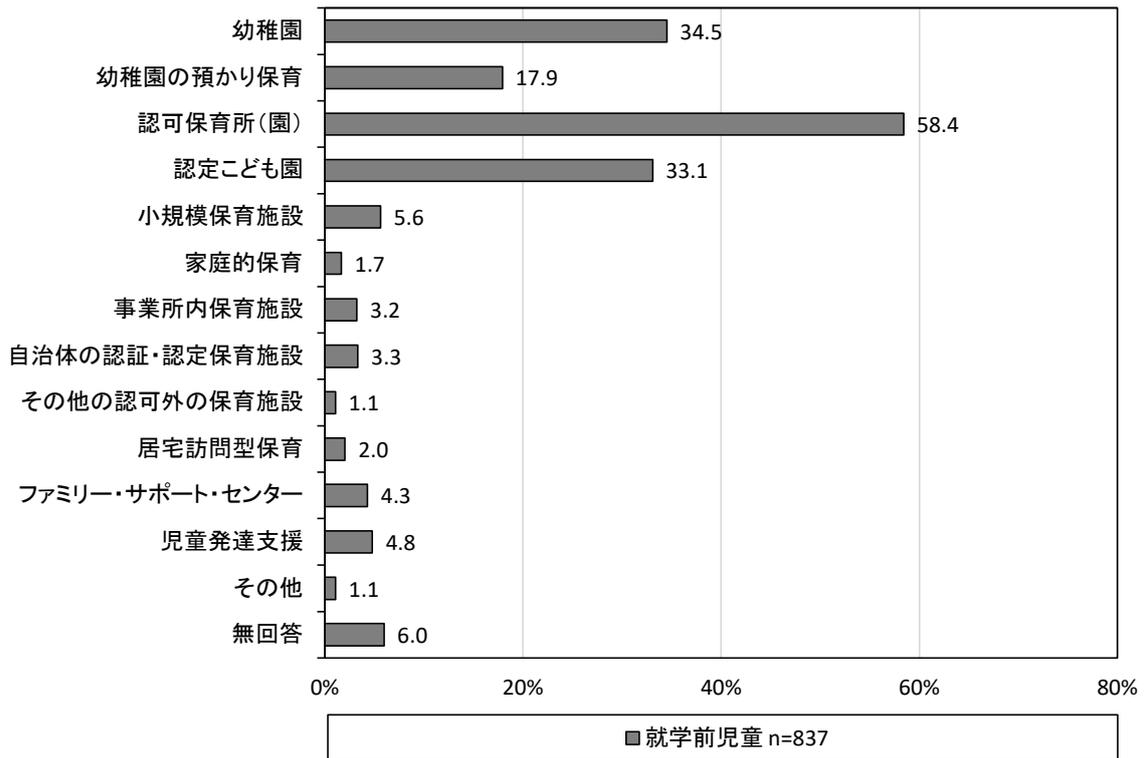
こども誰でも通園制度の利用希望については、「利用したい」が61.7%で最も高く、次いで、「わからない」が24.4%となっています。



（８）現在利用している、利用していないに関わらず、平日の「教育・保育の事業」として、定期的にご利用したいと考える事業〈複数回答〉〔就学前児童調査：問 13、小学生児童調査：一〕

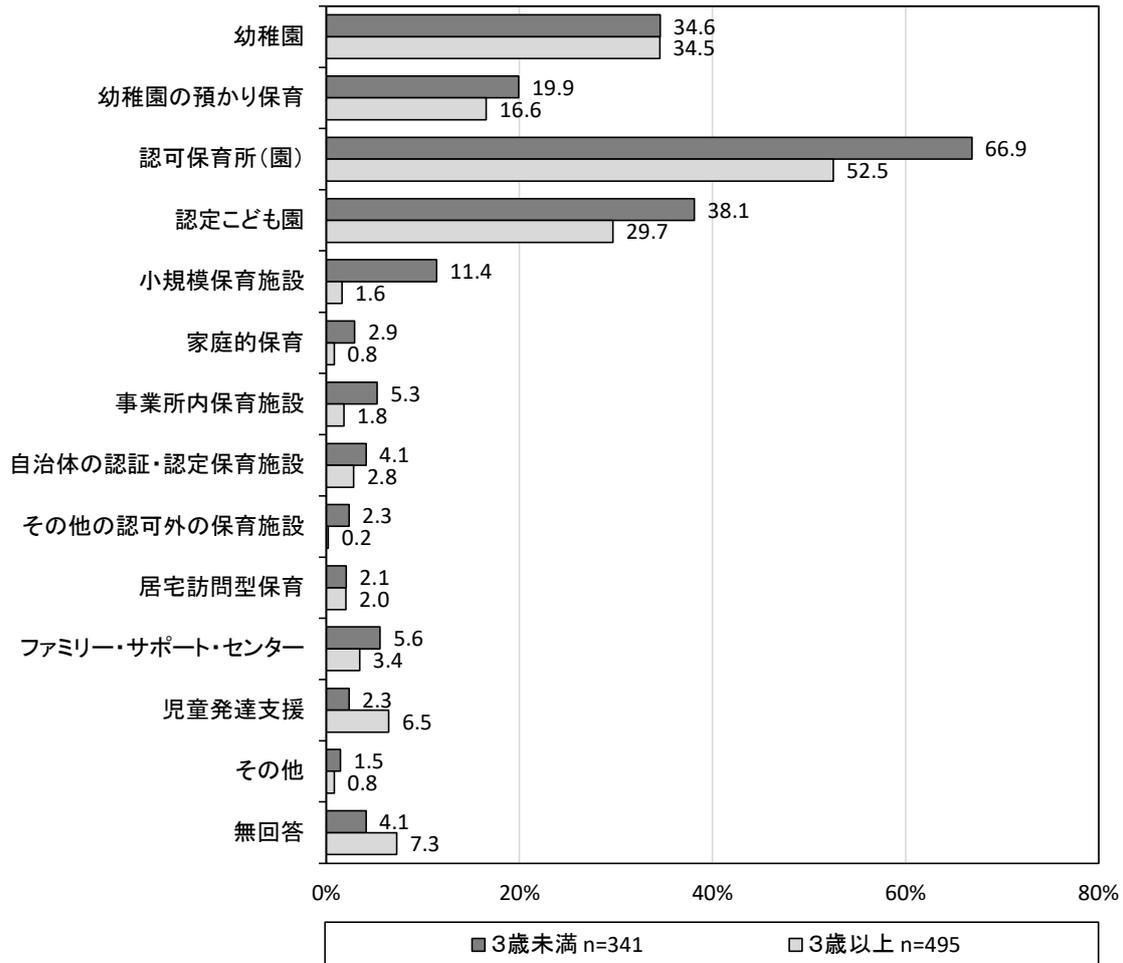
平日の教育・保育の事業として定期的にご利用したいと考える事業については、「認可保育所（園）」が58.4%で最も高く、次いで、「幼稚園」が34.5%、「認定こども園」が33.1%となっています。

年齢別にみると、「認可保育所（園）」が3歳未満で66.9%、3歳以上で52.5%と最も高く、次いで、3歳未満では「認定こども園」が38.1%、3歳以上では「幼稚園」が34.5%となっています。



II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

■年齢別 定期的にご利用したい教育・保育の事業



II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

利用希望の地区別にみると、「認可保育所（園）」が氏家地区で66.6%、喜連川地区で47.3%と最も高くなっています。

母親の就労状況別にみると、就労している（フルタイム、パート・アルバイト等で就労している）方では「認可保育所（園）」が最も高く、就労していない方では「幼稚園」が最も高くなっています。

■利用希望の地区別 定期的にご利用したい教育・保育の事業

項目		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所（園）	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設
利用地区希望別の	さくら市 氏家地区 n=634	34.9	18.5	66.6	34.7	6.2	1.7	3.3	3.8	0.9
	さくら市 喜連川地区 n=91	35.2	20.9	47.3	45.1	6.6	2.2	3.3	1.1	0.0
	栃木県内他市町 n=51	60.8	21.6	37.3	25.5	3.9	2.0	5.9	5.9	5.9
	その他 n=1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
項目		居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援	その他	無回答				
利用地区希望別の	さくら市 氏家地区 n=634	2.2	5.0	5.2	0.9	0.0				
	さくら市 喜連川地区 n=91	2.2	4.4	6.6	2.2	0.0				
	栃木県内他市町 n=51	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0				
	その他 n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

■母親の就労状況別 定期的にご利用したい教育・保育の事業

項目		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所（園）	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設
母親の就業状況別の	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない n=301	17.9	8.6	72.8	24.3	2.3	1.0	3.7	3.3	1.3
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である n=110	36.4	22.7	76.4	41.8	15.5	1.8	4.5	2.7	0.9
	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない n=203	33.5	19.7	49.3	35.0	4.4	1.0	1.5	3.4	1.0
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である n=25	20.0	8.0	80.0	36.0	12.0	4.0	4.0	8.0	4.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない n=175	65.1	32.0	32.6	42.9	6.3	3.4	4.0	3.4	0.6
	これまで就労したことがない n=4	100.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
項目		居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援	その他	無回答				
母親の就業状況別の	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない n=301	3.0	3.0	3.0	1.3	5.6				
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である n=110	1.8	4.5	3.6	0.0	2.7				
	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない n=203	1.5	3.9	3.9	1.0	9.4				
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である n=25	4.0	8.0	0.0	4.0	4.0				
	以前は就労していたが、現在は就労していない n=175	1.1	6.3	9.1	0.6	2.9				
	これまで就労したことがない n=4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

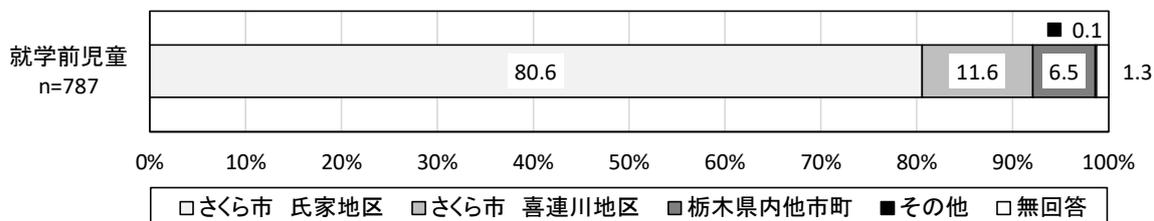
II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

（8）で「幼稚園」～「その他」のいずれかを選択した方

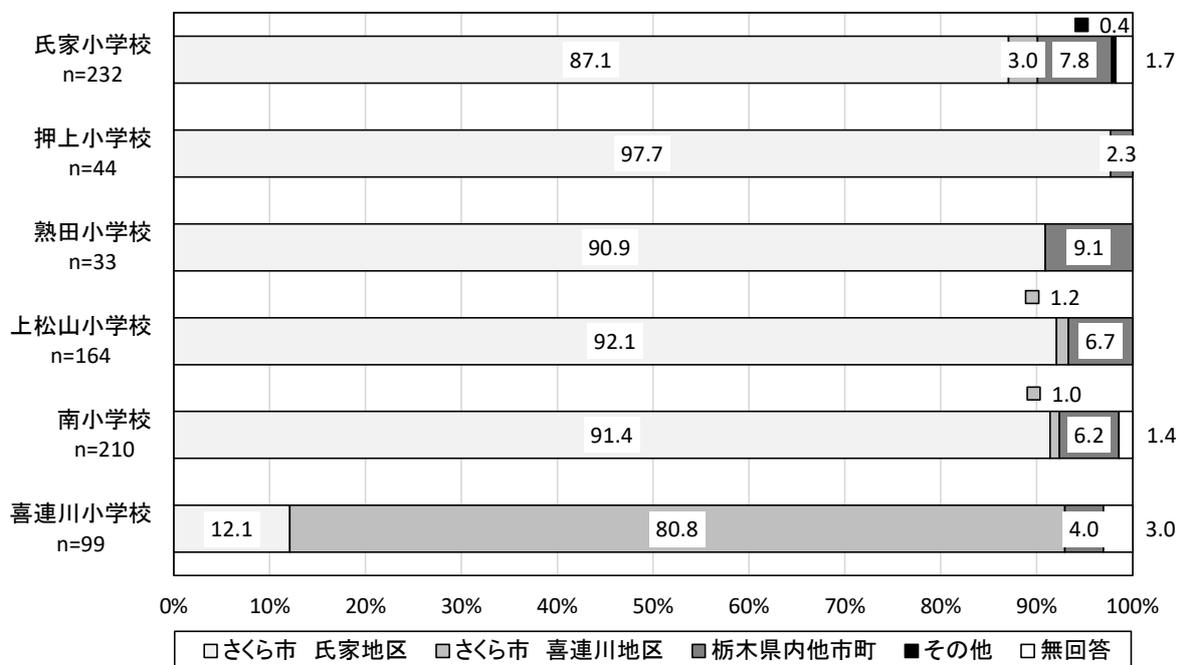
（9）利用したい教育・保育の事業の実施場所〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 13-1、小学生児童調査：一〕

利用したい教育・保育の事業の実施場所については、「さくら市 氏家地区」が 80.6%で最も高く、次いで、「さくら市 喜連川地区」が 11.6%となっています。

居住地区別にみると、喜連川小学校を除く 5 地区では「さくら市 氏家地区」が最も高くなっており、喜連川小学校では「さくら市 喜連川地区」が最も高くなっています。



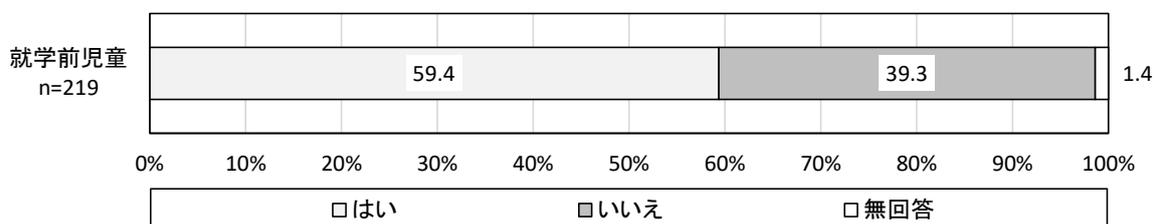
■居住地区別 利用したい教育・保育の事業の実施場所



（8）で「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ「認可保育所」～「その他」を選択した方

（10）特に幼稚園の利用を強く希望するか〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 13-2、小学生児童調査：一〕

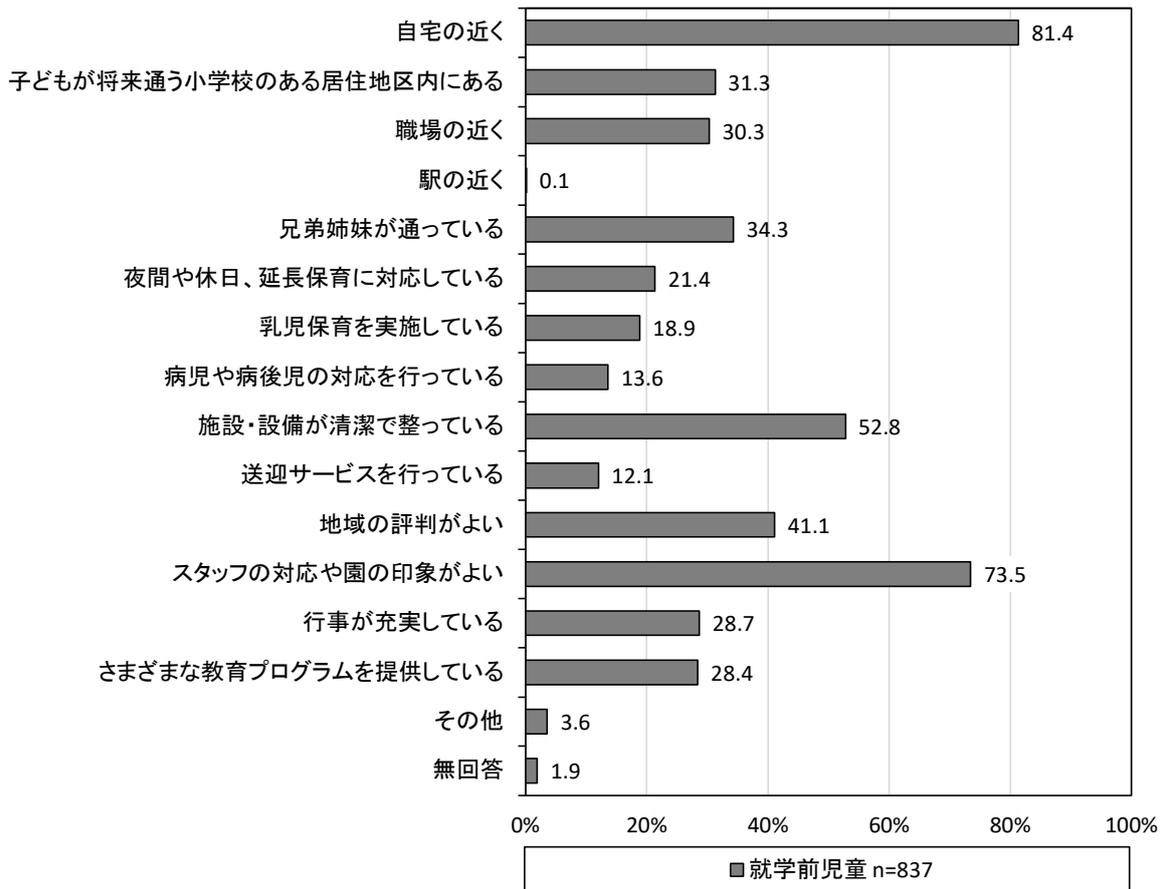
幼稚園の利用を強く希望するかについては、「はい」が 59.4%、「いいえ」が 39.3%となっています。



(11) 現在利用している、利用していないに関わらず、平日の「教育・保育の事業」を選ぶ際に、重視する点〈複数回答〉〔就学前児童調査：問 14、小学生児童調査：一〕

平日の教育・保育の事業を選ぶ際に重視する点については、「自宅の近く」が81.4%で最も高く、次いで、「スタッフの対応や園の印象がよい」が73.5%、「施設・設備が清潔で整っている」が52.8%となっています。

教育・保育の事業の利用希望別にみると、いずれの事業でも「自宅の近く」、「スタッフの対応や園の印象がよい」の割合が高くなっています。



II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

■教育・保育の事業の利用希望別 教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点

項目	自宅の近く	子どもが将来通う小学校のある居住地区内にある	職場の近く	駅の近く	兄弟姉妹が通っている	夜間や休日、延長保育に対応している	乳児保育を実施している	病児や病後児の対応を行っている	施設・設備が清潔で整っている	
										送迎サービスを行っている
教育・保育の事業の利用希望別	幼稚園 n=289	81.0	36.3	26.3	0.3	30.1	20.8	10.7	11.4	62.6
	幼稚園の預かり保育 n=150	84.7	35.3	32.7	0.7	32.7	28.7	12.7	11.3	59.3
	認可保育所(園) n=489	86.7	33.1	33.7	0.2	37.8	26.0	24.3	15.7	54.6
	認定こども園 n=277	85.2	35.7	30.7	0.4	36.8	20.6	18.4	14.1	56.3
	小規模保育施設 n=47	89.4	31.9	29.8	0.0	31.9	27.7	29.8	19.1	66.0
	家庭的保育 n=14	71.4	50.0	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3	35.7	71.4
	事業所内保育施設 n=27	92.6	33.3	44.4	0.0	29.6	40.7	22.2	37.0	74.1
	自治体の認証・認定保育施設 n=28	85.7	39.3	35.7	0.0	46.4	35.7	25.0	32.1	53.6
	その他の認可外の保育施設 n=9	55.6	22.2	33.3	0.0	33.3	11.1	22.2	33.3	44.4
	居宅訪問型保育 n=17	88.2	29.4	17.6	0.0	35.3	35.3	29.4	35.3	76.5
	ファミリー・サポート・センター n=36	91.7	30.6	19.4	0.0	41.7	47.2	27.8	33.3	77.8
児童発達支援 n=40	77.5	27.5	17.5	0.0	15.0	10.0	5.0	15.0	65.0	
教育・保育の事業の利用希望別	幼稚園 n=289	22.5	47.8	79.9	33.6	36.0	3.1	0.3		
	幼稚園の預かり保育 n=150	19.3	49.3	80.7	27.3	36.7	3.3	0.0		
	認可保育所(園) n=489	5.1	44.4	75.5	27.8	25.4	3.7	1.0		
	認定こども園 n=277	13.4	43.3	76.9	29.6	35.7	2.5	0.4		
	小規模保育施設 n=47	10.6	61.7	89.4	36.2	31.9	4.3	0.0		
	家庭的保育 n=14	21.4	42.9	85.7	64.3	71.4	0.0	0.0		
	事業所内保育施設 n=27	18.5	55.6	96.3	33.3	40.7	0.0	0.0		
	自治体の認証・認定保育施設 n=28	14.3	42.9	85.7	17.9	39.3	3.6	0.0		
	その他の認可外の保育施設 n=9	11.1	22.2	88.9	22.2	22.2	22.2	0.0		
	居宅訪問型保育 n=17	41.2	58.8	82.4	17.6	35.3	17.6	5.9		
	ファミリー・サポート・センター n=36	27.8	55.6	83.3	41.7	50.0	0.0	0.0		
児童発達支援 n=40	30.0	37.5	80.0	32.5	42.5	12.5	2.5			

5. お子さんの土日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

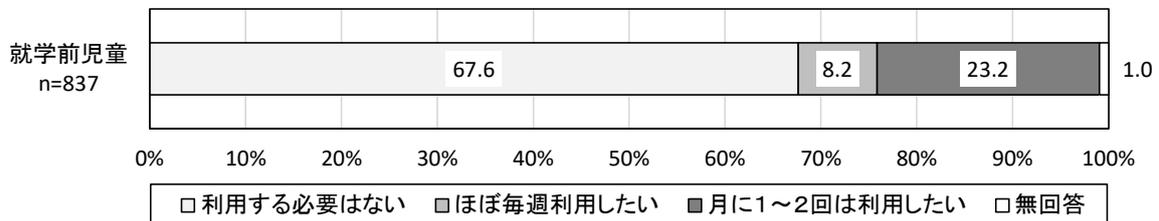
（1）土曜日と日曜日・祝日における、「教育・保育の事業」の定期的な利用希望〈単数回答〉

[就学前児童調査：問 15（1）（2）、小学生児童調査：－]

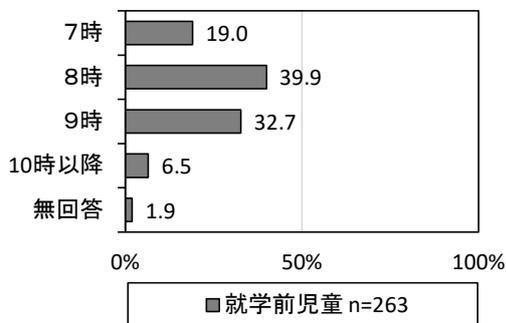
①土曜日

土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が67.6%で最も高く、次いで、「月に1～2回は利用したい」が23.2%となっています。

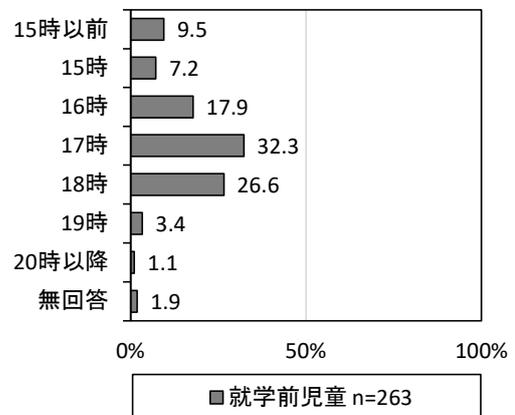
また、利用開始時間については、「8時」が39.9%で最も高く、次いで、「9時」が32.7%となっています。利用終了時間については、「17時」が32.3%で最も高く、次いで、「18時」が26.6%となっています。



■利用開始時間



■利用終了時間

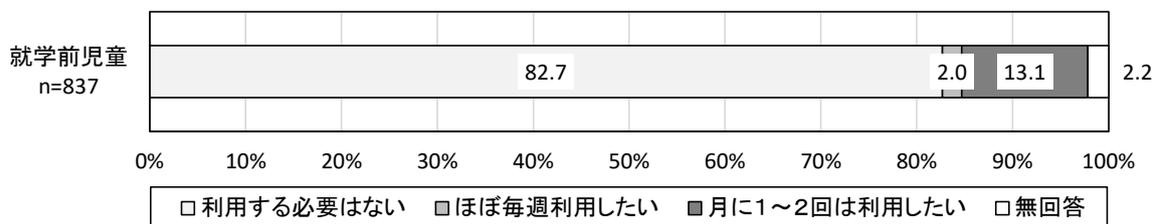


II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

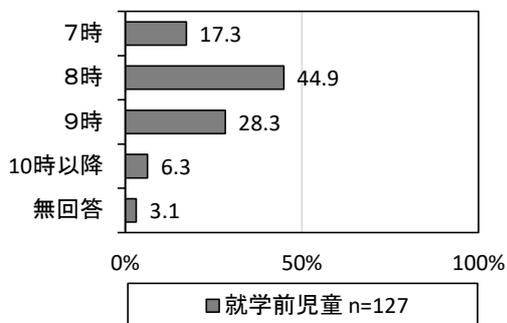
②日曜日・祝日

日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が82.7%で最も高く、次いで、「月に1～2回は利用したい」が13.1%となっています。

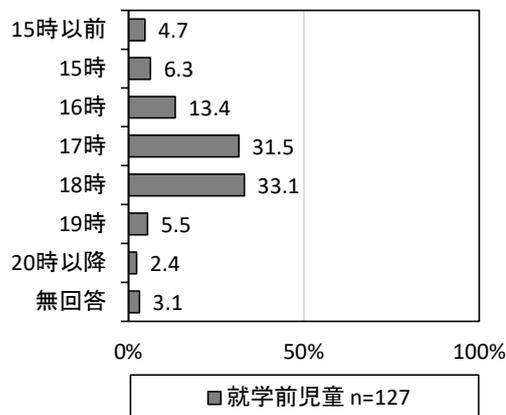
また、利用開始時間については、「8時」が44.9%で最も高く、次いで、「9時」が28.3%となっています。利用終了時間については、「18時」が33.1%で最も高く、次いで、「17時」が31.5%となっています。



■利用開始時間



■利用終了時間



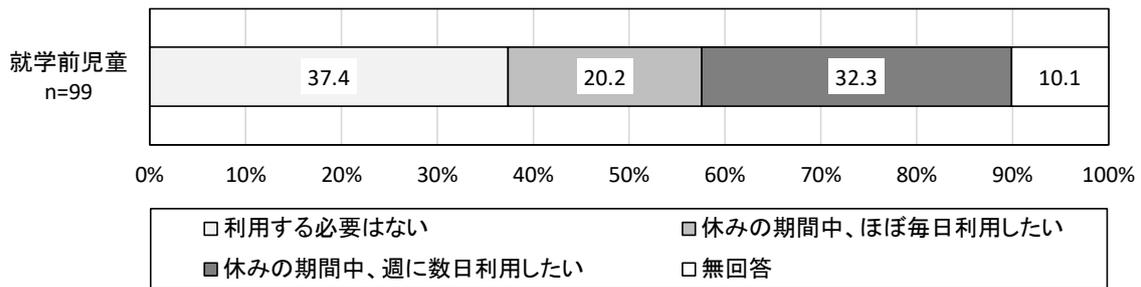
幼稚園を利用されている方

（2）夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中における、「教育・保育の事業」の利用希望〈単数回答〉

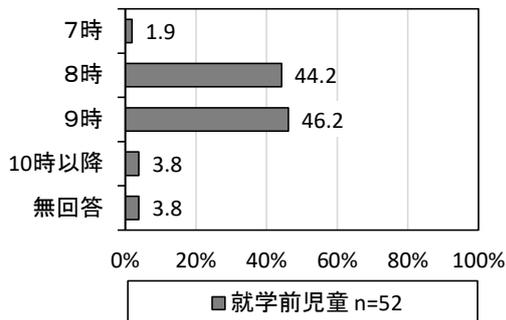
〔就学前児童調査：問 16、小学生児童調査：－〕

夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中における教育・保育の事業の利用希望については、「利用する必要はない」が37.4%で最も高く、次いで、「休みの期間中、週に数日利用したい」が32.3%となっています。

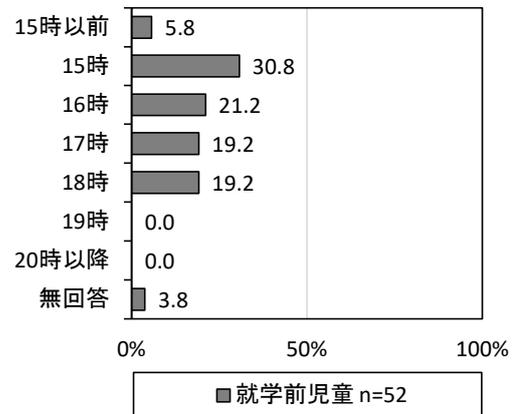
また、利用開始時間については、「9時」が46.2%で最も高く、次いで、「8時」が44.2%となっています。利用終了時間については、「15時」が30.8%で最も高く、次いで、「16時」が21.2%となっています。



■利用開始時間



■利用終了時間

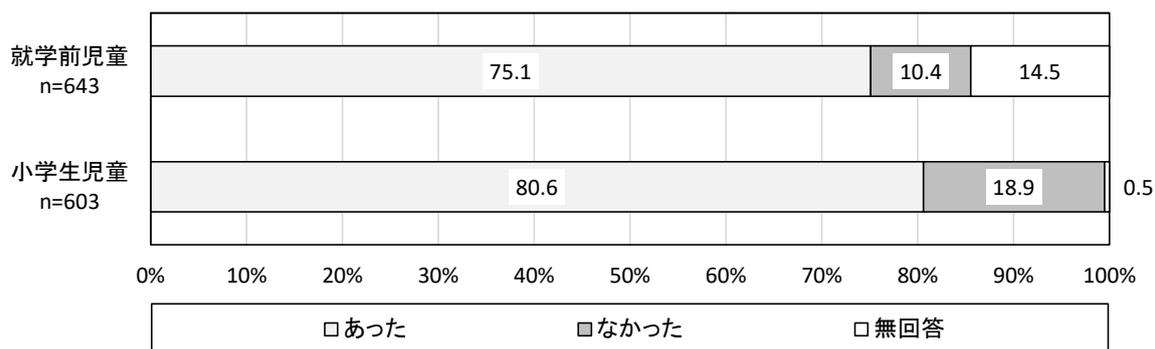


6. お子さんの病気の際の対応について

就学前児童は、平日に定期的な「教育・保育の事業」を利用されている方

（1）この1年間に、子どもが病気やケガで普段利用している事業が利用できなかった（小学生は学校を休まなければならなかった）ことの有無〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 17、小学生児童調査：問 13〕

この1年間に、子どもが病気やケガで普段利用している事業が利用できなかった（小学生は学校を休まなければならなかった）有無については、「あった」が就学前児童で75.1%、小学生児童で80.6%となっており、「なかった」が就学前児童で10.4%、小学生児童で18.9%となっています。



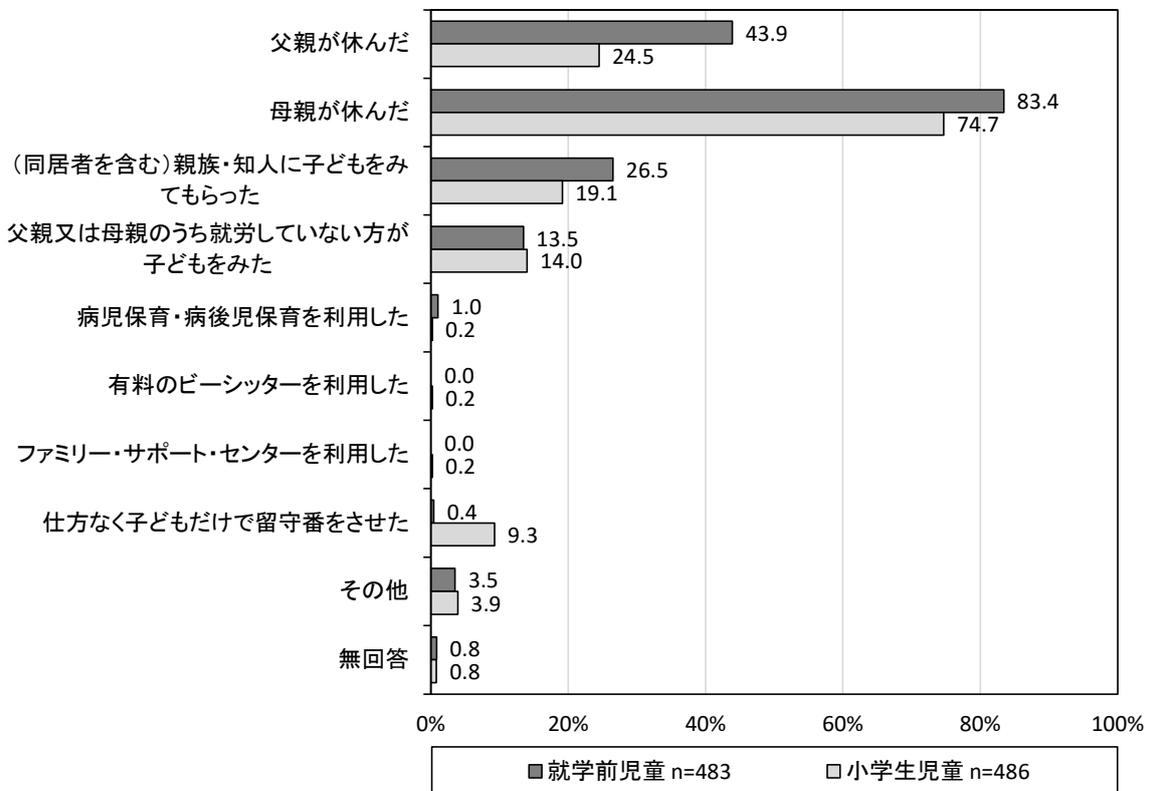
（1）で「あった」を選択した方

（2）子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった（小学生は学校を休まなければならなかった）場合における、この1年間の対処方法〈複数回答〉

〔就学前児童調査：問 24-1、小学生児童調査：問 13-1〕

子どもが病気やケガで普段利用している事業が利用できなかった（小学生は学校を休まなければならなかった）場合における、この1年間の対処方法については、「母親が休んだ」が就学前児童で83.4%、小学生児童で74.7%と最も高く、次いで、「父親が休んだ」が就学前児童で43.9%、小学生児童で24.5%となっています。

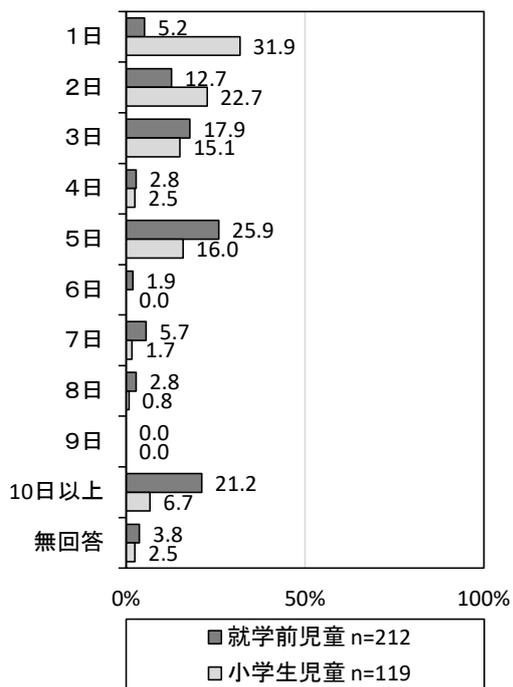
対処方法として「父親が休んだ」と回答した方のこの1年間の対処日数について、就学前児童では、「5日」が25.9%、小学生児童では「1日」が31.9%で最も高くなっています。対処方法として「母親が休んだ」と回答した方のこの1年間の対処日数について、「10日以上」が就学前児童で61.3%、小学生児童で26.7%と最も高くなっています。



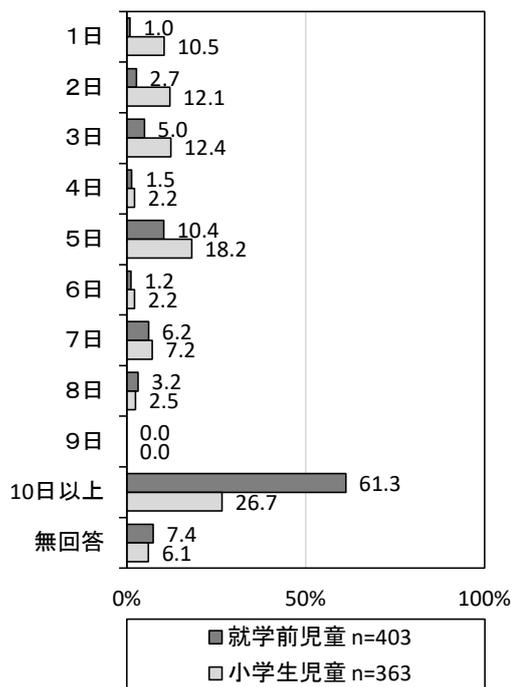
II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

【1年間の対処方法別の日数】

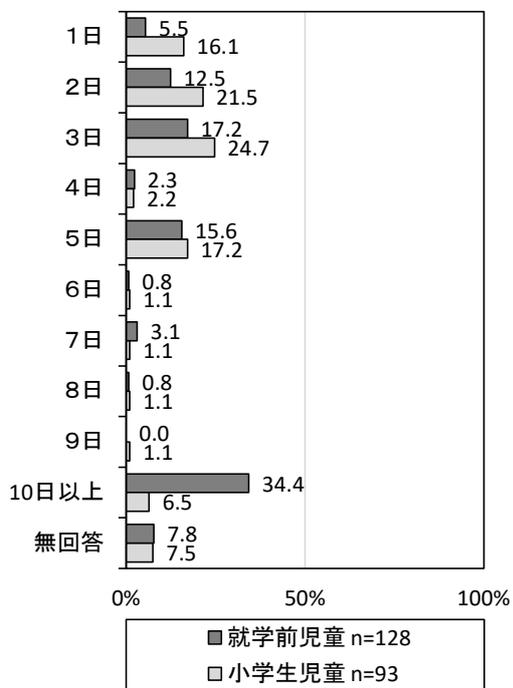
■父親が休んだ



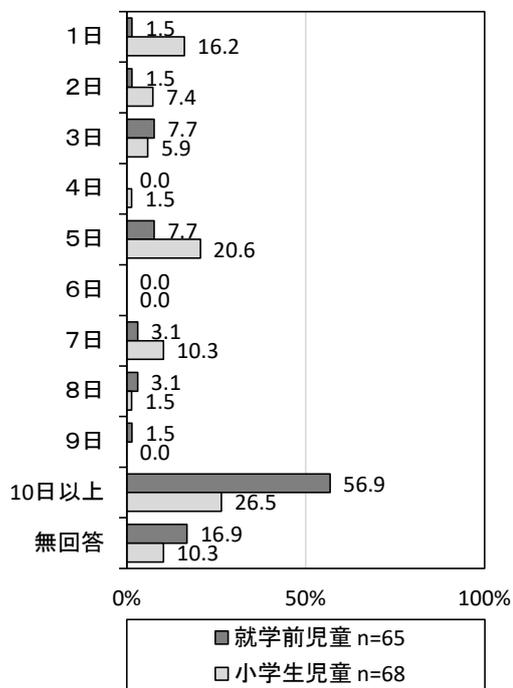
■母親が休んだ



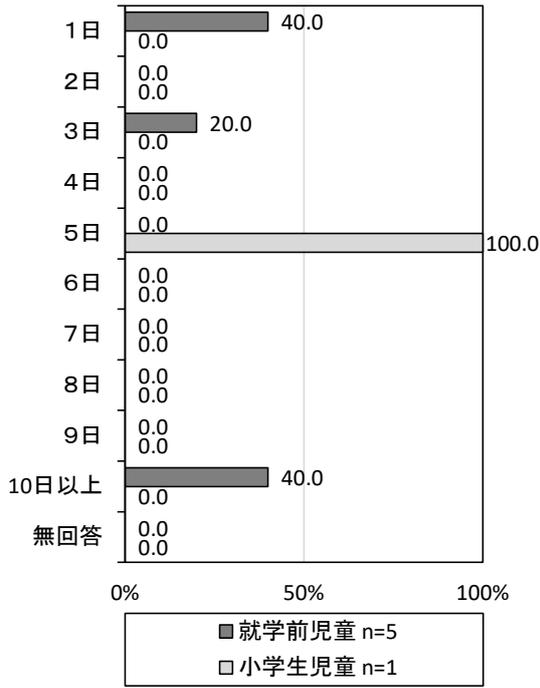
■親族・知人に子どもをみてもらった



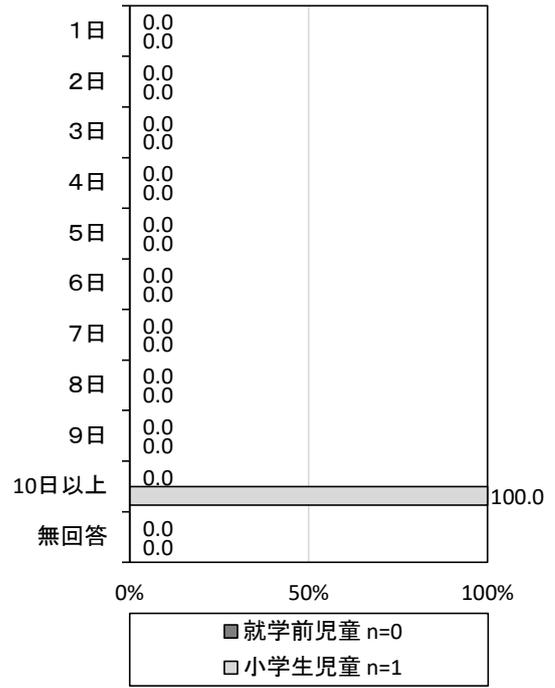
■父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた



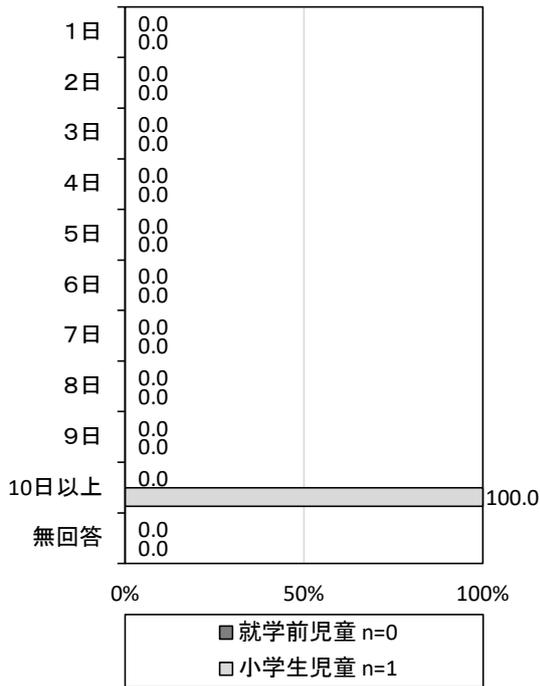
■病児保育・病後児保育を利用した



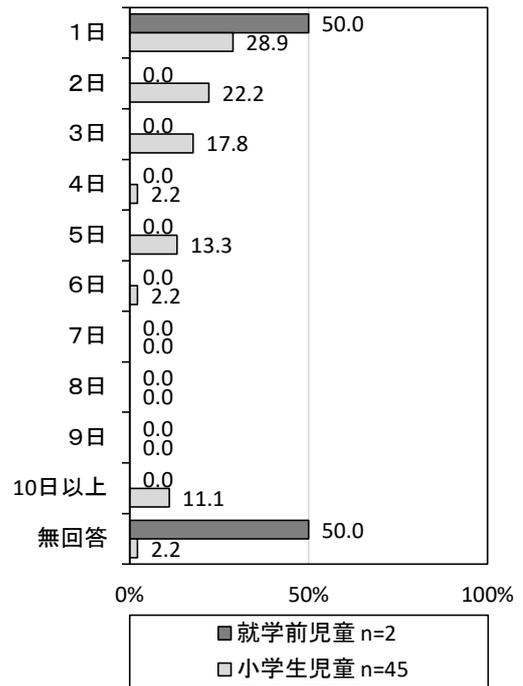
■有料のベビーシッターを利用した



■ファミリー・サポート・センターを利用した

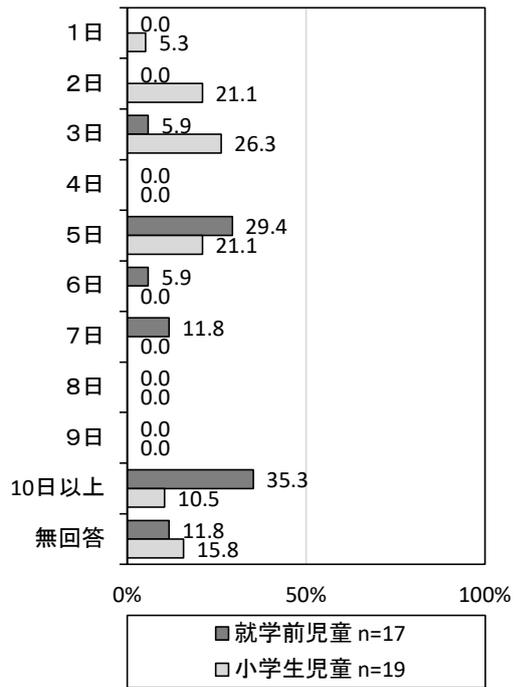


■仕方なく子どもだけで留守番をさせた



II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

■その他



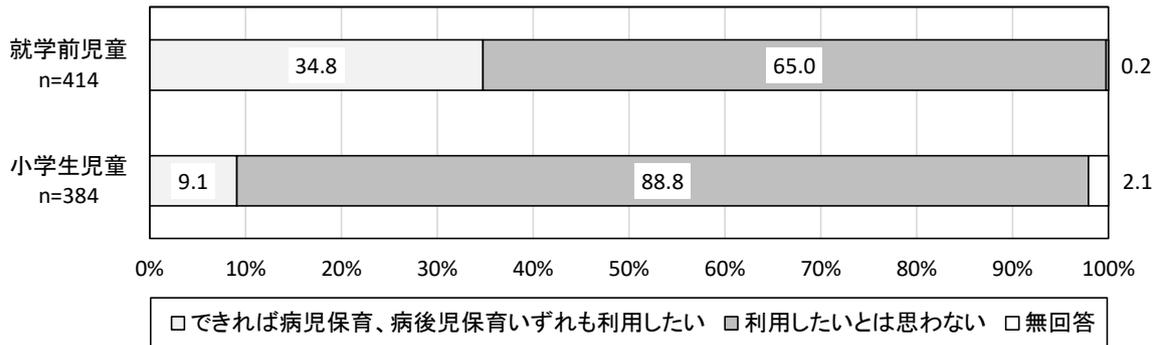
（2）で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」を選択した方

（3）その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか〈単数回答〉

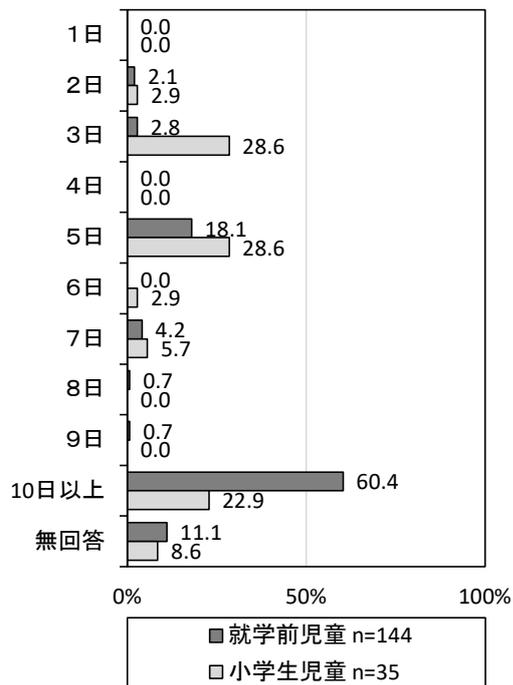
〔就学前児童調査：問 17-2、小学生児童調査：問 13-2〕

病児・病後児のための保育施設等の利用希望については、「できれば病児保育、病後児保育いずれも利用したい」が就学前児童で34.8%、小学生児童で9.1%となっており、「利用したいとは思わない」が就学前児童で65.0%、小学生児童で88.8%となっています。

また、年間の利用希望日数については、就学前児童では「10日以上」が60.4%で最も高く、小学生児童では「3日」「5日」がともに28.6%で最も高くなっています。



■年間の利用希望日数

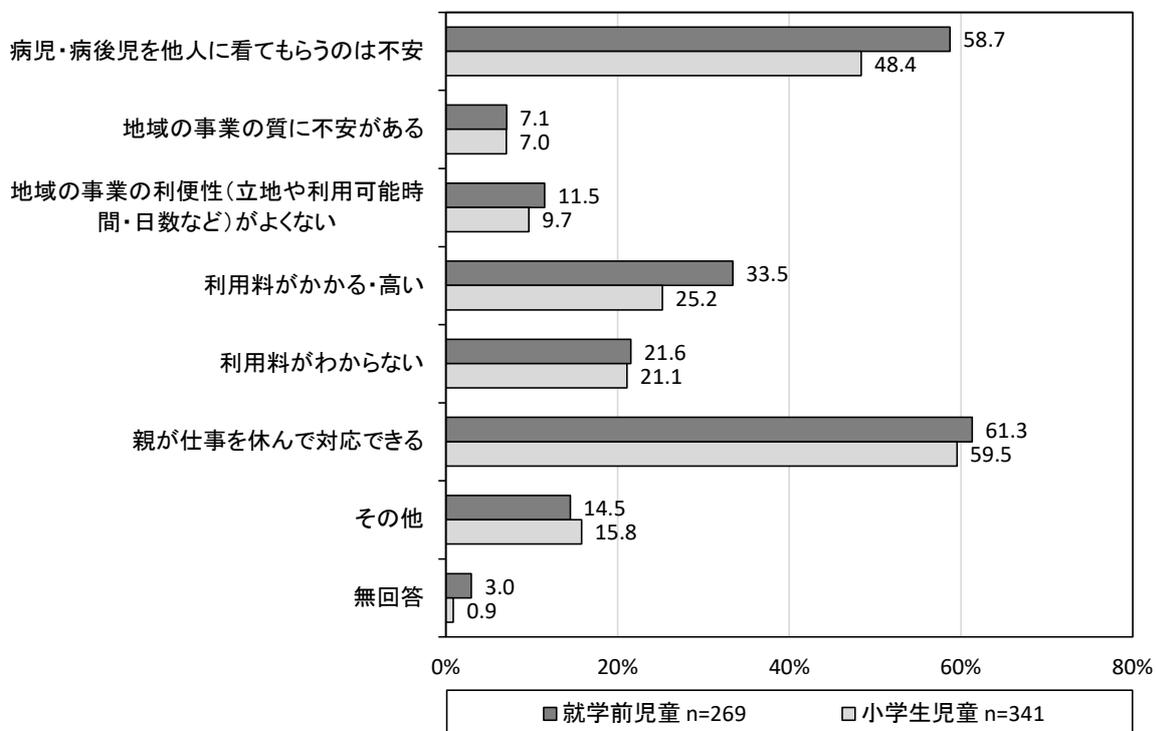


II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

（3）で「利用したいとは思わない」を選択した方

（4）利用したいと思わない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査：問 17-3、小学生児童調査：問 13-3〕

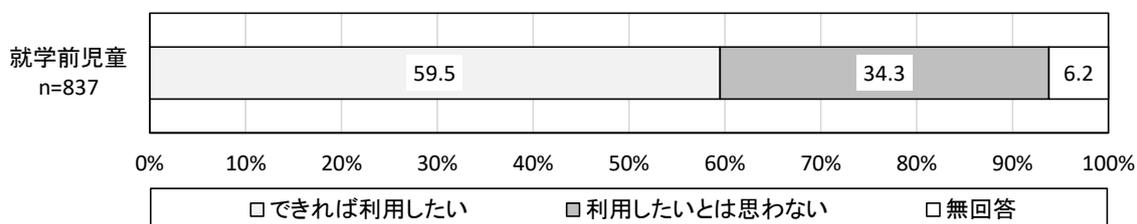
利用したいと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応できる」が就学前児童で 61.3%、小学生児童で 59.5%と最も高く、次いで、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が就学前児童で 58.7%、小学生児童で 48.4%となっています。



（5）市内の保育所（園）・病院などで病児保育が利用できるとしたら利用したいか〈単数回答〉

〔就学前児童調査：問 18、小学生児童調査：一〕

市内の保育所（園）・病院などで病児保育が利用できるとしたら利用したいかについては、「できれば利用したい」が 59.5%、「利用したいとは思わない」が 34.3%となっています。

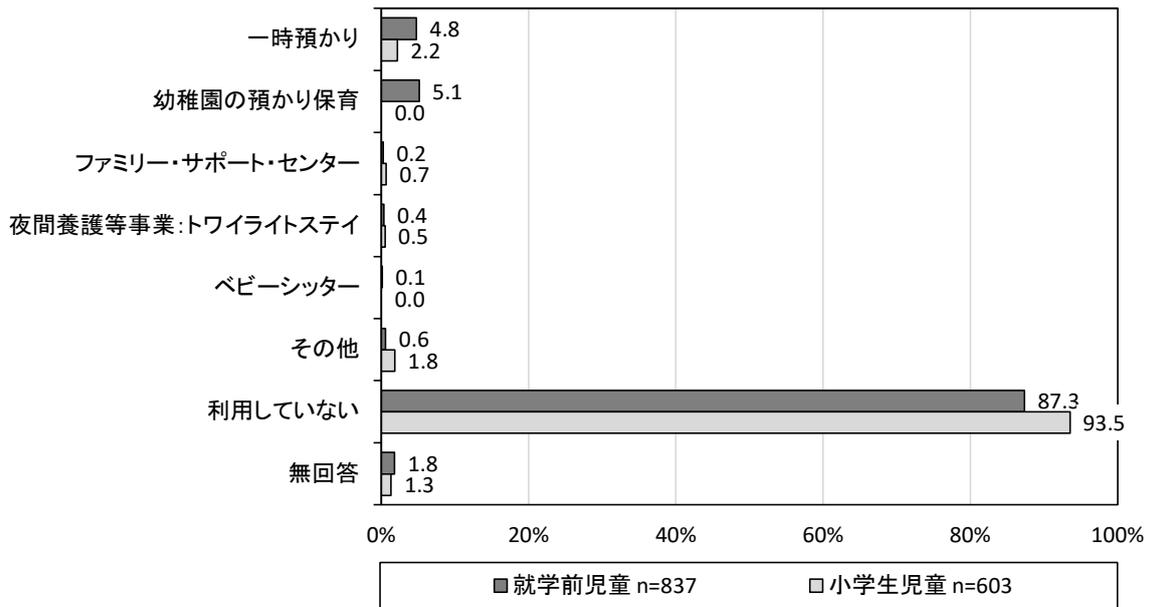


7. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

（1）私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業の有無〈複数回答〉

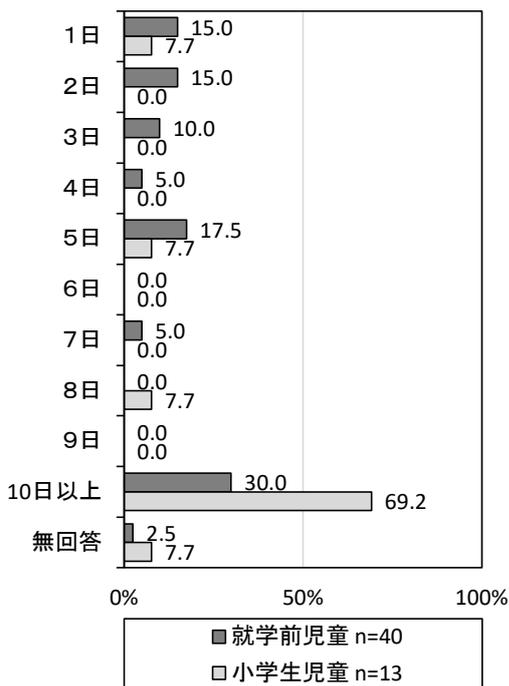
[就学前児童調査：問 19、小学生児童調査：問 14]

この1年間、私用等の目的で不定期に利用している事業については、「利用していない」が就学前児童で87.3%、小学生児童で93.5%と最も高く、それ以外の項目は就学前児童、小学生児童ともに1割未満となっています。

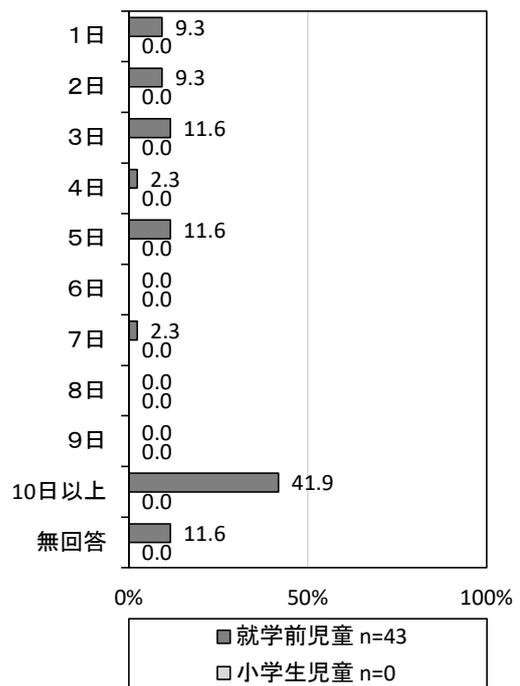


【事業別の利用日数】

■一時預かり

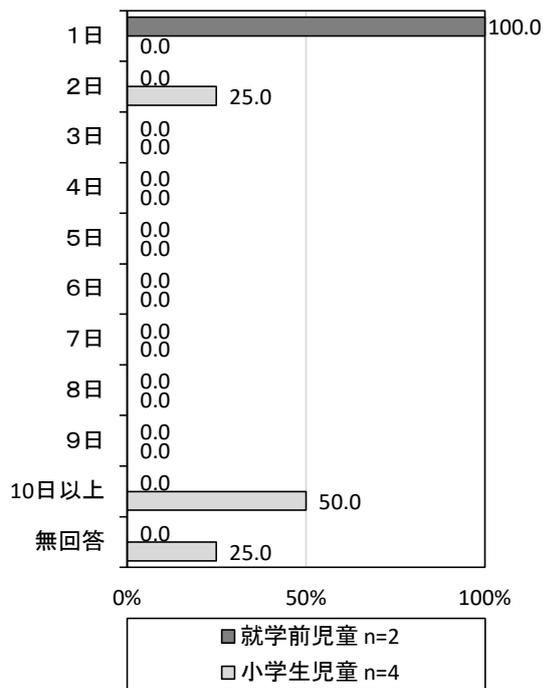


■幼稚園の預かり保育

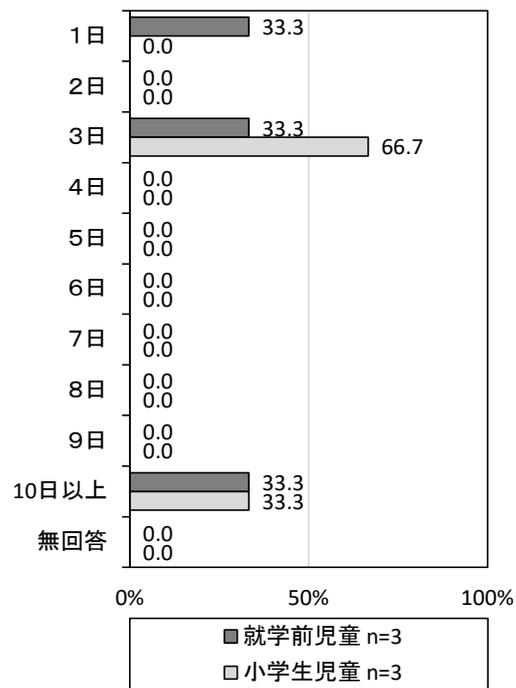


II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

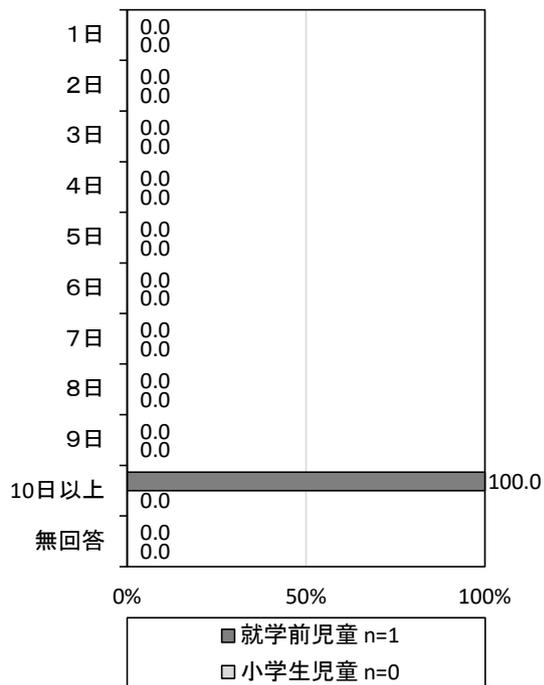
■ファミリー・サポート・センター



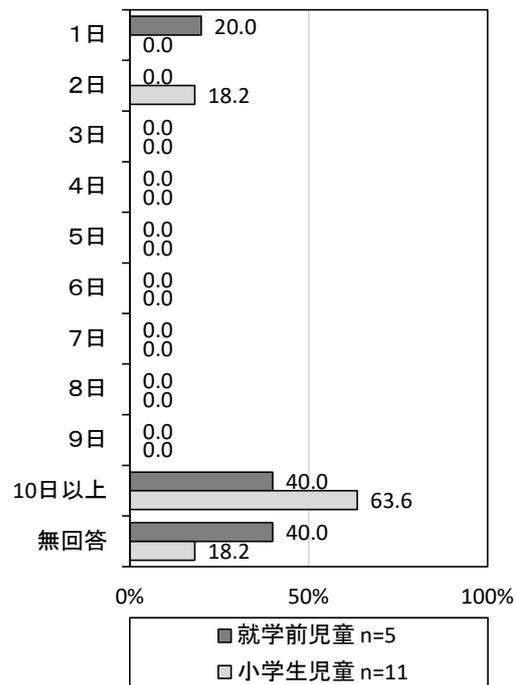
■夜間養護等事業：トワイライトステイ



■ベビーシッター



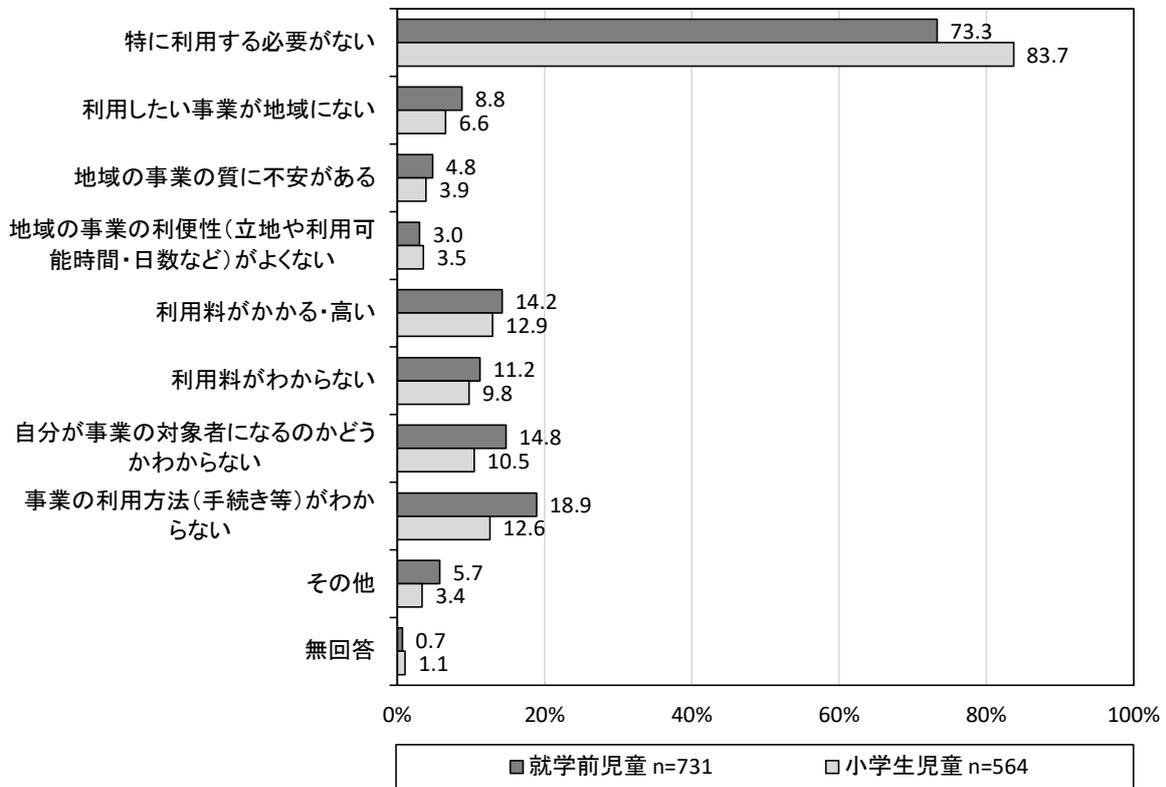
■その他



（1）で「利用していない」を選択した方

（2）現在利用していない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査：問 19-1、小学生児童調査：問 14-1〕

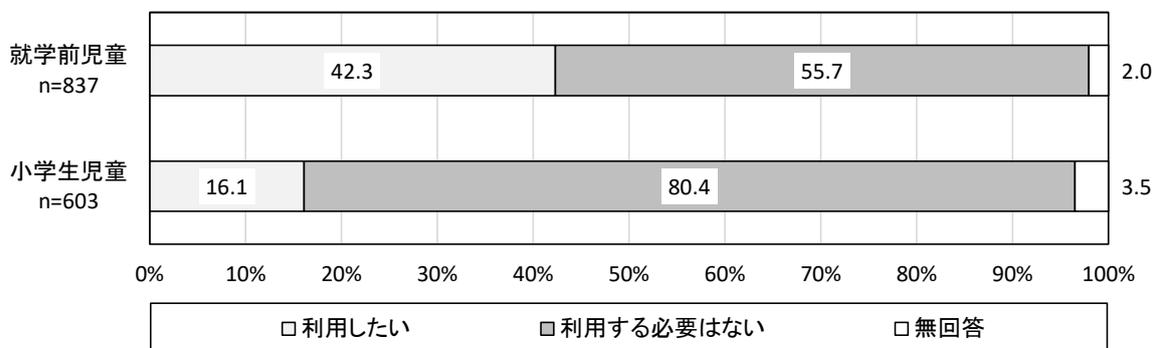
利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が就学前児童で73.3%、小学生児童で83.7%と最も高く、次いで、就学前児童では「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が18.9%、小学生児童では「利用料がかかる・高い」が12.9%となっています。



（3）私用、親の通院、不特定の就労等の目的での、一時預かり等の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査：問 20、小学生児童調査：問 15〕

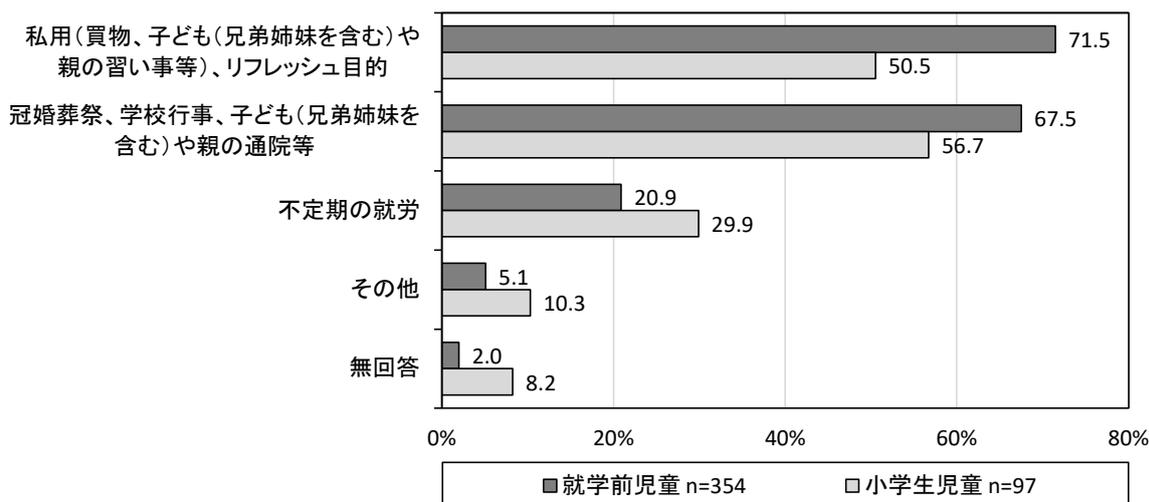
私用等の目的での事業の利用希望については、「利用したい」が就学前児童で 42.3%、小学生児童で 16.1%となっており、「利用する必要はない」が就学前児童で 55.7%、小学生児童で 80.4%となっています。



【利用目的〈複数回答〉】

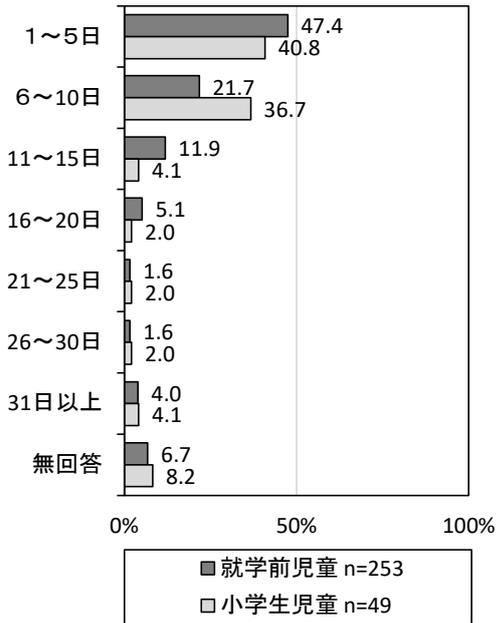
利用目的について、就学前児童は「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 71.5%で最も高く、次いで、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」が 67.5%となっています。小学生児童は「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」が 56.7%で最も高く、次いで、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 50.5%となっています。

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」の年間利用希望日数をみると、就学前児童、小学生児童ともに「1～5日」が最も高くなっています。

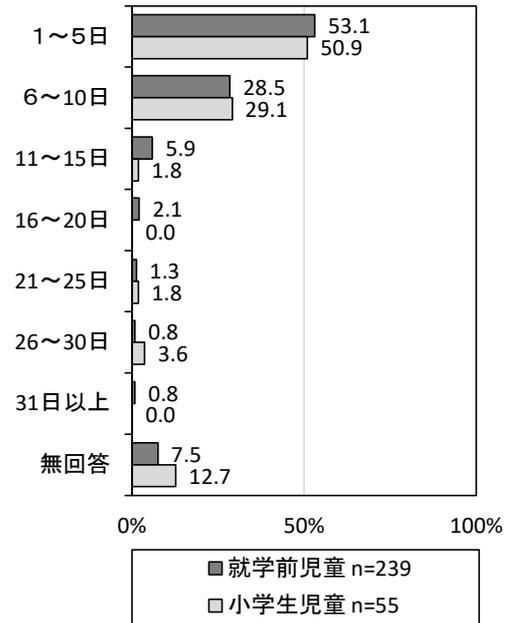


【目的別の年間利用希望日数】

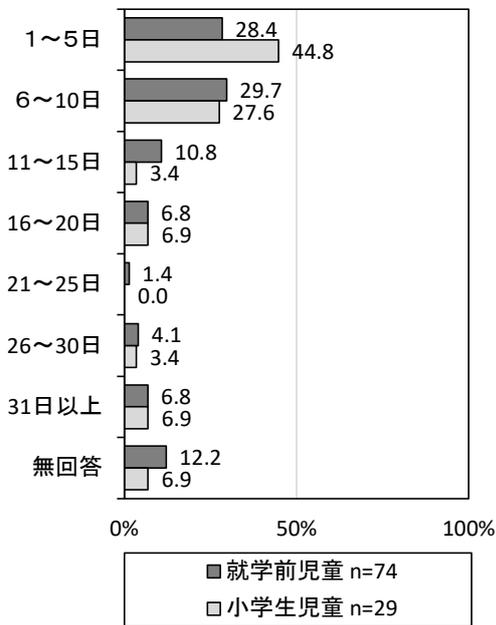
■私用、リフレッシュ目的



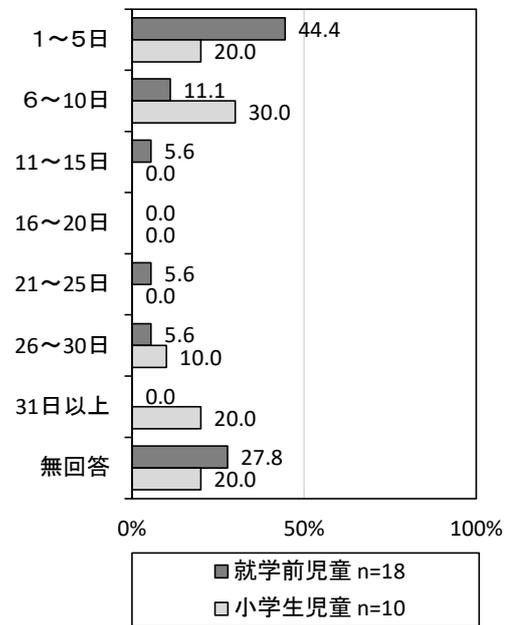
■冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院 等



■不定期の就労



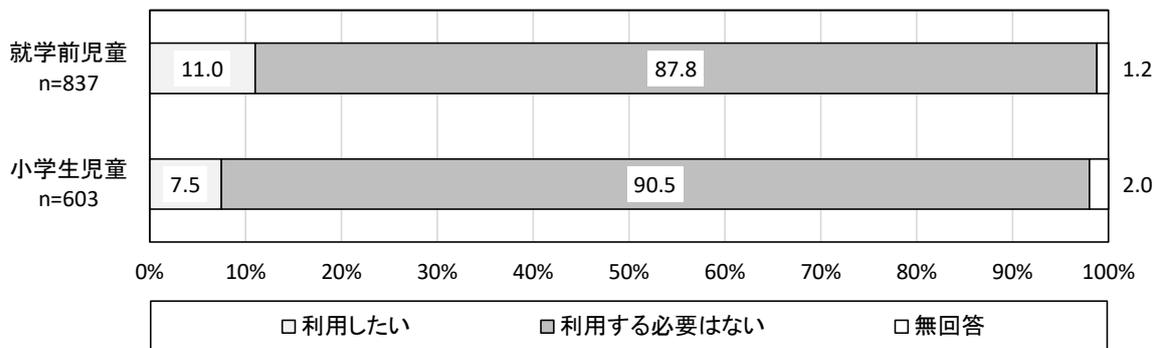
■その他



（４）保護者の用事により、子どもの宿泊を伴う短期入所生活援助事業及びそれ以外の保育事業の利用希望〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 21、小学生児童調査：問 16〕

【家族以外に預けた有無】

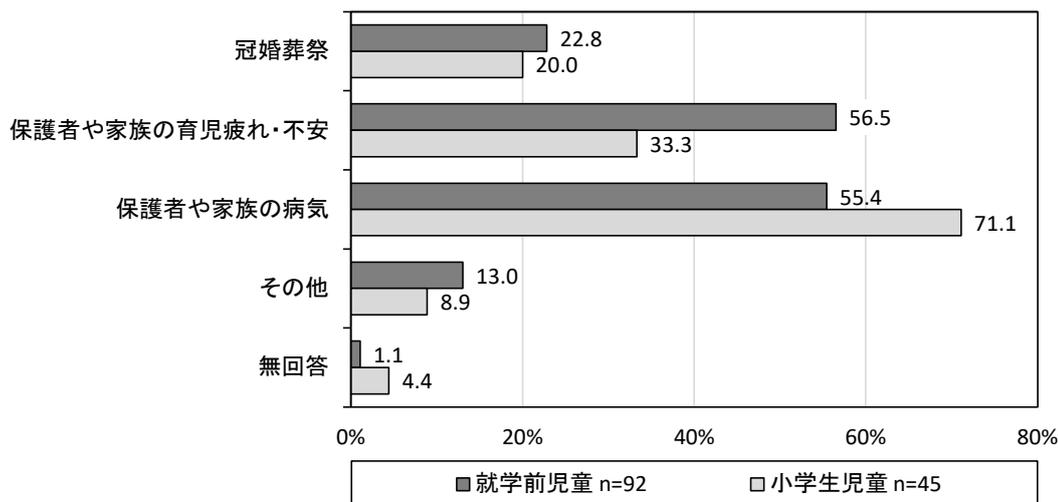
保護者の用事により、子どもの宿泊を伴う事業の利用希望については、「利用したい」が就学前児童で 11.0%、小学生児童で 7.5%となっており、「利用する必要はない」が就学前児童で 87.8%、小学生児童で 90.5%となっています。



【利用目的〈複数回答〉】

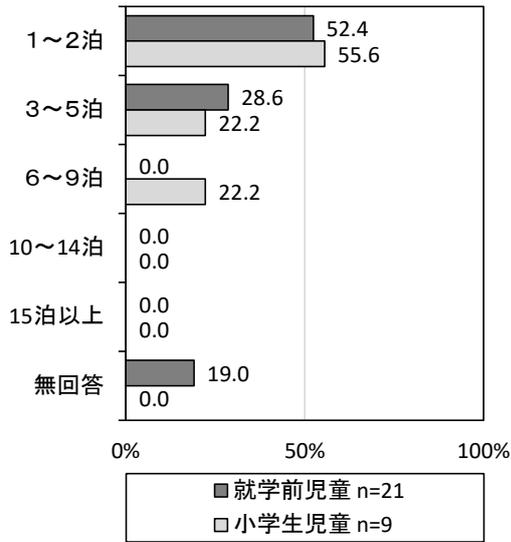
利用目的について、就学前児童は「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 56.5%で最も高く、次いで、「保護者や家族の病気」が 55.4%となっています。小学生児童は「保護者や家族の病気」が 71.1%で最も高く、次いで、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 33.3%となっています。

利用目的別の年間利用希望日数をみると、「保護者や家族の育児疲れ・不安」は就学前児童では、「1～2泊」が 32.7%、小学生児童では「3～5泊」が 40.0%で最も高くなっています。「保護者や家族の病気」は「3～5泊」が就学前児童で 45.1%、小学生児童で 37.5%と最も高くなっています。

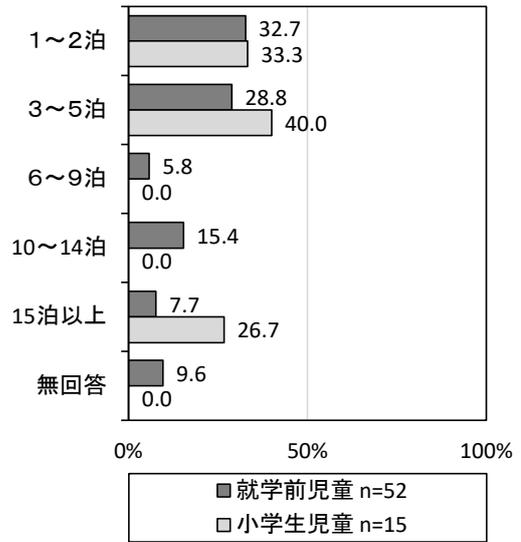


【目的別の年間利用希望日数】

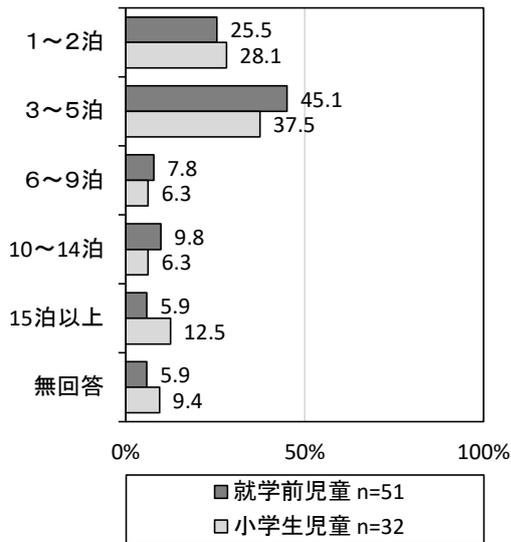
■冠婚葬祭



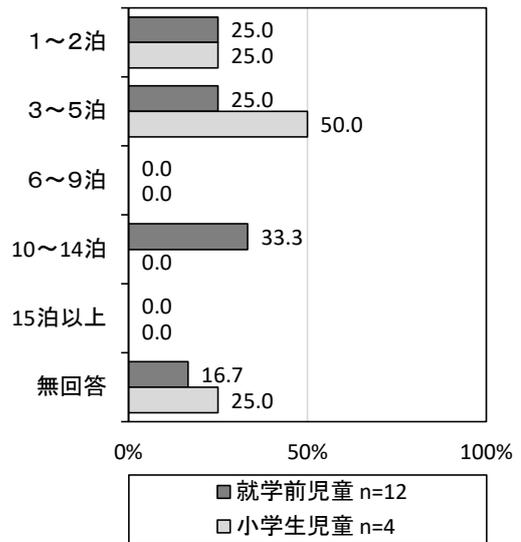
■保護者や家族の育児疲れ・不安



■保護者や家族の病気



■その他

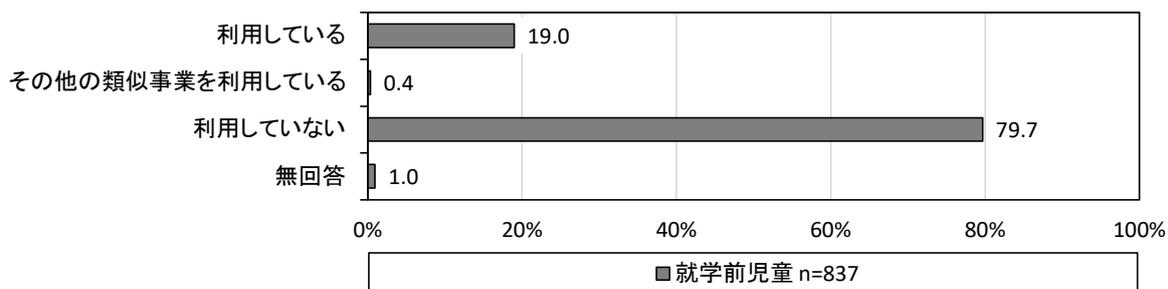


8. お子さんの子育て支援センターの利用状況について

（1）子育て支援センターの利用状況〈複数回答〉〔就学前児童調査：問 22、小学生児童調査：－〕

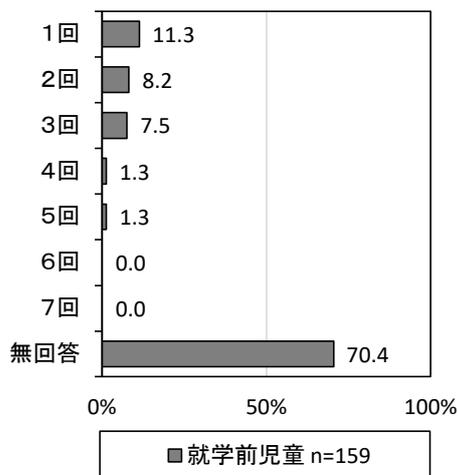
子育て支援センターの利用状況については、「利用していない」が79.7%で最も高く、次いで、「利用している」が19.0%となっています。

また、利用している方の利用回数について、「子育て支援センター」は1週あたりの利用回数は「1回」が11.3%、1か月あたりの利用回数は「1回」が44.0%で最も高くなっています。

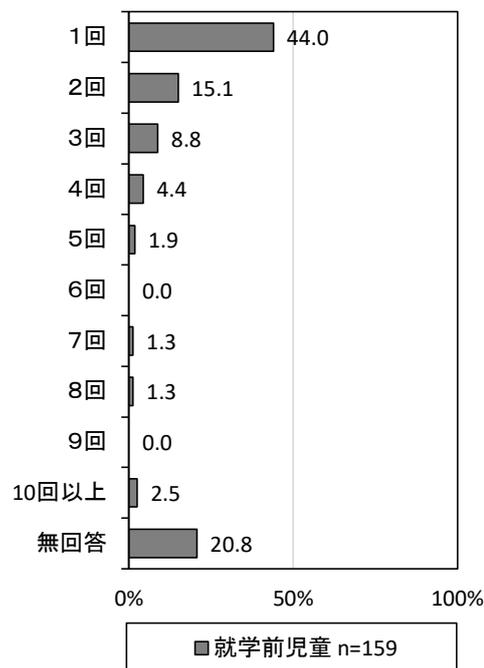


【子育て支援センター】

■ 1週あたりの利用回数

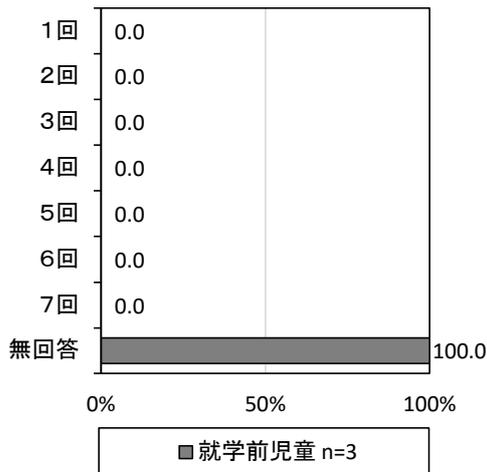


■ 1か月あたりの利用回数

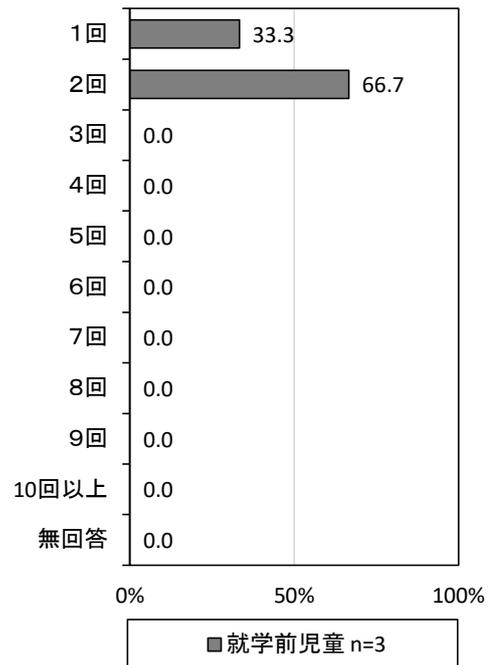


【その他の類似事業】

■ 1週あたりの利用回数



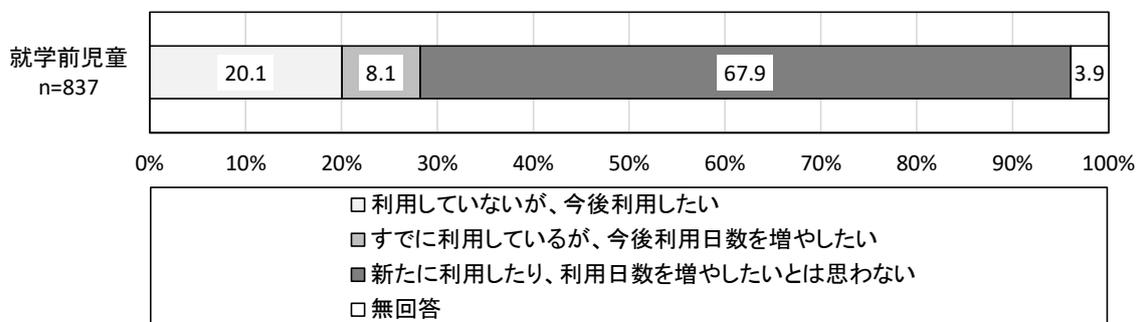
■ 1か月あたりの利用回数



（2）子育て支援センターの今後の利用意向〈単数回答〉 [就学前児童調査：問 23、小学生児童調査：一]

子育て支援センターの今後の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が67.9%で最も高く、次いで、「利用していないが、今後利用したい」が20.1%となっています。

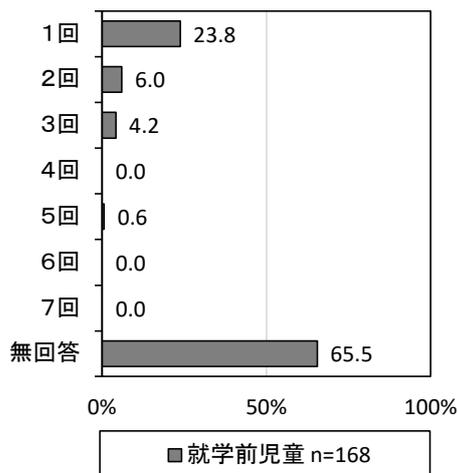
また、「利用していないが、今後利用したい」という方の利用希望回数については、1週あたりの利用希望回数は「1回」が23.8%、1か月あたりの利用希望回数は「1回」が36.9%で最も高く、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」という方の増やしたい利用回数については、増やしたい1週あたりの利用回数は「1回」が16.2%、増やしたい1か月あたりの利用回数は「2回」が26.5%で最も高くなっています。



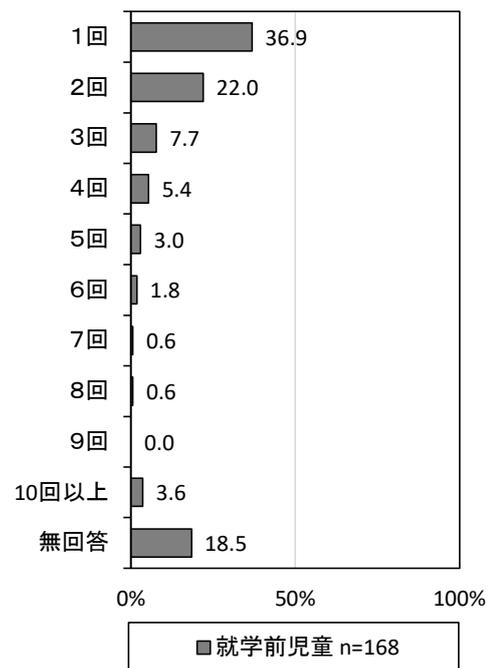
II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

【利用していないが、今後利用したい】

■ 1週あたりの利用希望回数

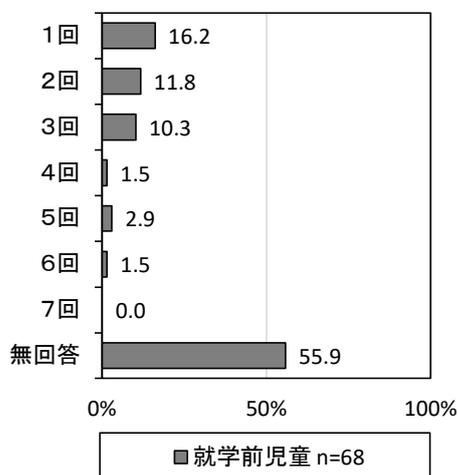


■ 1か月あたりの利用希望回数

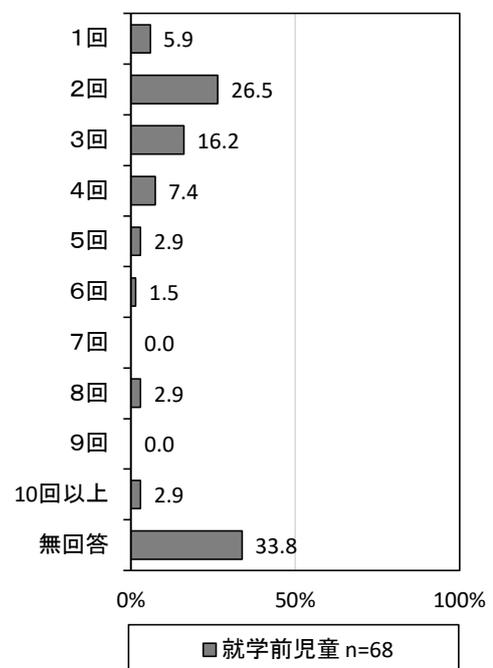


【すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい】

■ 増やしたい1週あたりの利用回数



■ 増やしたい1か月あたりの利用回数



9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

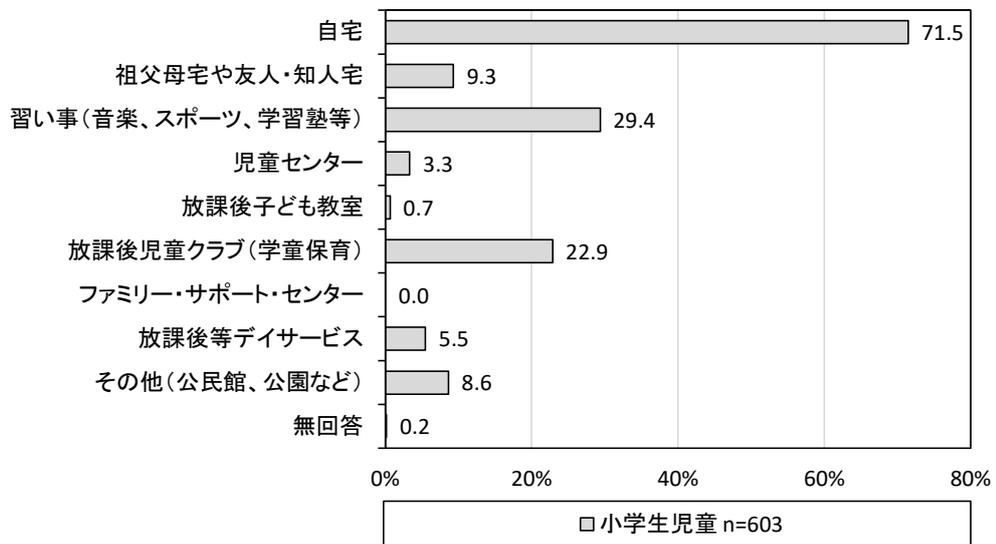
（1）現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごしている場所〈複数回答〉

〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 17〕

小学生の放課後の過ごし方の状況については、「自宅」が71.5%で最も高く、次いで、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」が29.4%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が22.9%となっています。

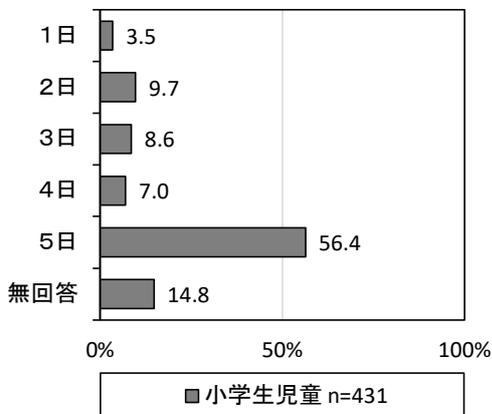
1週あたりの利用希望日数については、「自宅」、「放課後児童クラブ」では「5日」、「習い事」では「1日」が最も高くなっています。

また、放課後児童クラブを何時まで利用したいかについては、「18時」が53.6%で最も高くなっています。

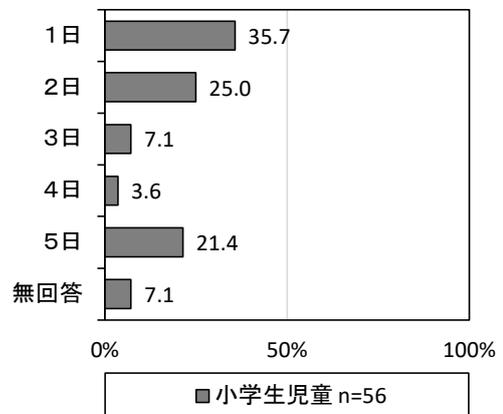


【1週あたりの利用日数】

■ 自宅

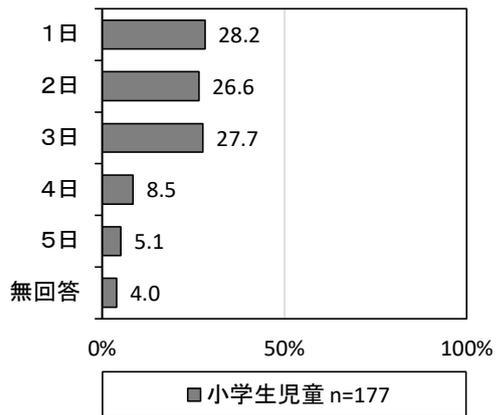


■ 祖父母宅や友人・知人宅

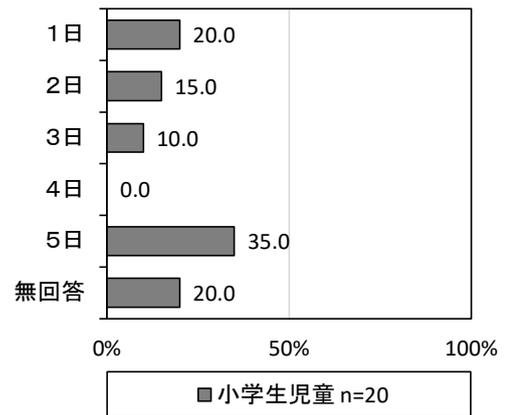


II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

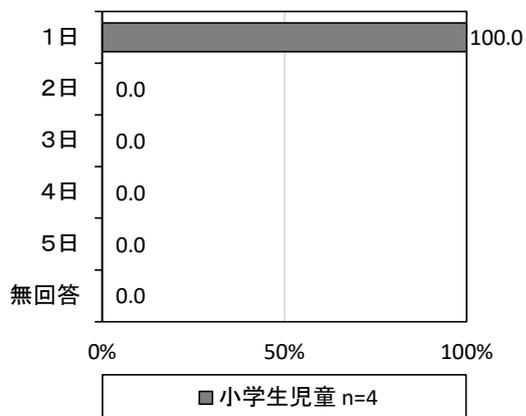
■習い事



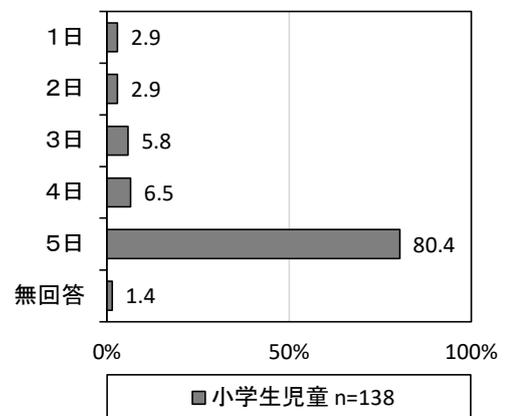
■児童センター



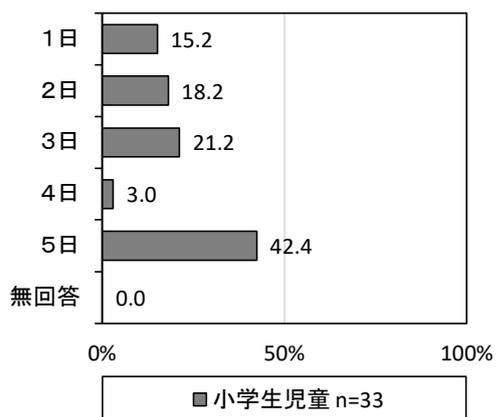
■放課後子ども教室



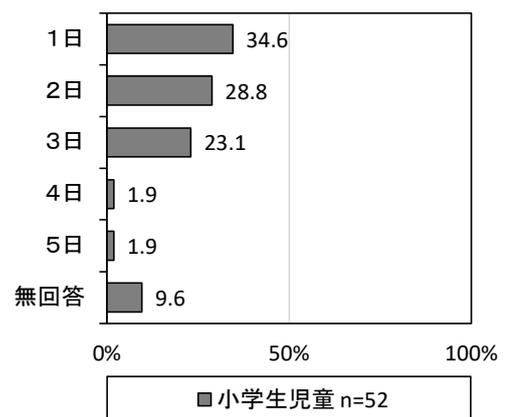
■放課後児童クラブ



■放課後デイサービス

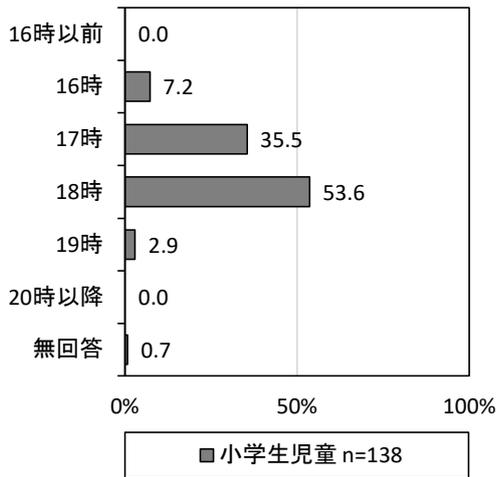


■その他



※ファミリー・サポート・センターは該当者なし

【放課後児童クラブの利用時間（何時まで）】



居住地区別にみると、すべての地区で「自宅」が最も高くなっています。それ以外では「習い事」、「放課後児童クラブ」の割合が高くなっています。

■居住地区別 小学生の放課後の過ごし方の状況（小学生児童）

項目	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）	児童センター	放課後子ども教室	放課後児童クラブ（学童保育）	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他（公民館、公園など）	無回答
氏家小学校 n=184	75.5	9.2	34.2	2.2	0.0	15.2	0.0	7.1	9.2	0.0
押上小学校 n=38	68.4	10.5	31.6	2.6	2.6	31.6	0.0	2.6	2.6	0.0
熟田小学校 n=41	63.4	7.3	31.7	2.4	0.0	26.8	0.0	9.8	4.9	0.0
上松山小学校 n=118	69.5	5.1	17.8	5.9	0.0	28.0	0.0	3.4	5.1	0.0
南小学校 n=132	69.7	7.6	27.3	2.3	0.0	26.5	0.0	5.3	15.2	0.8
喜連川小学校 n=90	73.3	17.8	35.6	4.4	3.3	21.1	0.0	4.4	6.7	0.0

II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

就学前児童は来年度小学校入学予定の方、小学生は小学校低学年（1～3年生）の方

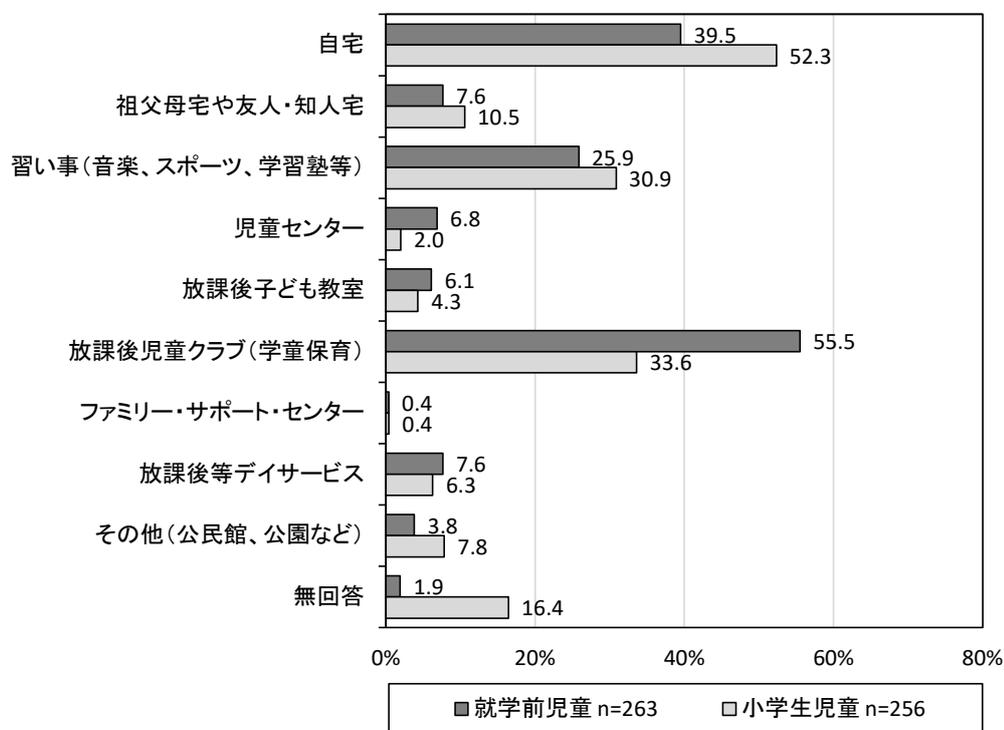
（2）小学校低学年（1～3年生）の期間、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいかについて〈複数回答〉〔就学前児童調査：問24（A）、小学生児童調査：問18（A）〕

低学年（1～3年生）の放課後の過ごさせ方の希望について、就学前児童は「放課後児童クラブ（学童保育）」が55.5%で最も高く、次いで、「自宅」が39.5%、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」が25.9%となっています。

小学生児童は「自宅」が52.3%で最も高く、次いで、「放課後児童クラブ」が33.6%、「習い事」が30.9%となっています。

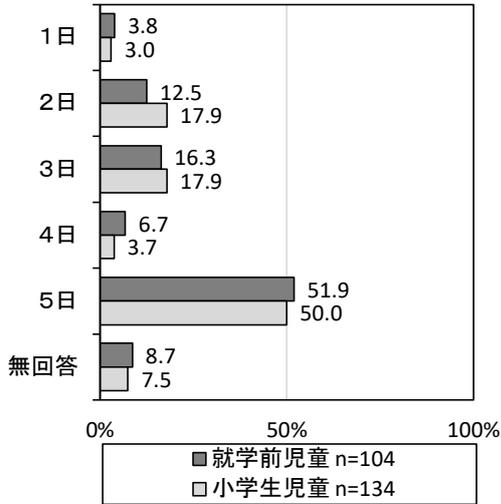
1週あたりの利用希望日数については、「自宅」、「放課後児童クラブ」では、「5日」が就学前児童で80.8%、小学生児童で75.6%と最も高く、「習い事」では、「1日」が就学前児童で44.1%、「2日」が小学生児童で43.0%と最も高くなっています。

また、放課後児童クラブを何時まで利用したいかについては、就学前児童は「18時台」が45.9%で最も高く、小学生児童は「17時」「18時」がともに44.2%で最も高くなっています。

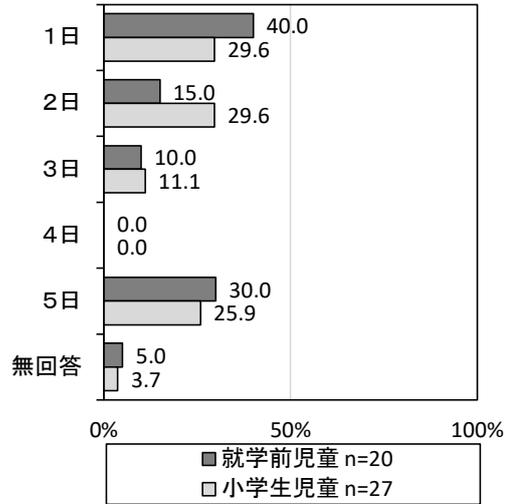


【1週あたりの利用希望日数】

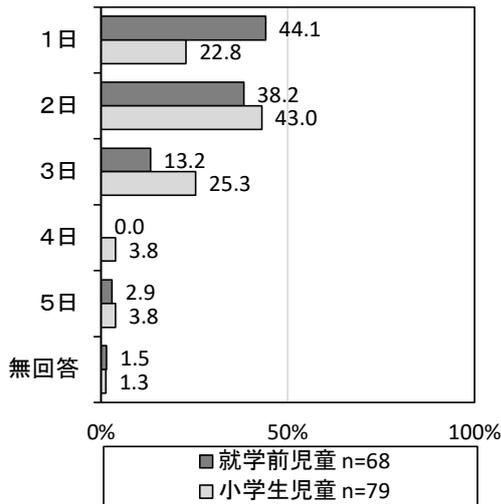
■自宅



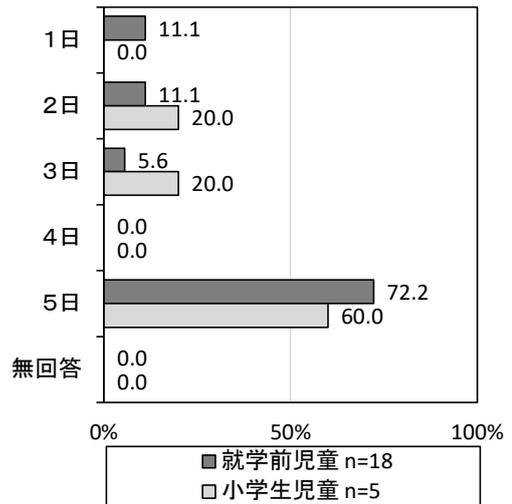
■祖父母宅や友人・知人宅



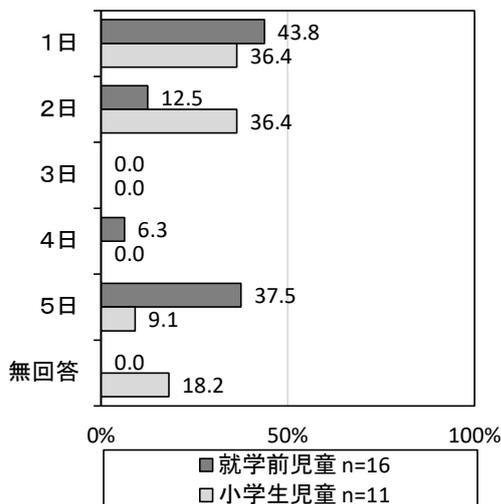
■習い事



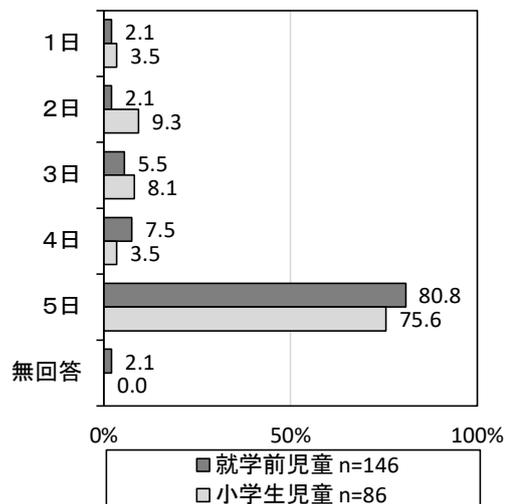
■児童センター



■放課後子ども教室

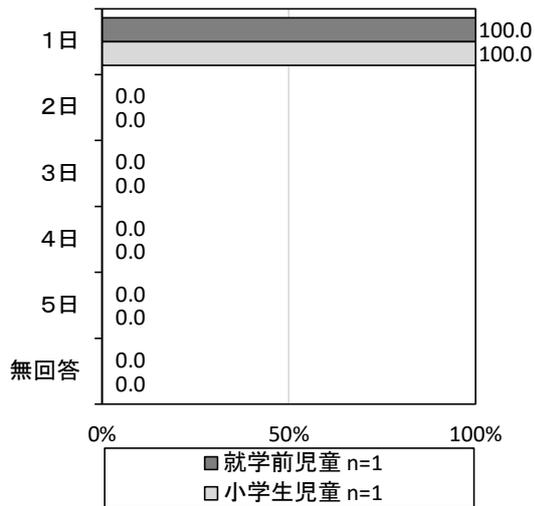


■放課後児童クラブ

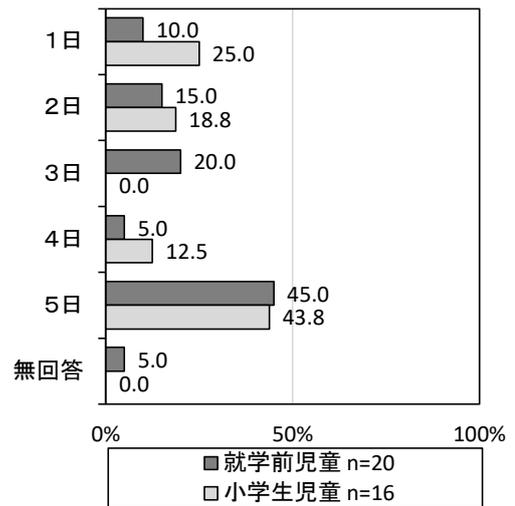


II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

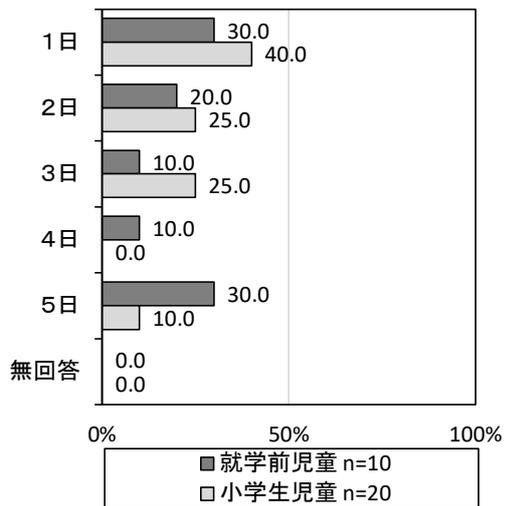
■ファミリー・サポート・センター



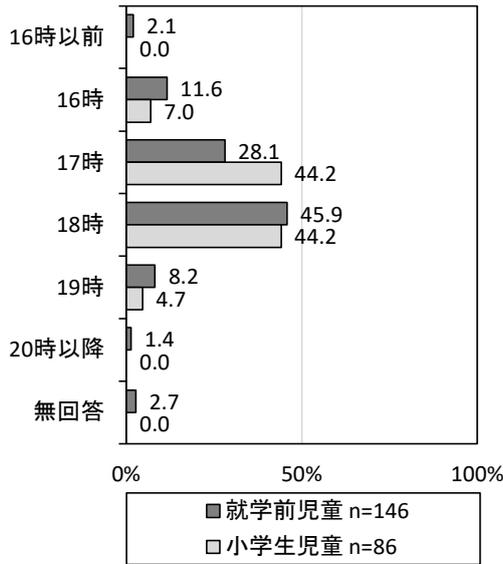
■放課後等デイサービス



■その他



【放課後児童クラブを利用したい時間（何時まで）】



居住地区別にみると、就学前児童、小学生児童ともに、「自宅」、「習い事」、「放課後児童クラブ」の割合が高くなっています。

■居住地区別 低学年の放課後の過ごしませ方の希望（就学前児童）

項目	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(音楽、スポーツ、学習塾等)	児童センター	放課後子ども教室	放課後児童クラブ(学童保育)	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他(公民館、公園など)	無回答	
居住地区別	氏家小学校 n=71	40.8	4.2	22.5	8.5	5.6	50.7	0.0	8.5	5.6	0.0
	押上小学校 n=8	50.0	12.5	25.0	12.5	0.0	62.5	0.0	25.0	0.0	0.0
	熟田小学校 n=12	50.0	8.3	33.3	0.0	0.0	41.7	0.0	8.3	0.0	8.3
	上松山小学校 n=61	32.8	6.6	23.0	6.6	6.6	60.7	0.0	4.9	1.6	1.6
	南小学校 n=69	36.2	4.3	23.2	7.2	5.8	65.2	1.4	5.8	4.3	2.9
	喜連川小学校 n=39	46.2	20.5	35.9	5.1	7.7	46.2	0.0	10.3	5.1	0.0

■居住地区別 低学年の放課後の過ごしませ方の希望（小学生児童）

項目	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(音楽、スポーツ、学習塾等)	児童センター	放課後子ども教室	放課後児童クラブ(学童保育)	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他(公民館、公園など)	無回答	
居住地区別	氏家小学校 n=81	61.7	9.9	27.2	2.5	2.5	21.0	0.0	6.2	7.4	14.8
	押上小学校 n=15	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	46.7	0.0	0.0	6.7	6.7
	熟田小学校 n=19	42.1	10.5	26.3	0.0	0.0	42.1	0.0	15.8	5.3	21.1
	上松山小学校 n=47	44.7	8.5	25.5	0.0	2.1	38.3	0.0	2.1	6.4	23.4
	南小学校 n=53	43.4	3.8	24.5	3.8	3.8	47.2	0.0	7.5	13.2	17.0
	喜連川小学校 n=41	63.4	26.8	51.2	2.4	14.6	26.8	2.4	7.3	4.9	12.2

II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

就学前児童は来年度小学校入学予定の方、小学生は全員の方

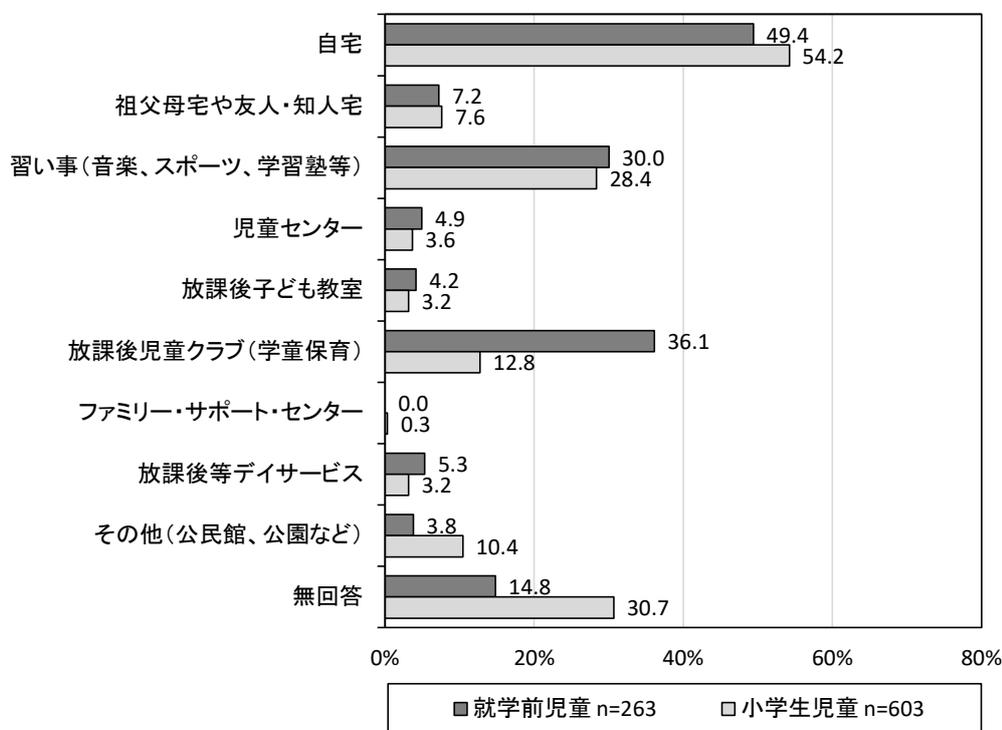
（3）小学校高学年（4～6年生）の期間、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいかについて〈複数回答〉〔就学前児童調査：問 24（B）、小学生児童調査：問 18（B）〕

高学年（4～6年生）の放課後の過ごさせ方の希望について、就学前児童は「自宅」が49.4%で最も高く、次いで、「放課後児童クラブ（学童保育）」が36.1%、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」が30.0%となっています。

小学生児童は「自宅」が54.2%で最も高く、次いで、「習い事」が28.4%、「放課後児童クラブ」が12.8%となっています。

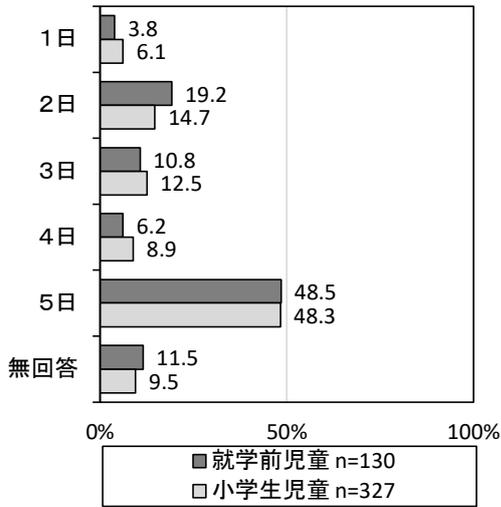
1週あたりの利用希望日数については、「自宅」、「放課後児童クラブ」では、「5日」が就学前児童で48.5%、小学生児童で48.3%と最も高く、「習い事」では、「2日」が就学前児童で48.1%、小学生児童で35.7%と最も高くなっています。

また、放課後児童クラブを何時まで利用したいかについては、「18時」が就学前児童で49.5%、小学生児童で54.5%と最も高くなっています。

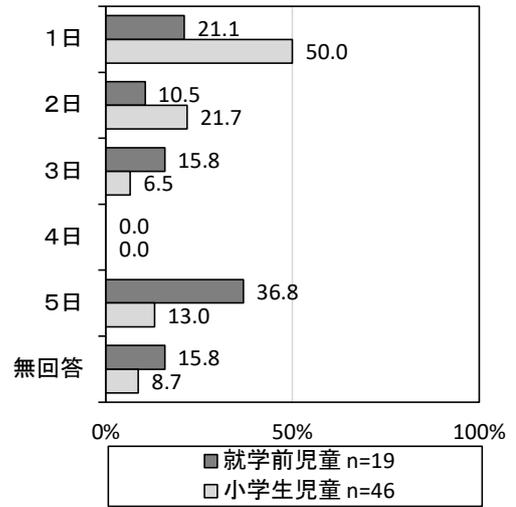


【1週あたりの利用希望日数】

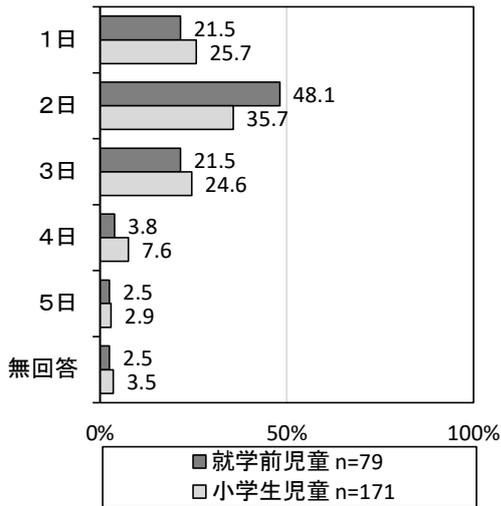
■自宅



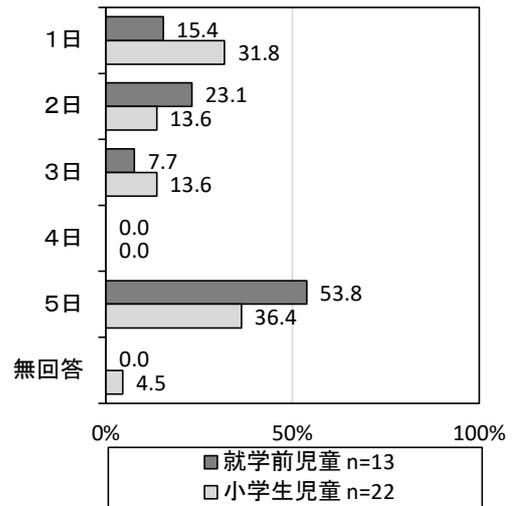
■祖父母宅や友人・知人宅



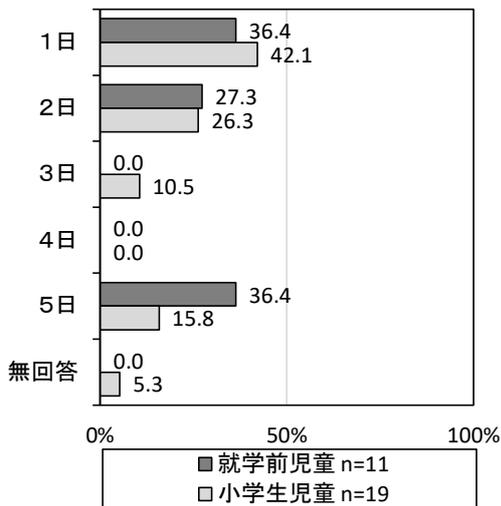
■習い事



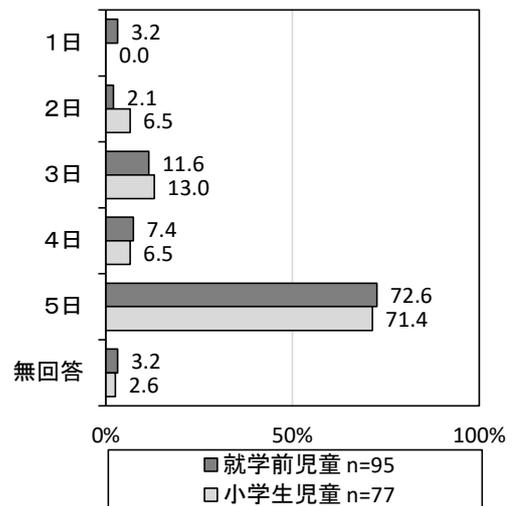
■児童センター



■放課後子ども教室

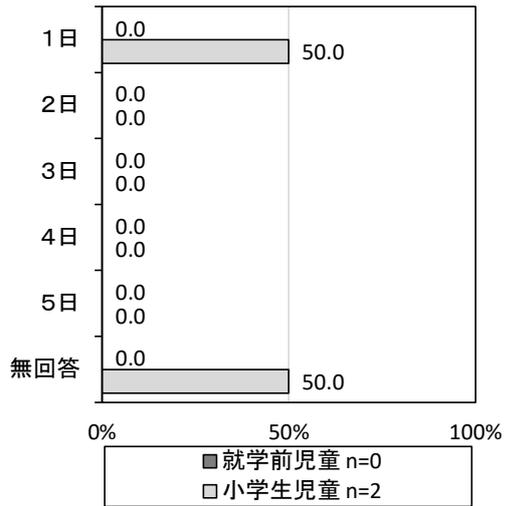


■放課後児童クラブ

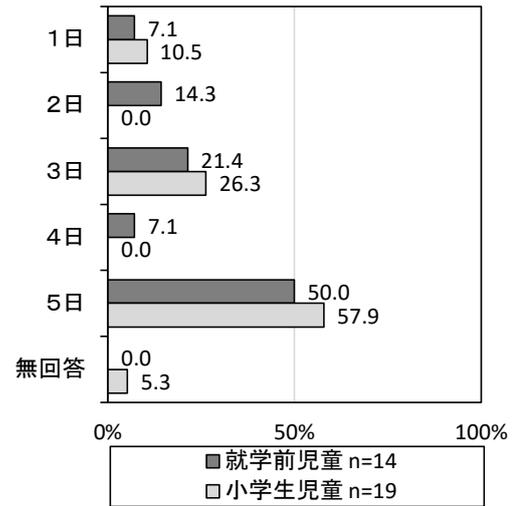


II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

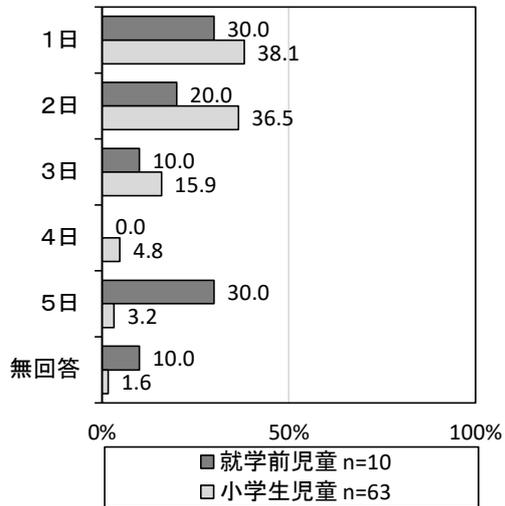
■ファミリー・サポート・センター



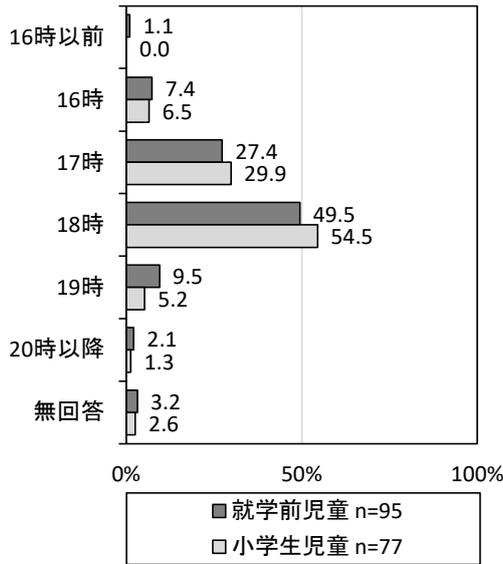
■放課後デイサービス



■その他



【放課後児童クラブを利用したい時間（何時まで）】



居住地区別にみると、就学前児童については、「自宅」、「習い事」、「放課後児童クラブ」の割合が高くなっています。小学生児童については、すべての地区で「自宅」が最も高く、次いで、「習い事」の割合が高くなっています。

■居住地区別 高学年の放課後の過ごし方の希望（就学前児童）

項目	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(音楽、スポーツ、学習塾等)	児童センター	放課後子ども教室	放課後児童クラブ(学童保育)	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他(公民館、公園など)	無回答	
居住地区別	氏家小学校 n=71	50.7	4.2	26.8	7.0	4.2	29.6	0.0	7.0	5.6	21.1
	押上小学校 n=8	37.5	0.0	25.0	12.5	0.0	62.5	0.0	12.5	0.0	25.0
	熟田小学校 n=12	58.3	16.7	41.7	0.0	0.0	33.3	0.0	8.3	0.0	16.7
	上松山小学校 n=61	49.2	4.9	26.2	3.3	1.6	31.1	0.0	3.3	0.0	21.3
	南小学校 n=69	49.3	2.9	29.0	4.3	5.8	49.3	0.0	2.9	7.2	2.9
	喜連川小学校 n=39	48.7	23.1	41.0	5.1	7.7	30.8	0.0	7.7	2.6	7.7

■居住地区別 高学年の放課後の過ごし方の希望（小学生児童）

項目	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(音楽、スポーツ、学習塾等)	児童センター	放課後子ども教室	放課後児童クラブ(学童保育)	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他(公民館、公園など)	無回答	
居住地区別	氏家小学校 n=184	51.1	6.5	31.0	1.1	2.2	7.1	0.0	4.3	13.0	34.8
	押上小学校 n=38	57.9	13.2	34.2	2.6	5.3	18.4	0.0	2.6	5.3	21.1
	熟田小学校 n=41	53.7	4.9	22.0	0.0	4.9	17.1	0.0	7.3	4.9	29.3
	上松山小学校 n=118	54.2	5.9	25.4	7.6	2.5	17.8	0.8	2.5	9.3	25.4
	南小学校 n=132	59.1	6.8	30.3	3.8	2.3	12.9	0.8	3.0	12.9	29.5
	喜連川小学校 n=90	52.2	12.2	24.4	5.6	5.6	13.3	0.0	0.0	7.8	35.6

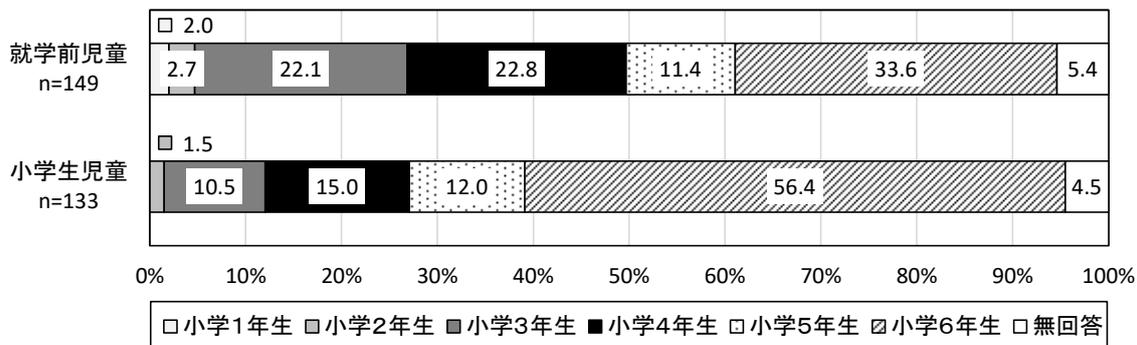
II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

（2）、（3）で「放課後児童クラブ（学童保育）」を選択した方

（4）放課後児童クラブを何年生まで利用したいか〈単数回答〉

〔就学前児童調査：問 24-1、小学生児童調査：18-1〕

放課後児童クラブを何年生まで利用したいかについては、「小学6年生」が就学前児童で33.6%、小学生児童で56.4%と最も高く、次いで、「小学4年生」が就学前児童で22.8%、小学生児童で15.0%となっています。



(2)、(3)で「放課後児童クラブ（学童保育）」を選択した方

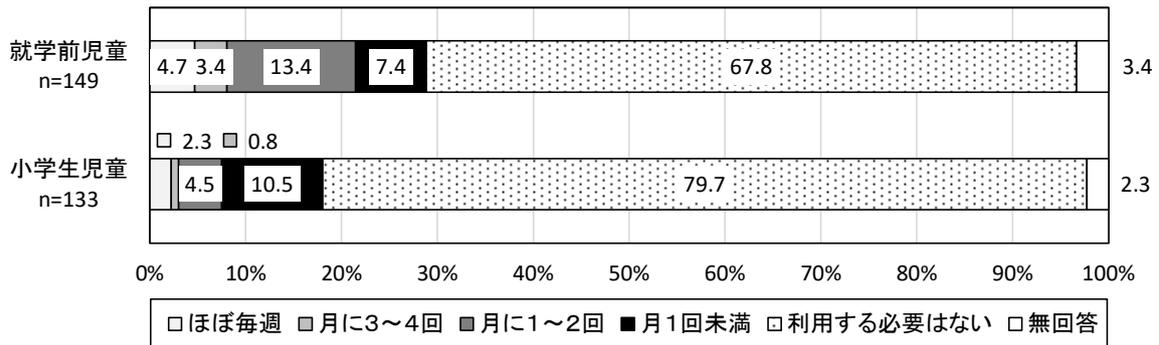
(5) 土曜日と日曜日・祝日における放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査：問 24-2 (1)(2)、小学生児童調査：18-2 (1)(2)〕

①土曜日

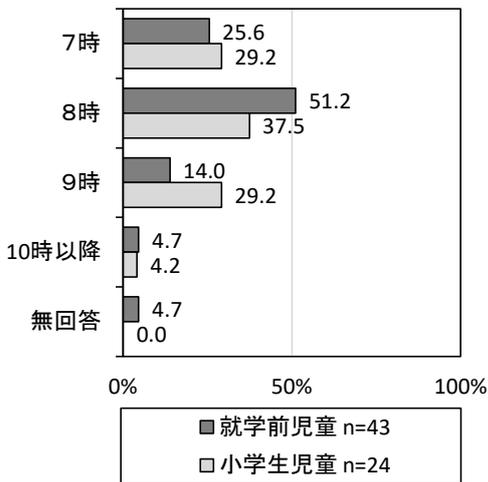
土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が就学前児童で67.8%、小学生児童で79.7%と最も高く、次いで、就学前児童は「月に1～2回」が13.4%、小学生児童は「月に1回未満」が10.5%となっています。

また、利用したい時間帯について、希望の利用開始時間は「8時」が就学前児童で51.2%、小学生児童で37.5%と最も高く、希望の利用終了時間は「18時」が就学前児童で39.5%、小学生児童で54.2%と最も高くなっています。

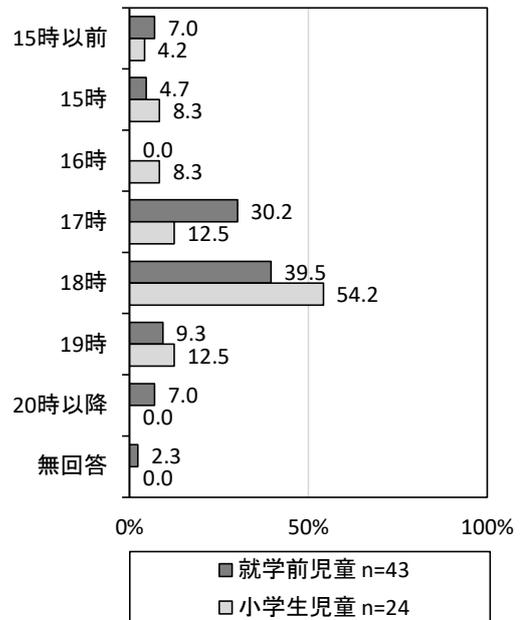


【利用したい時間帯】

■希望利用開始時間



■希望利用終了時間

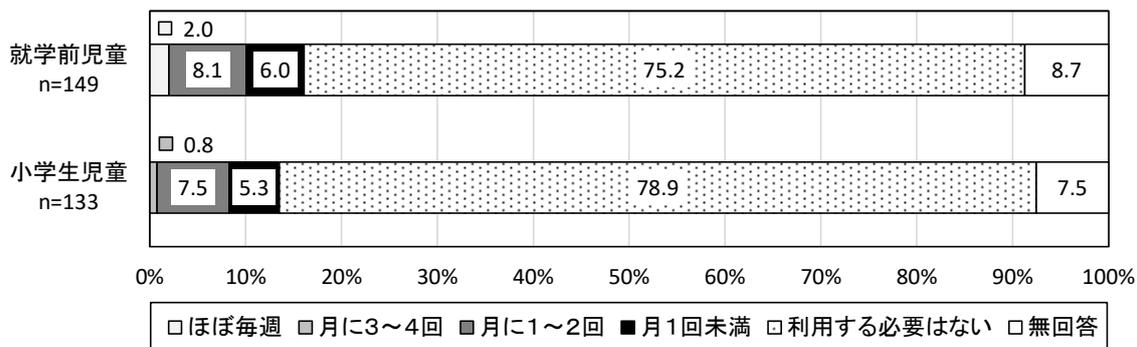


II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

②日曜日・祝日

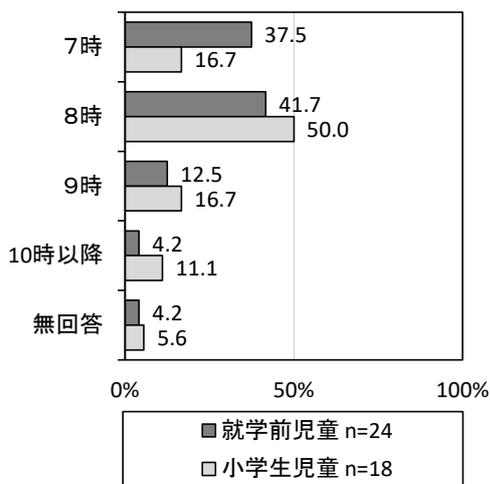
日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が就学前児童で75.2%、小学生児童で78.9%と最も高く、次いで、「月に3～4回」が就学前児童で8.1%、小学生児童で7.5%となっています。

また、利用したい時間帯について、希望の利用開始時間は「8時」が就学前児童で41.7%、小学生児童で50.0%と最も高く、希望の利用終了時間は就学前児童が「18時」で37.5%、小学生児童が「17時」、「18時」でともに33.3%と最も高くなっています。

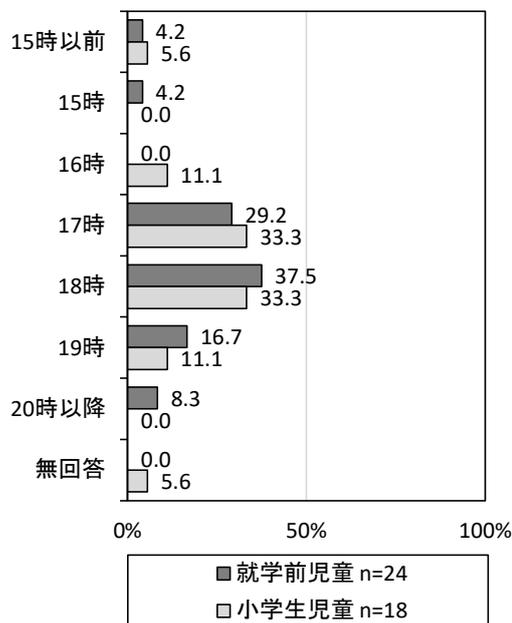


【利用したい時間帯】

■希望利用開始時間



■希望利用終了時間



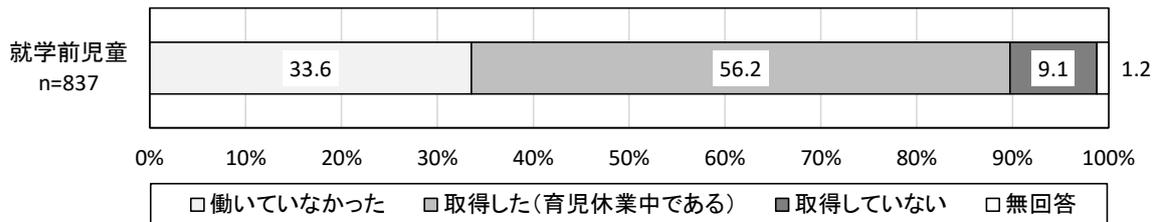
10. 育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度について

（1）子どもが生まれた時、育児休業を取得したかについて〈単数回答〉

[就学前児童調査：問 25（1）（2）、小学生児童調査：－]

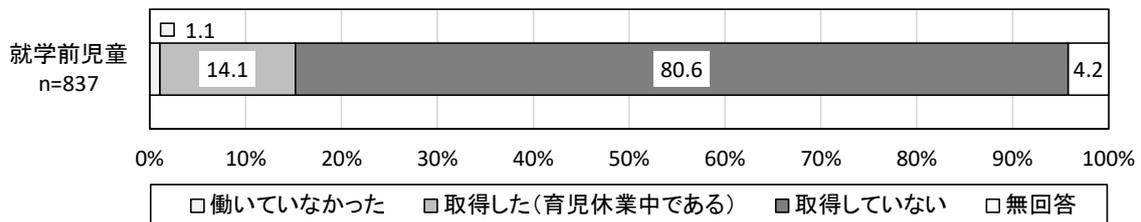
①母親

母親の育児休業の取得状況については、「取得した（育児休業中である）」が 56.2%で最も高く、次いで、「働いていなかった」が 33.6%となっています。



②父親

父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」が 80.6%で最も高く、次いで、「取得した（育児休業中である）」が 14.1%となっています。

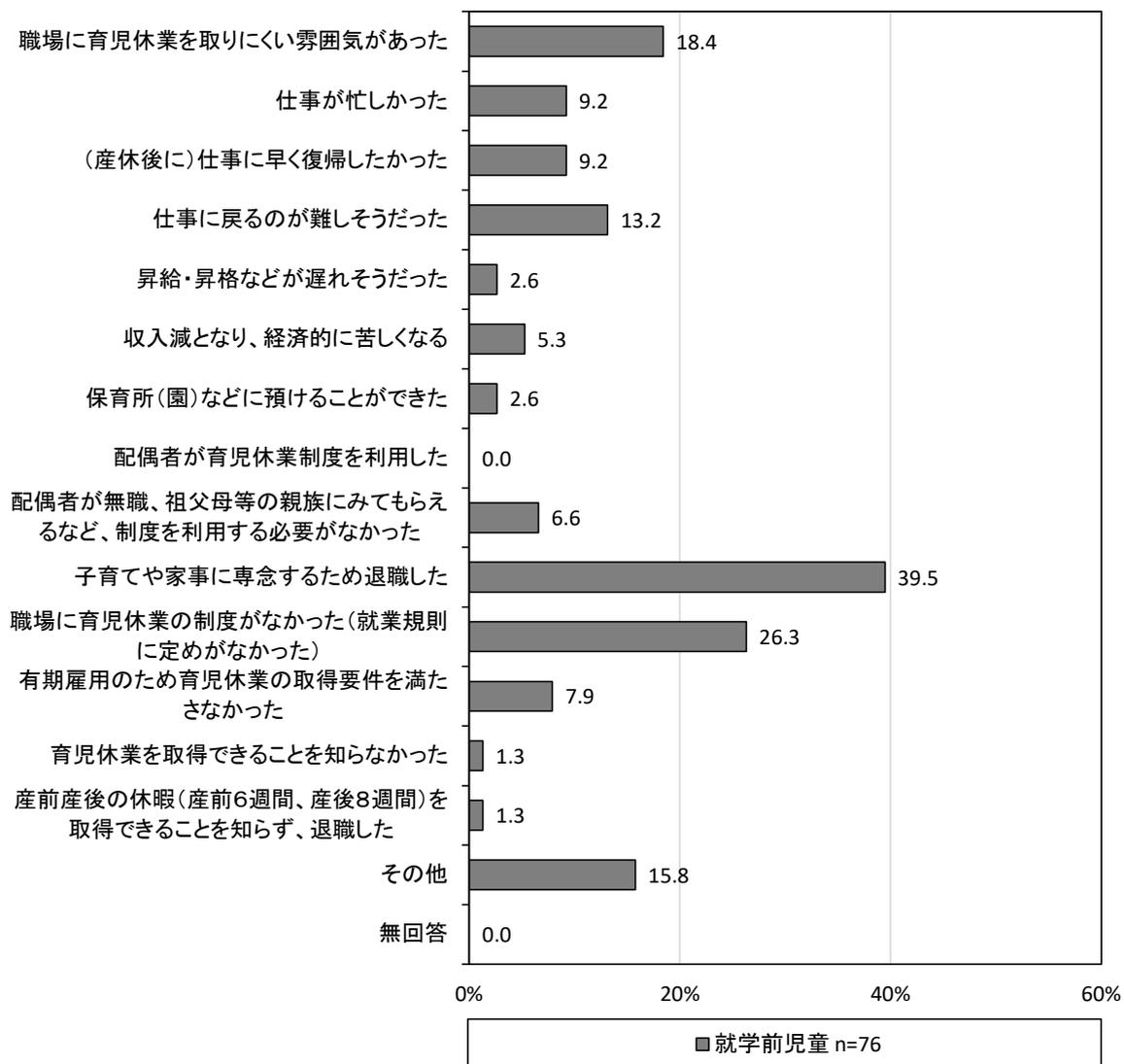


II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

【育児休業を取得していない理由〈複数回答〉】

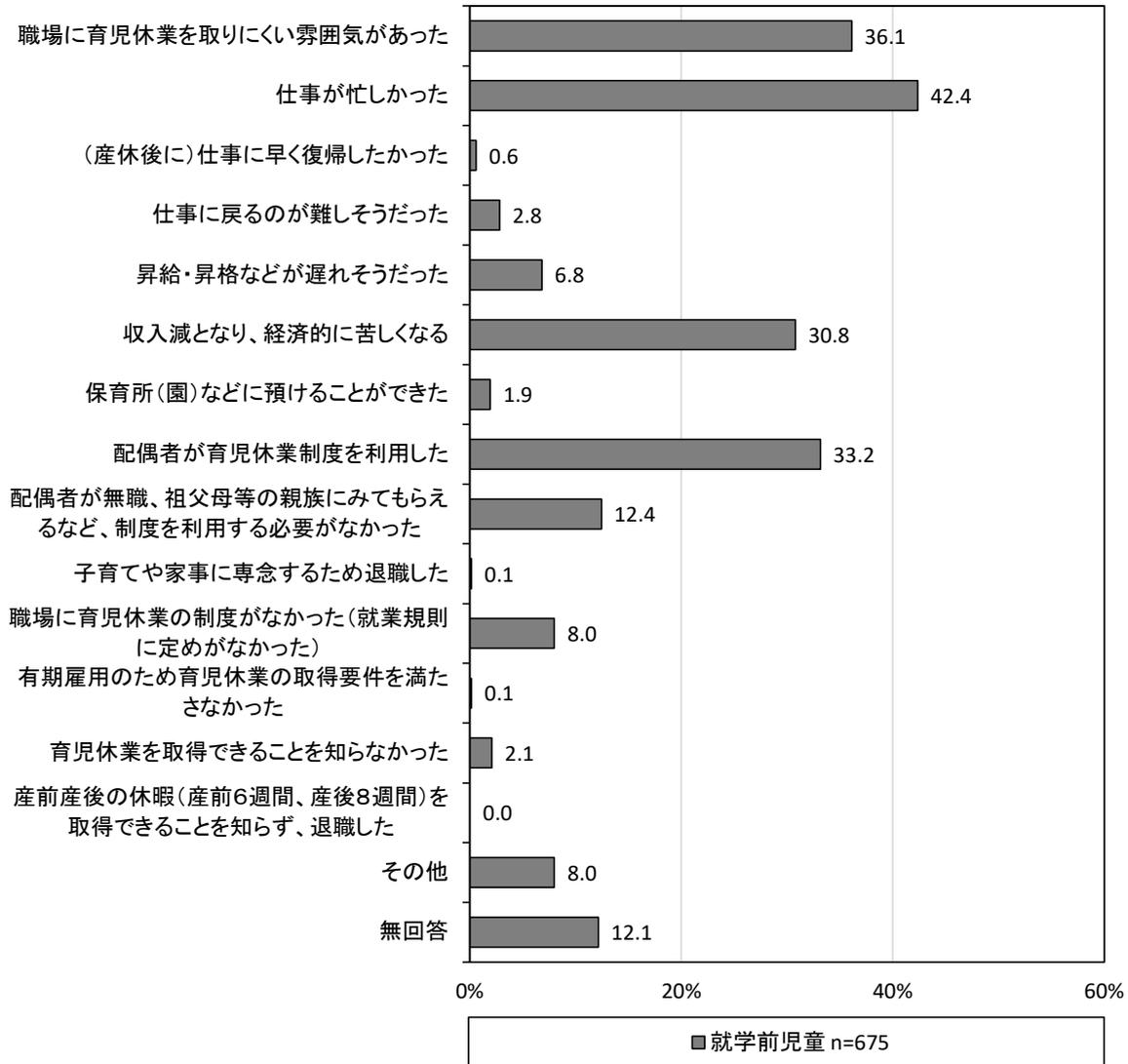
①母親

母親の育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が39.5%で最も高く、次いで、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が26.3%となっています。



②父親

父親の育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」が42.4%で最も高く、次いで、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が36.1%となっています。



II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

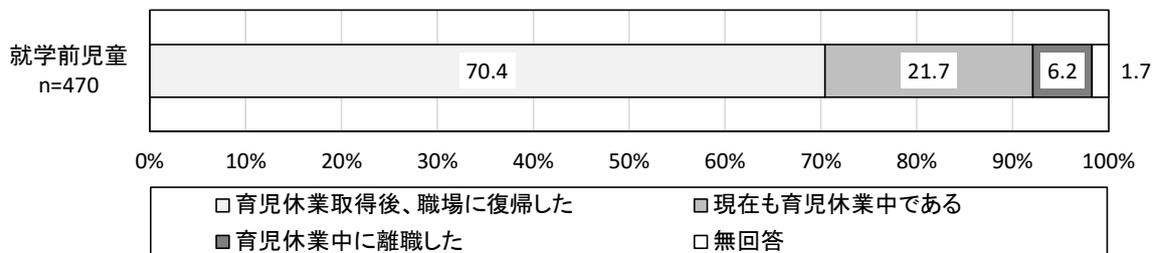
（1）で「取得した（育児休業中である）」を選択した方

（2）育児休業取得後、職場に復帰したか〈単数回答〉

〔就学前児童調査：問 25-1（1）（2）、小学生児童調査：－〕

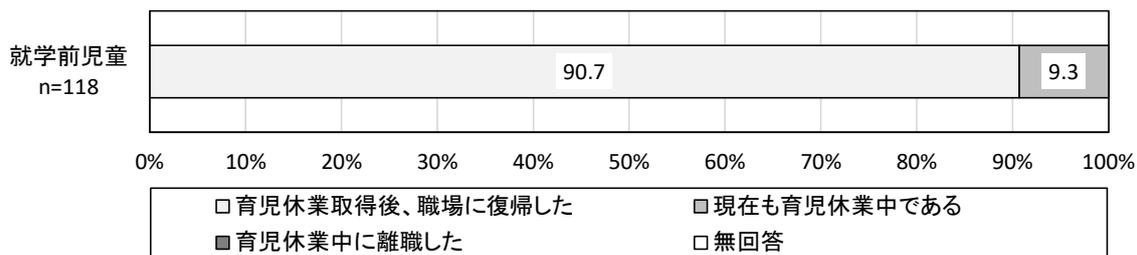
①母親

母親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が70.4%で最も高く、次いで、「現在も育児休業中である」が21.7%となっています。



②父親

父親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が90.7%、次いで、「現在も育児休業中である」が9.3%となっています。



（2）で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選択した方

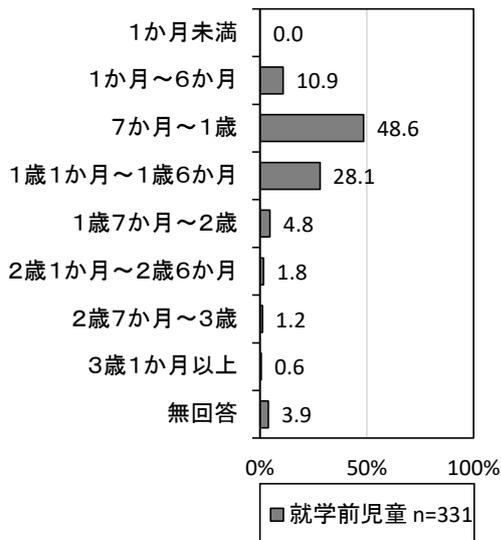
（3）実際と希望の職場復帰時期〈数量回答〉〔就学前児童調査：問25-2、小学生児童調査：一〕

①母親

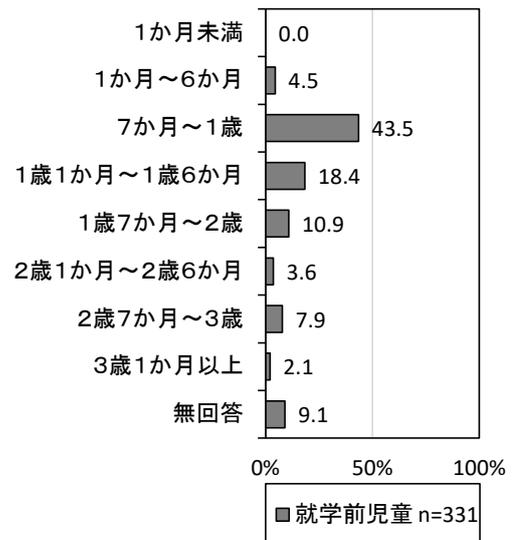
母親の育児休業取得後の復帰時期については、実際の復帰時期は「7か月～1歳」が48.6%で最も高く、次いで、「1歳1か月～1歳6か月」が28.1%となっています。

希望の復帰時期は「7か月～1歳」が43.5%で最も高く、次いで、「1歳1か月～1歳6か月」が18.4%となっています。

■実際の復帰時期



■希望の復帰時期

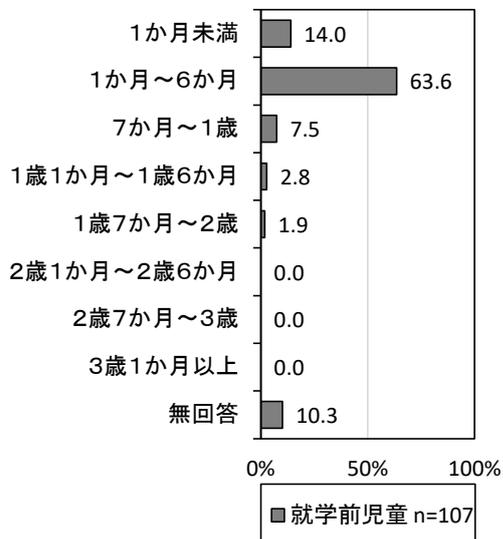


II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

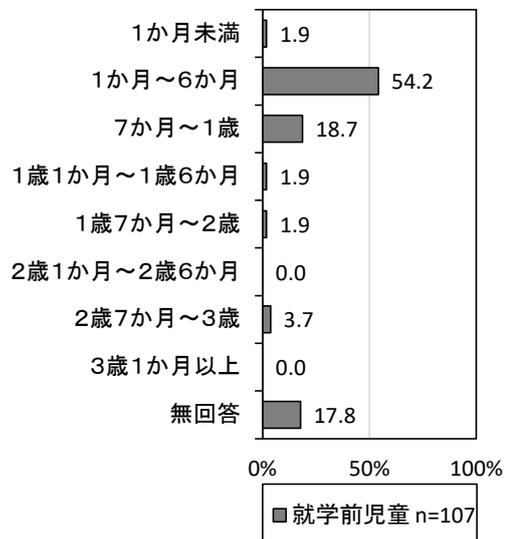
②父親

父親の育児休業取得後の復帰時期については、実際の復帰時期と希望の復帰時期はともに「1か月～6か月」が最も高くなっています。

■実際の復帰時期



■希望の復帰時期



（3）で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方

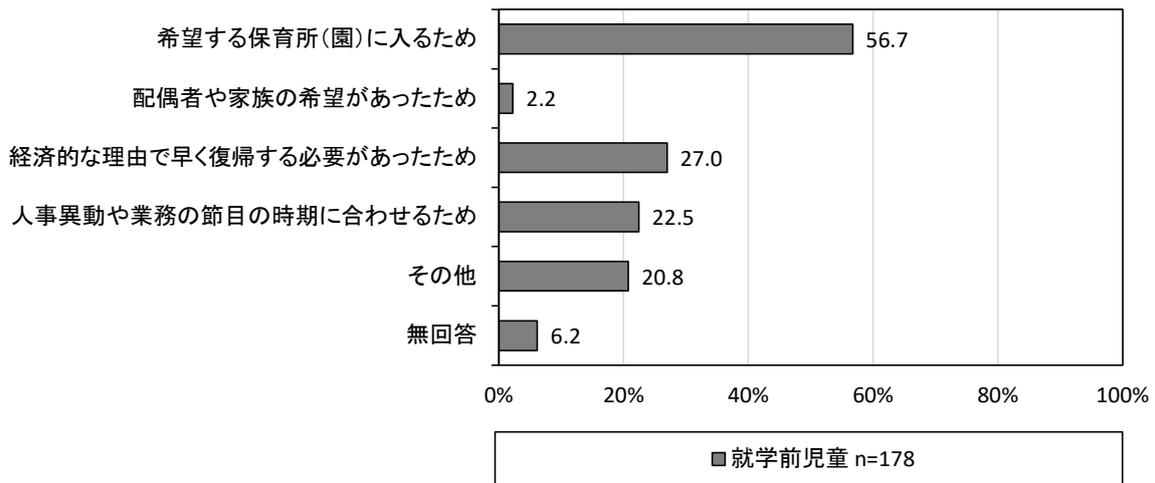
（4）「希望」より早く復帰した理由・「希望」より遅く復帰した理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査：問 25-3、小学生児童調査：－〕

【希望より早く復帰した理由】

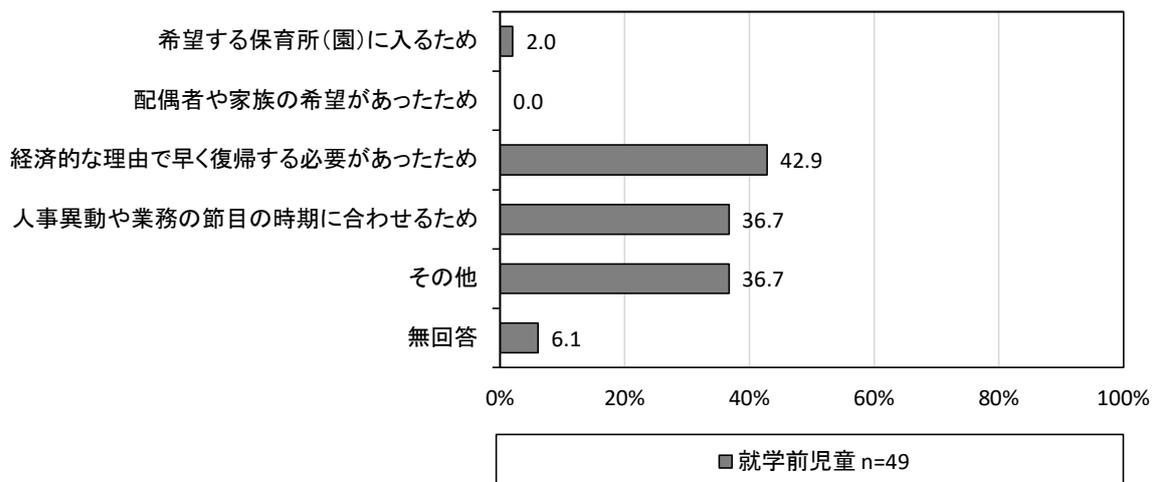
①母親

母親が希望より早く職場復帰した理由については、「希望する保育所(園)に入るため」が 56.7%で最も高く、次いで、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 27.0%となっています。



②父親

父親が希望より早く職場復帰した理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 42.9%で最も高く、次いで、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 36.7%となっています。

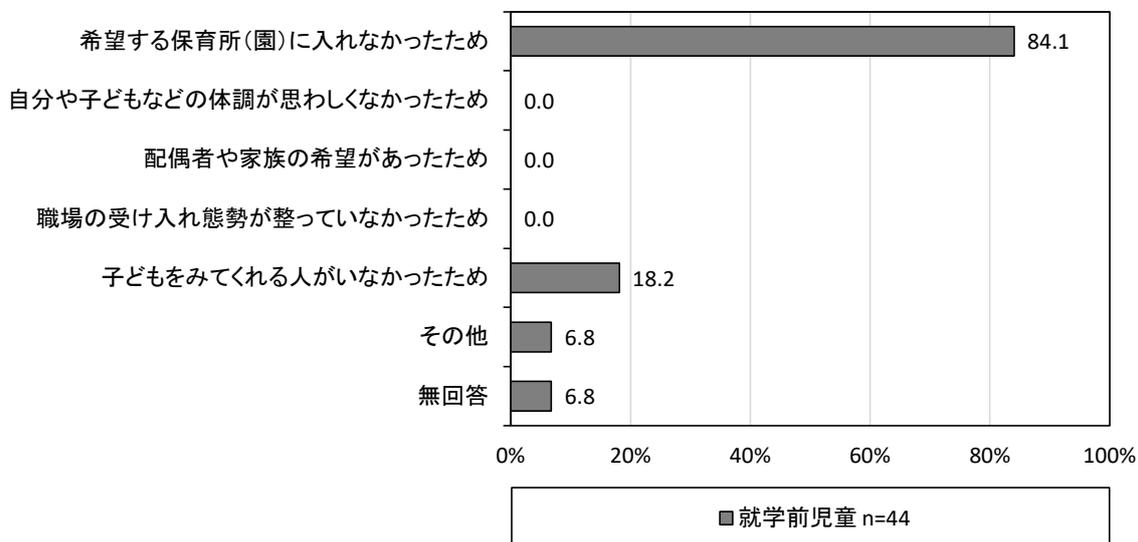


II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

【希望より遅く復帰した理由】

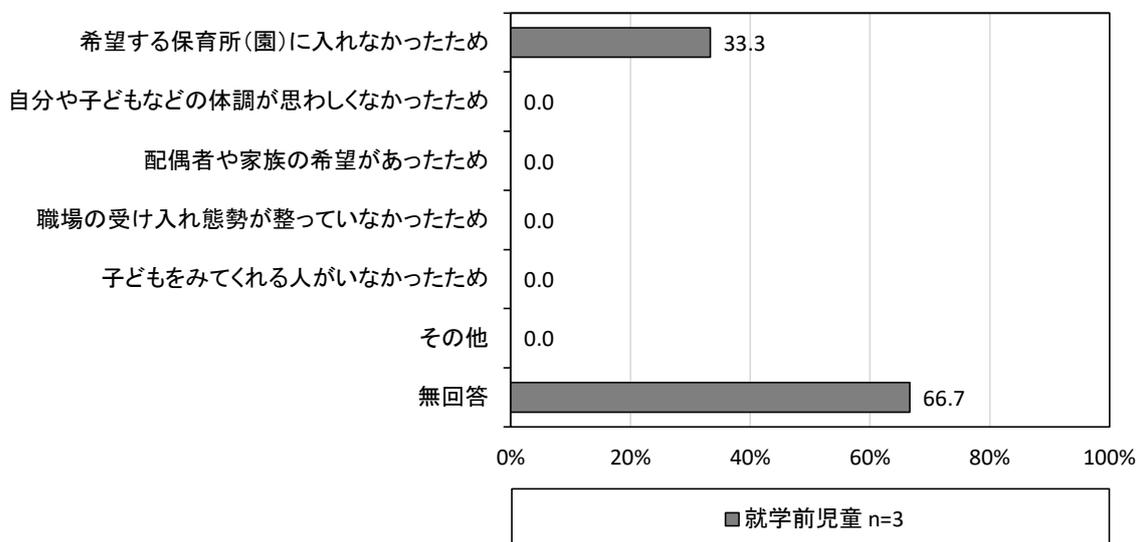
①母親

母親が希望より遅く職場復帰した理由については、「希望する保育所(園)に入れなかったため」が84.1%で最も高く、次いで、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が18.2%となっています。



②父親

父親が希望より遅く職場復帰した理由については、「希望する保育所(園)に入れなかったため」が33.3%で最も高くなっています。

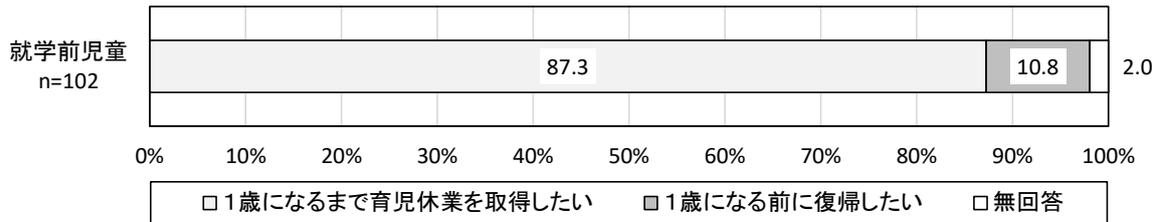


（2）で「現在も育児休業中である」を選択した方

**（5）子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか
〈単数回答〉[就学前児童調査：問25-4、小学生児童調査：-]**

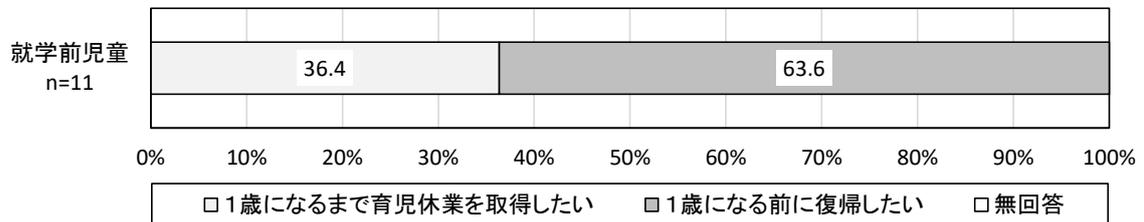
①母親

母親が、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が87.3%、「1歳になる前に復帰したい」が10.8%となっています。



②父親

父親が、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が36.4%、「1歳になる前に復帰したい」が63.6%となっています。

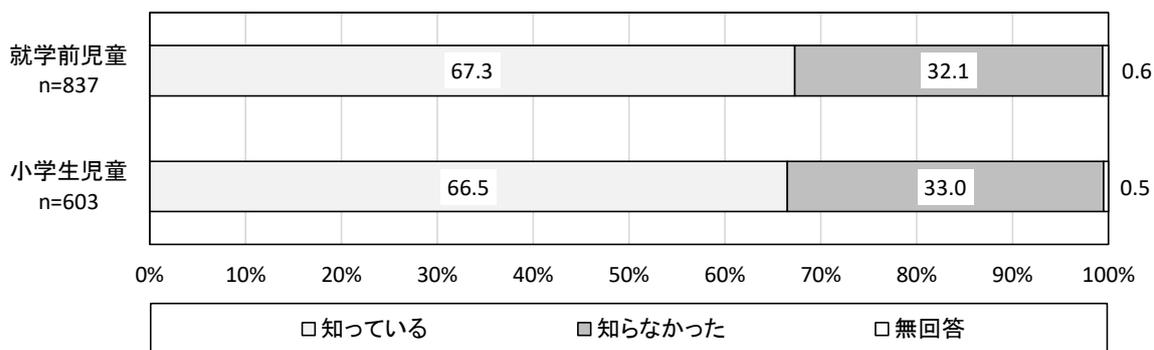


11. 子育て全般について

（1）児童福祉法及び児童虐待防止法の改正について知っていますか〈単数回答〉

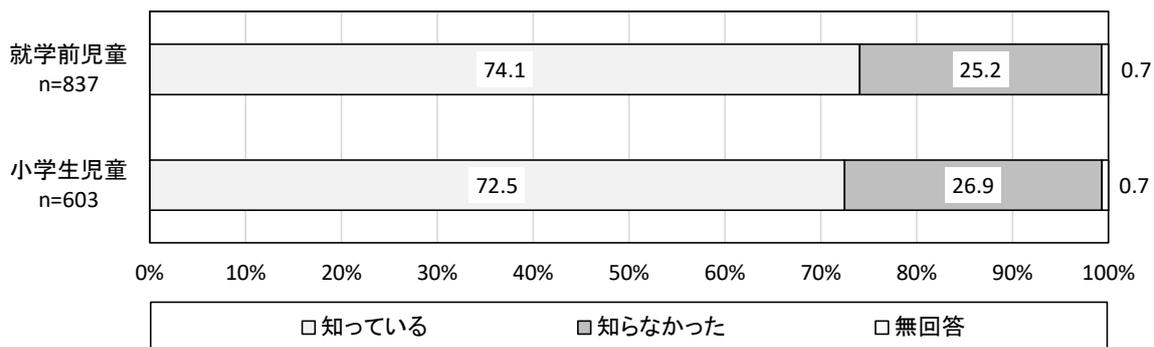
〔就学前児童調査：問 26、小学生児童調査：問 33〕

児童福祉法及び児童虐待防止法の改正について知っているかについては、「知っている」が就学前児童で 67.3%、小学生児童で 66.5%と最も高く、次いで、「知らなかった」が就学前児童で 32.1%、小学生児童で 33.0%となっています。



（2）虐待を受けたと思われる、または疑いのある児童を発見した際、市役所や児童相談所へ知らせる義務に関する認知度〈単数回答〉〔就学前児童調査：問 27、小学生児童調査：問 34〕

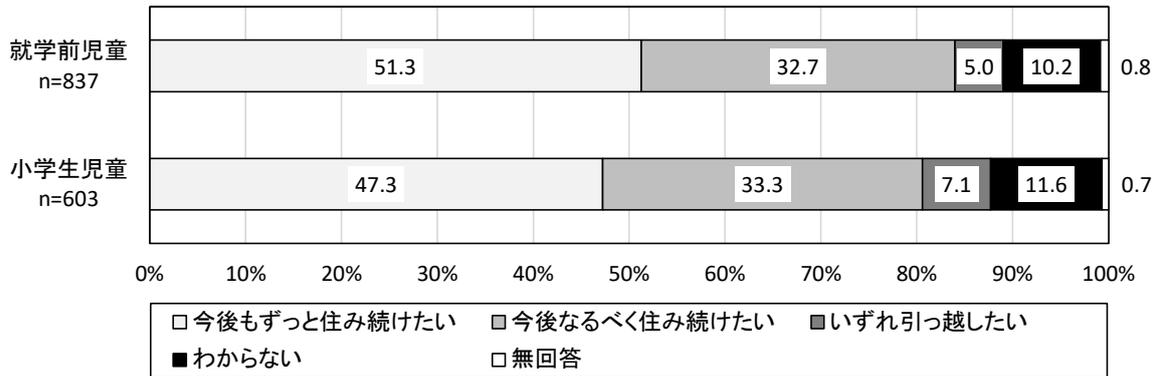
虐待を受けたと思われる、または疑いのある児童を発見した際、市役所や児童相談所へ知らせる義務に関する認知度については、「知っている」が就学前児童で 74.1%、小学生児童で 72.5%となっており、「知らなかった」が就学前児童で 25.2%、小学生児童で 26.9%となっています。



（3）今後もさくら市に住み続けたいか〈単数回答〉[就学前児童調査：問 28、小学生児童調査：問 35]

今後もさくら市に住み続けたいと思うかについては、「今後もずっと住み続けたい」が就学前児童で51.3%、小学生児童で47.3%と最も高く、次いで、「今後なるべく住み続けたい」が就学前児童で32.7%、小学生児童で33.3%となっています。

なお、「今後もずっと住み続けたい」と「今後なるべく住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』は就学前児童で84.0%、小学生児童で80.6%となっており、「いずれ引っ越したい」は就学前児童で5.0%、小学生児童で7.1%となっています。



（４）さくら市の子育て環境について感じる現在の満足度と今後の重要度〈単数回答〉

〔就学前児童調査：問 29、小学生児童調査：問 36〕

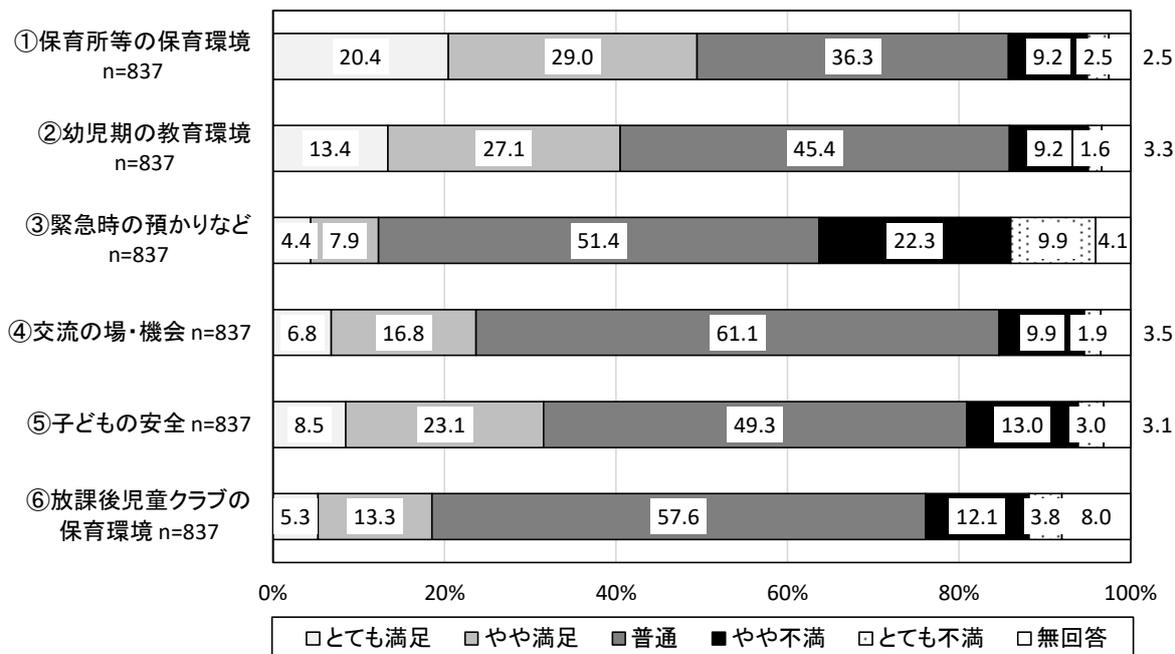
【満足度】

さくら市の子育て環境の満足度について、就学前児童の「とても満足」と「やや満足」を合わせた『満足』の割合をみると、「①保育所等の保育環境」が49.4%で最も高く、次いで、「②幼児期の教育環境」が40.5%となっています。「とても不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の割合をみると、「③緊急時の預かりなど」が32.2%で最も高く、次いで、「⑤子どもの安全」が16.0%となっています。

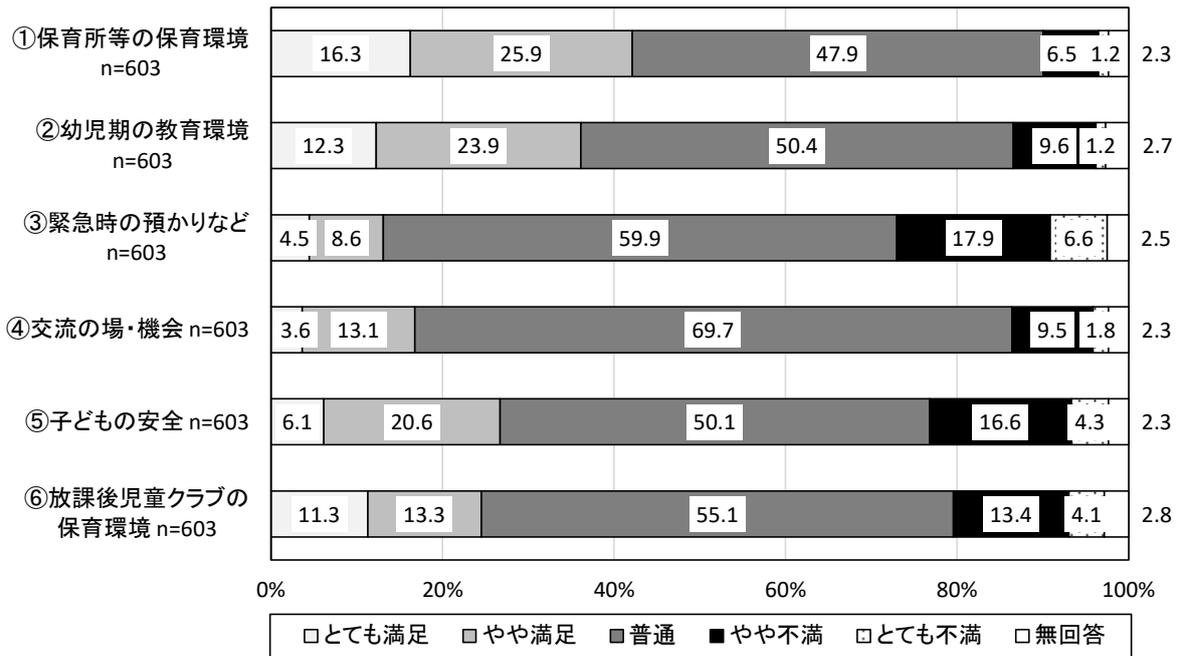
小学生児童の「とても満足」と「やや満足」を合わせた『満足』の割合をみると、「①保育所等の保育環境」が42.2%で最も高く、次いで、「②幼児期の教育環境」が36.2%となっています。

「とても不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の割合をみると、「③緊急時の預かりなど」が24.5%で最も高く、次いで、「⑤子どもの安全」が20.9%となっています。

■就学前児童



■小学生児童



II 調査結果（子ども・子育て支援ニーズ調査）

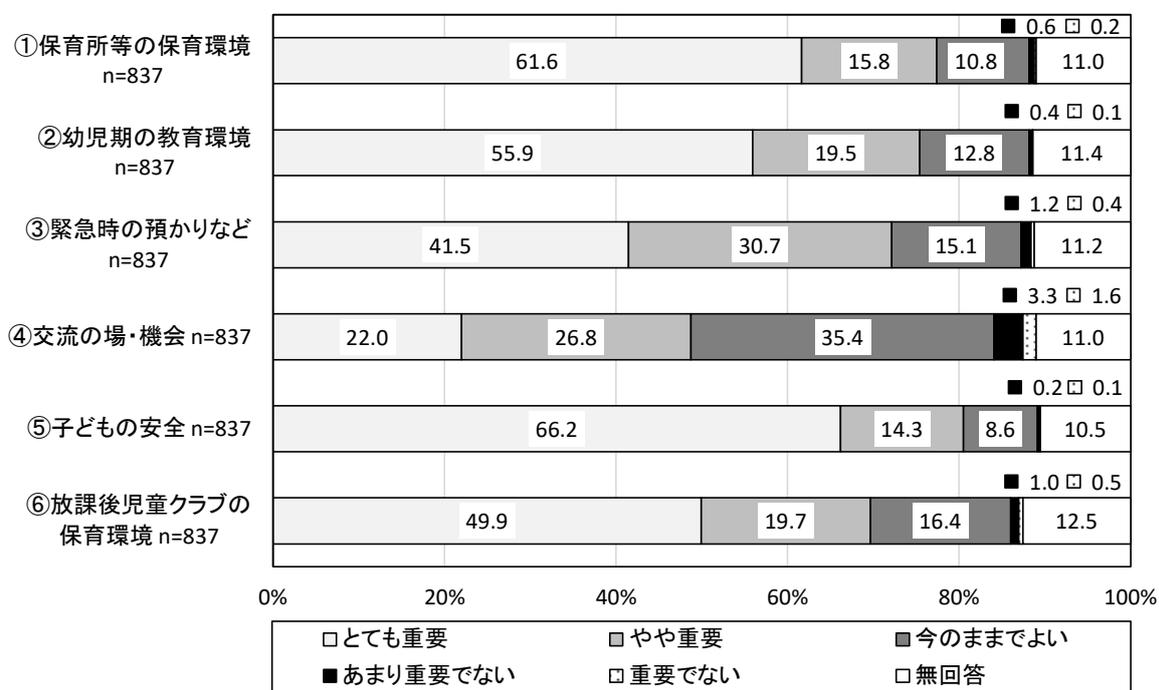
【重要度】

さくら市の子育て環境の重要度について、就学前児童の「とても重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の割合をみると、「⑤子どもの安全」が80.5%で最も高く、次いで、「①保育所等の保育環境」が77.4%となっています。「あまり重要ではない」と「重要でない」を合わせた『重要でない』の割合をみると、「④交流の場・機会」が4.9%で最も高く、次いで、「③緊急時の預かりなど」が1.6%となっています。

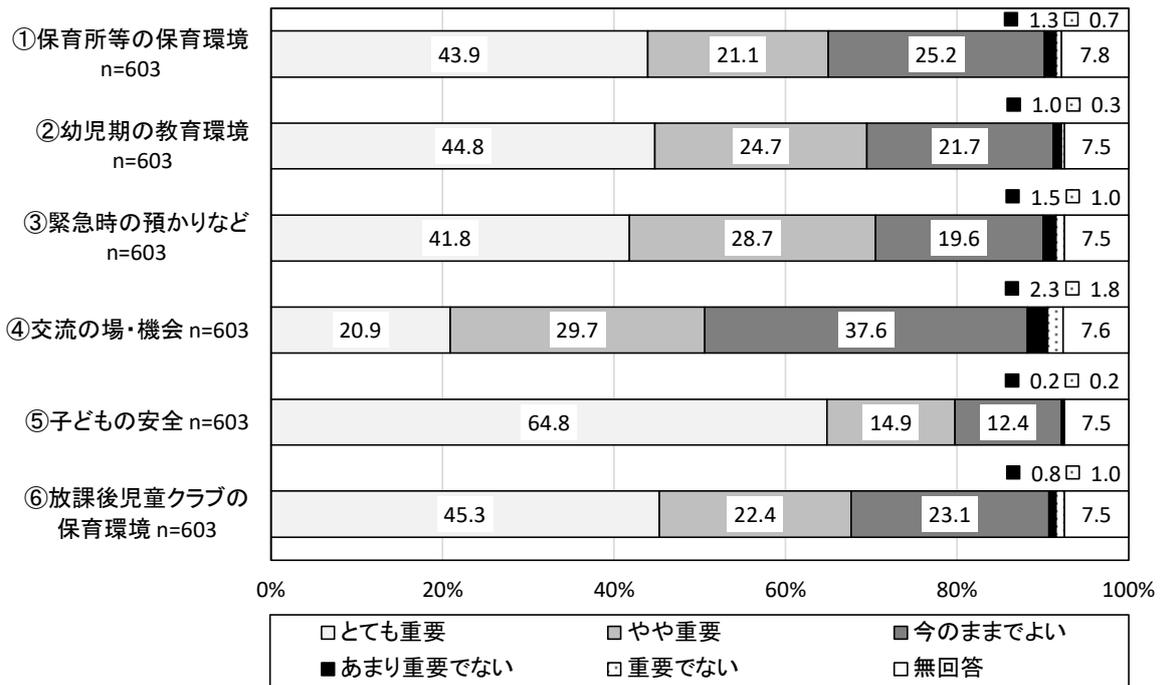
小学生児童の「とても重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の割合をみると、「⑤子どもの安全」が79.7%で最も高く、次いで、「③緊急時の預かりなど」が70.5%となっています。

「あまり重要ではない」と「重要でない」を合わせた『重要でない』の割合をみると、「④交流の場・機会」が4.1%で最も高く、次いで、「③緊急時の預かりなど」が2.5%となっています。

■就学前児童



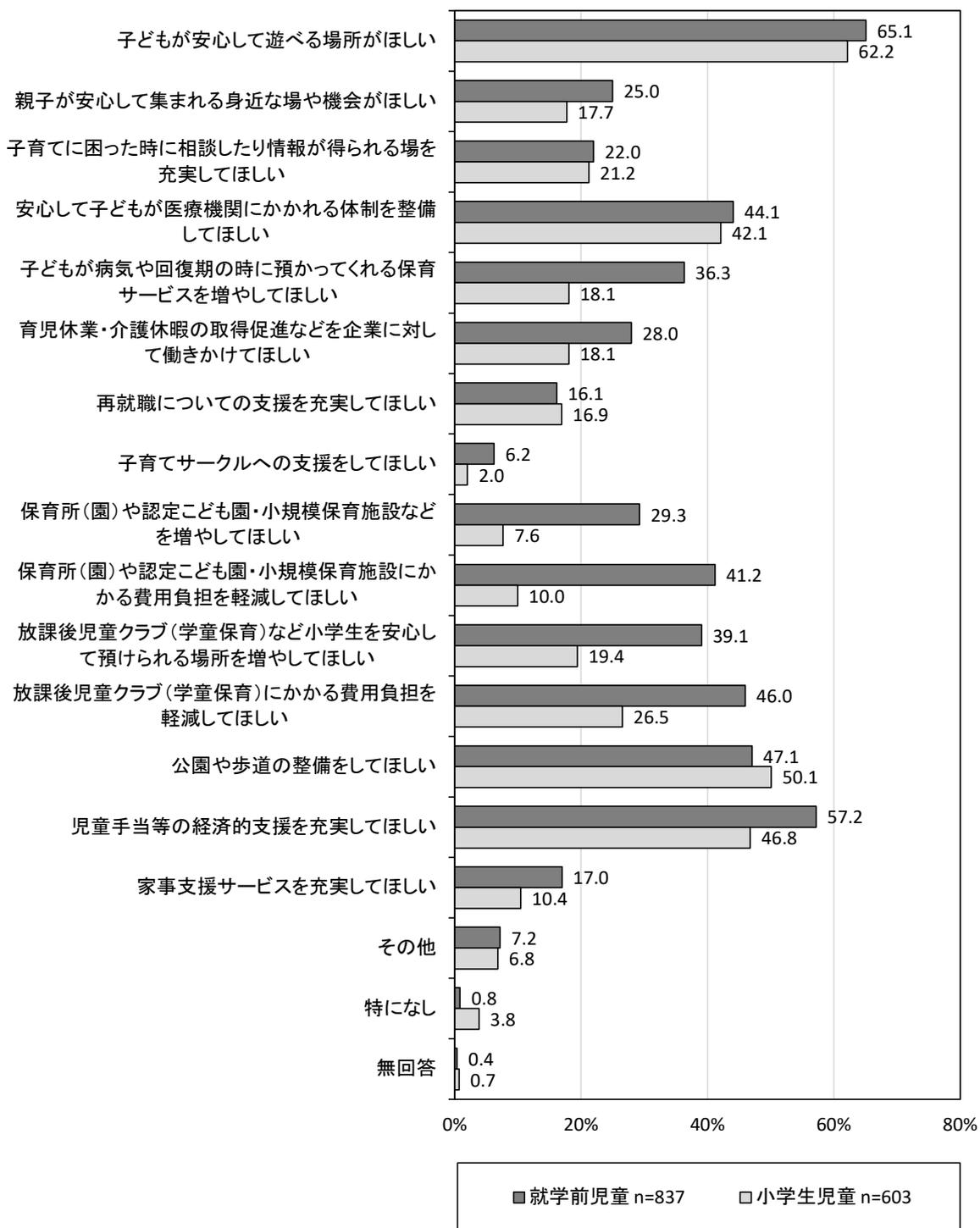
■小学生児童



（５）子育て支援で、もっと力をいれてほしいものは何か〈複数回答〉

〔就学前児童調査：問 30、小学生児童調査：問 37〕

子育て支援で、もっと力をいれてほしいものについては、就学前児童は「子どもが安心して遊べる場所が欲しい」が 65.1%で最も高く、次いで、「児童手当の経済的支援を充実して欲しい」が 57.2%、「公園や歩道の整備をして欲しい」が 47.1%となっています。小学生児童は「子どもが安心して遊べる場所が欲しい」が 62.2%で最も高く、次いで、「公園や歩道の整備をして欲しい」が 50.1%、「児童手当の経済的支援を充実して欲しい」が 46.8%となっています。



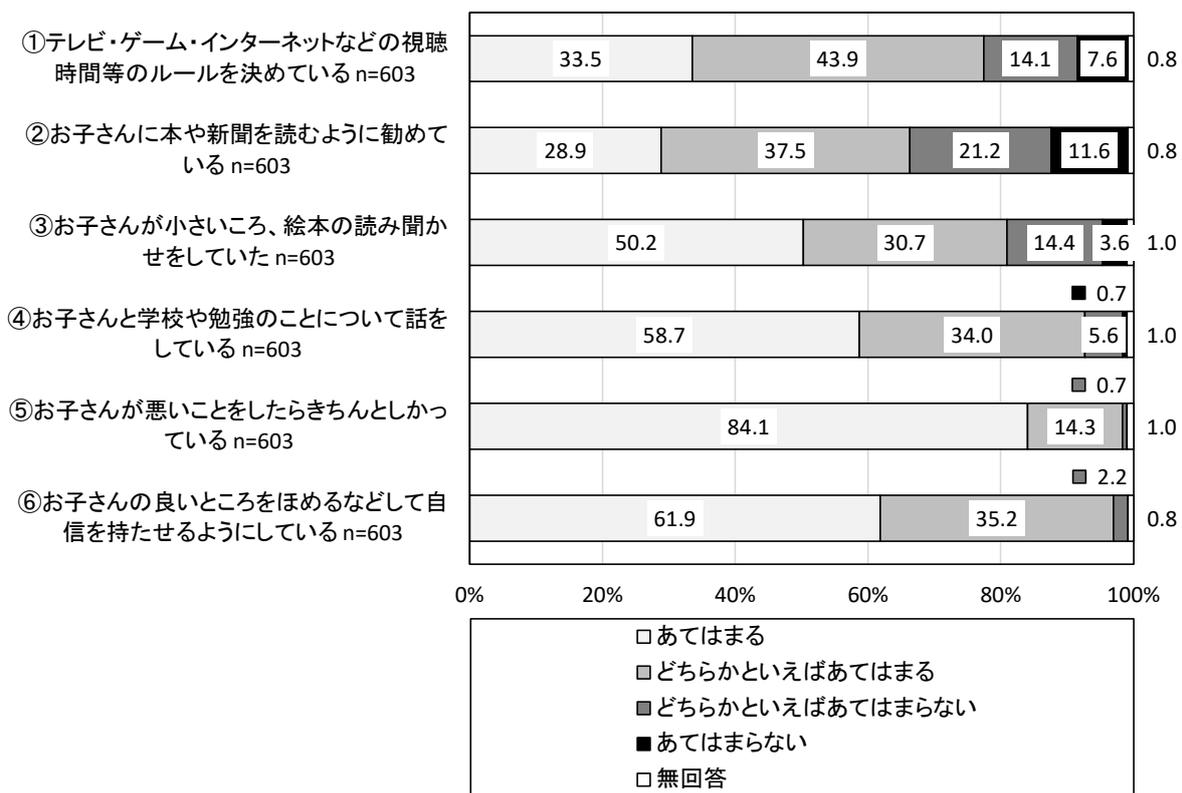
III 調査結果（子どもの生活実態調査）

1. お子さんの教育など家庭の様子について

（1）お子さんとの関わり方〈単数回答〉

〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 19〕

お子さんとの関わり方については、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』の割合をみると、「⑤お子さんが悪いことをしたらきちんとしかっている」が 98.4%で最も高く、次いで、「⑥お子さんの良いところをほめるなどして自信を持たせるようにしている」が 97.1%となっています。「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた『あてはまらない』の割合をみると、「②お子さんに本や新聞を読むように勧めている」が 32.8%で最も高く、次いで、「①テレビ・ゲーム・インターネットなどの視聴時間等のルールを決めている」が 21.7%となっています。

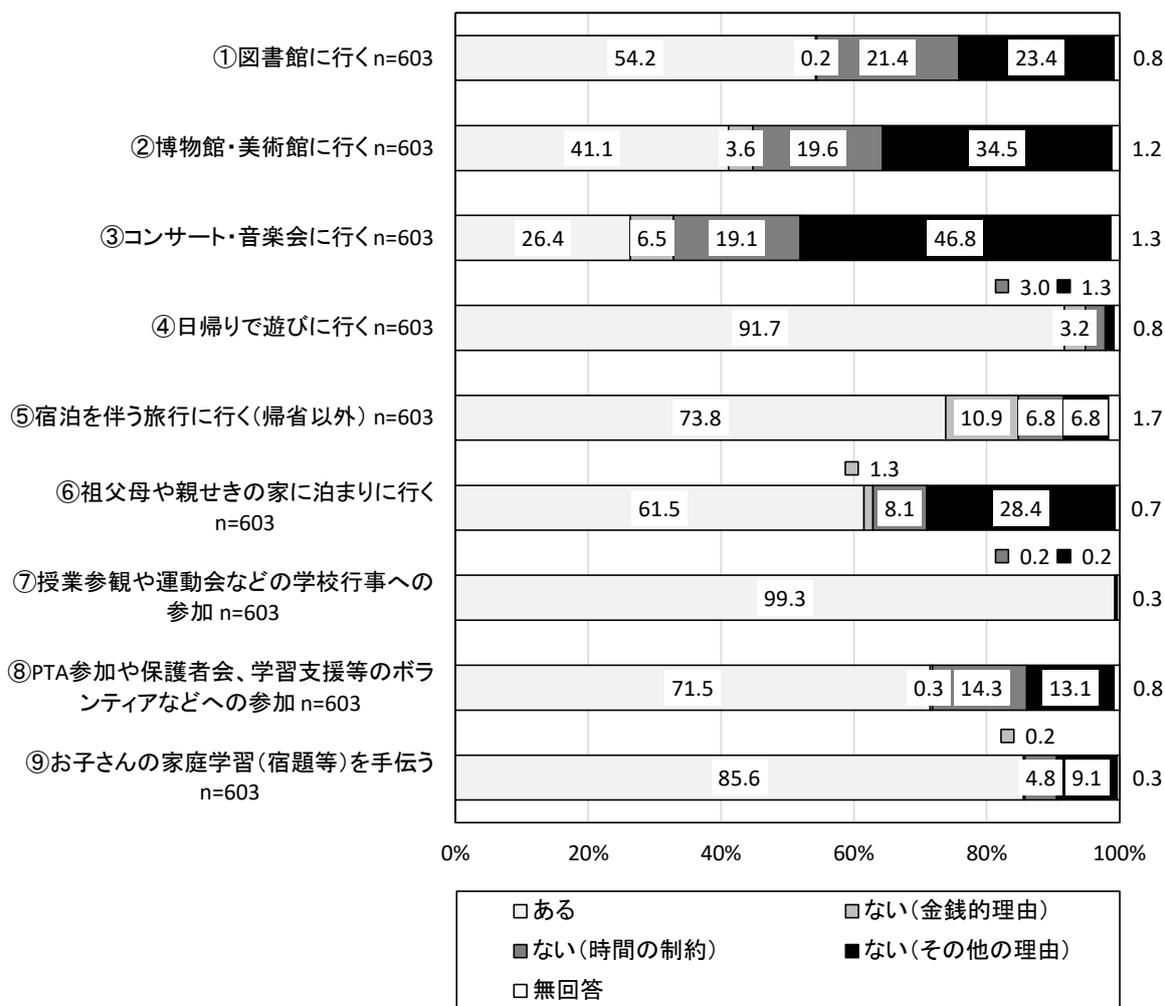


II 調査結果（子どもの生活実態調査）

（２）お子さんと一緒にしたり、参加したりすること〈単数回答〉

〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 20〕

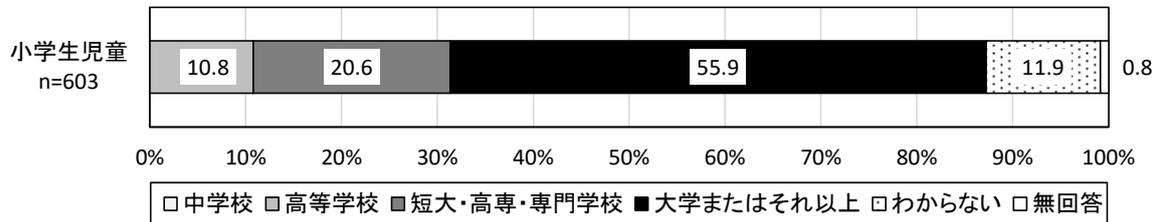
お子さんと一緒にしたり、参加したりすることについては、「ある」の割合をみると、「⑦授業参観や運動会などの学校行事への参加」が 99.3%で最も高く、次いで、「④日帰りで遊びに行く」が 91.7%となっています。「ない（金銭的理由）」、「ない（時間の制約）」と「ない（その他の理由）」を合わせた『ない』の割合をみると、「③コンサート・音楽会に行く」が 72.4%で最も高く、次いで、「②博物館・美術館に行く」が 57.7%となっています。



（３）希望として、お子さんには将来どの段階まで進学してほしいか〈単数回答〉

〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 21〕

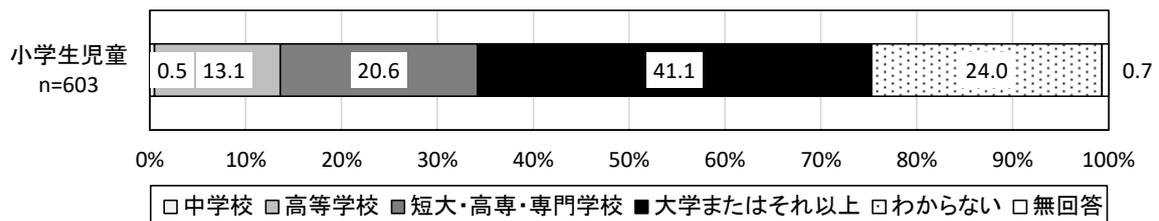
希望として、お子さんには将来どの段階まで進学してほしいかについては、「大学またはそれ以上」が 55.9%で最も高く、次いで、「短大・高専・専門学校」が 20.6%となっています。



（４）現実的に見て、お子さんは将来どの段階まで進学すると思うか〈単数回答〉

〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 22〕

現実的に見て、お子さんには将来どの段階まで進学すると思うかについては、「大学またはそれ以上」が 41.1%で最も高く、次いで、「短大・高専・専門学校」が 20.6%となっています。



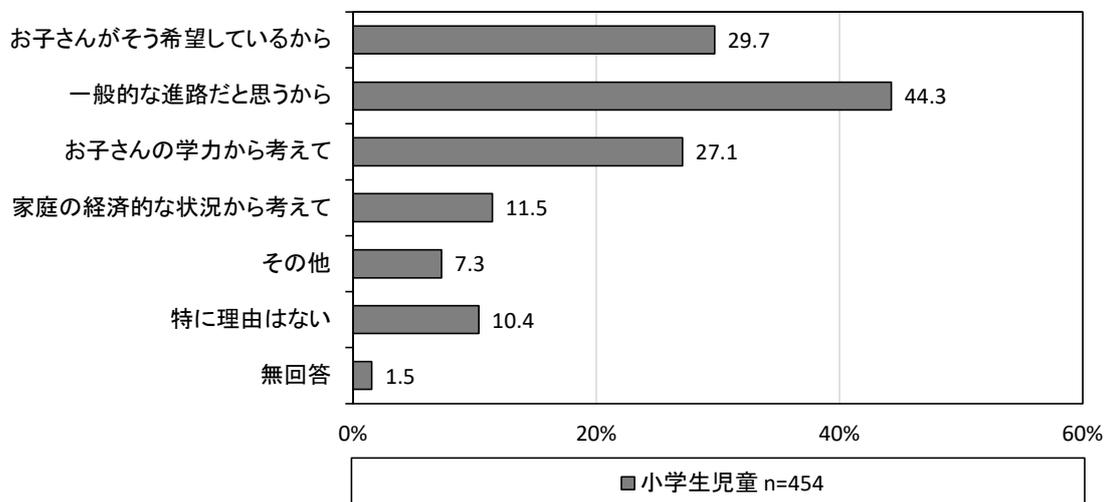
II 調査結果（子どもの生活実態調査）

（4）で「わからない」以外を選択した方

（5）お子さんが将来その段階まで進学すると答えた理由〈単数回答〉

〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 22-1〕

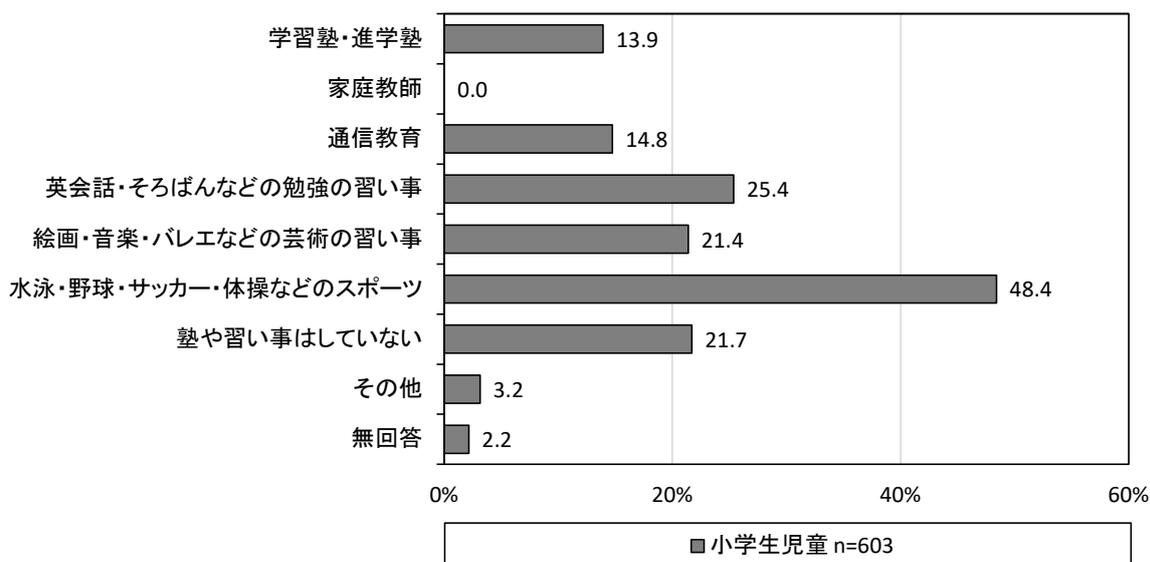
お子さんが将来その段階まで進学すると答えた理由については、「一般的な進路だと思うから」が 44.3%で最も高く、次いで、「お子さんがそう希望しているから」が 29.7%となっています。



（6）お子さんは現在、塾に通ったり習い事をしているか〈複数回答〉

〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 23〕

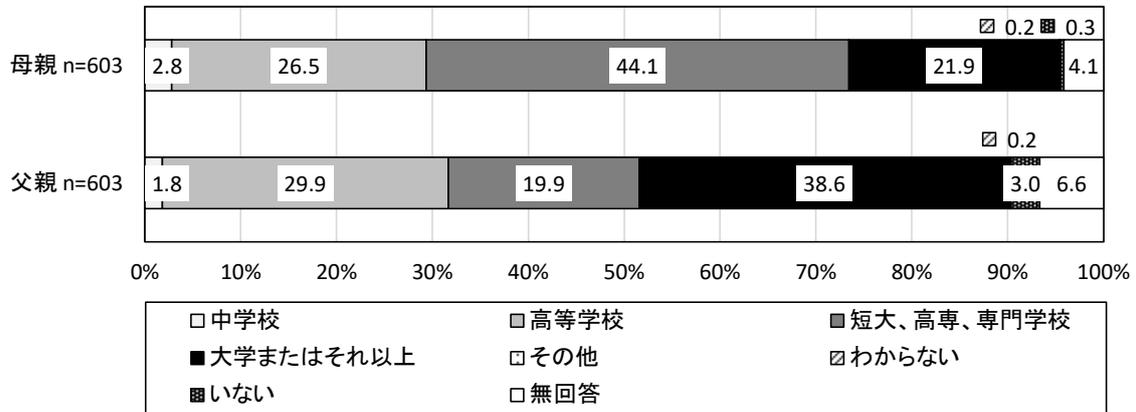
お子さんは現在、塾に通ったり習い事をしているかについては、「水泳・野球・サッカー・体操などのスポーツ」が 48.4%で最も高く、次いで、「英会話・そろばんなどの勉強の習い事」が 25.4%となっています。



（7）お子さんの親が卒業・修了した学校〈複数回答〉

〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 24〕

お子さんの親が卒業・修了した学校については、母親では「短大、高専、専門学校」が 44.1% で最も高く、次いで、「高等学校」が 26.5% となっています。父親では「大学またはそれ以上」が 38.6% で最も高く、次いで、「高等学校」が 19.9% となっています。

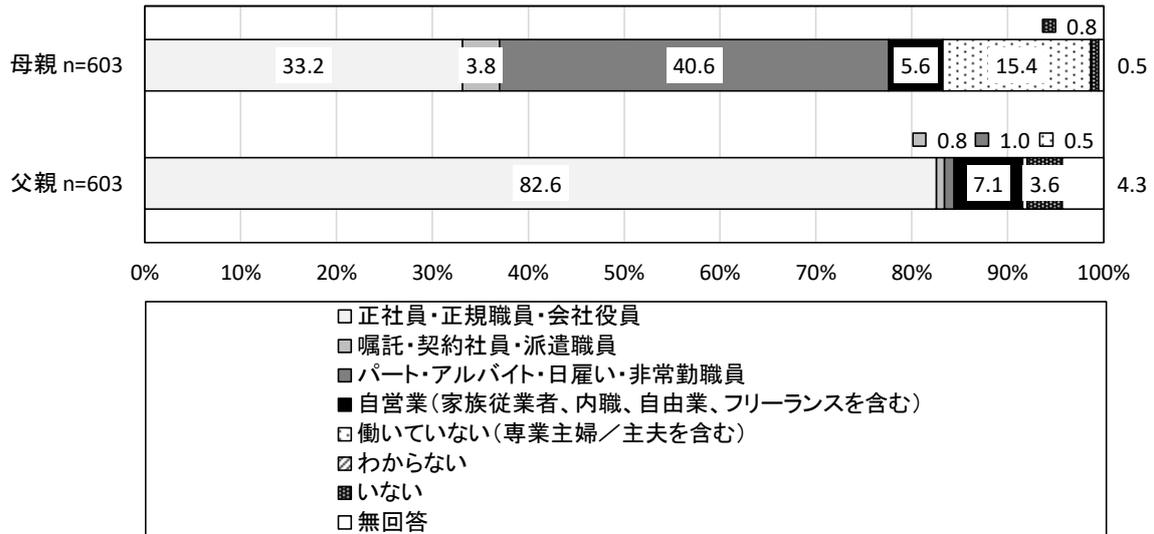


2. 家庭での暮らしについて

（1）お子さんの親の就労状況〈単数回答〉

〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 25〕

お子さんの親の就労状況については、母親では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 40.6%で最も高く、次いで、「正社員・正規職員・会社役員」が 33.2%となっています。父親では「正社員・正規職員・会社役員」が 82.6%で最も高く、次いで、「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）」が 7.1%となっています。

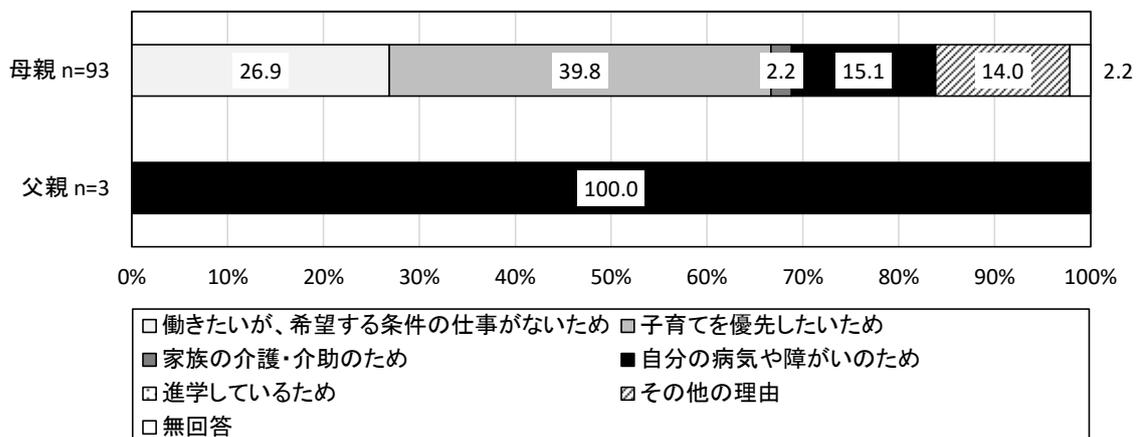


（1）で「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」を選択した方

（2）働いていない最も主な理由〈単数回答〉

〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 25〕

働いていない最も主な理由については、母親では「子育てを優先したいため」が 39.8%で最も高く、次いで、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 26.9%となっています。父親では「自分の病気や障がいのため」が 100.0%となっています。

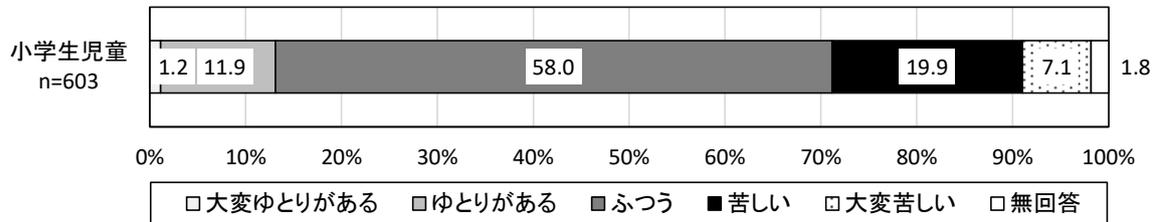


（3）あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じているか〈単数回答〉

〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 26〕

現在の暮らしの状況をどのように感じているかについては、「ふつう」が 58.0%で最も高く、次いで、「苦しい」が 19.9%となっています。

「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』の割合が 13.1%、「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた『苦しい』の割合が 27.0%となっています。

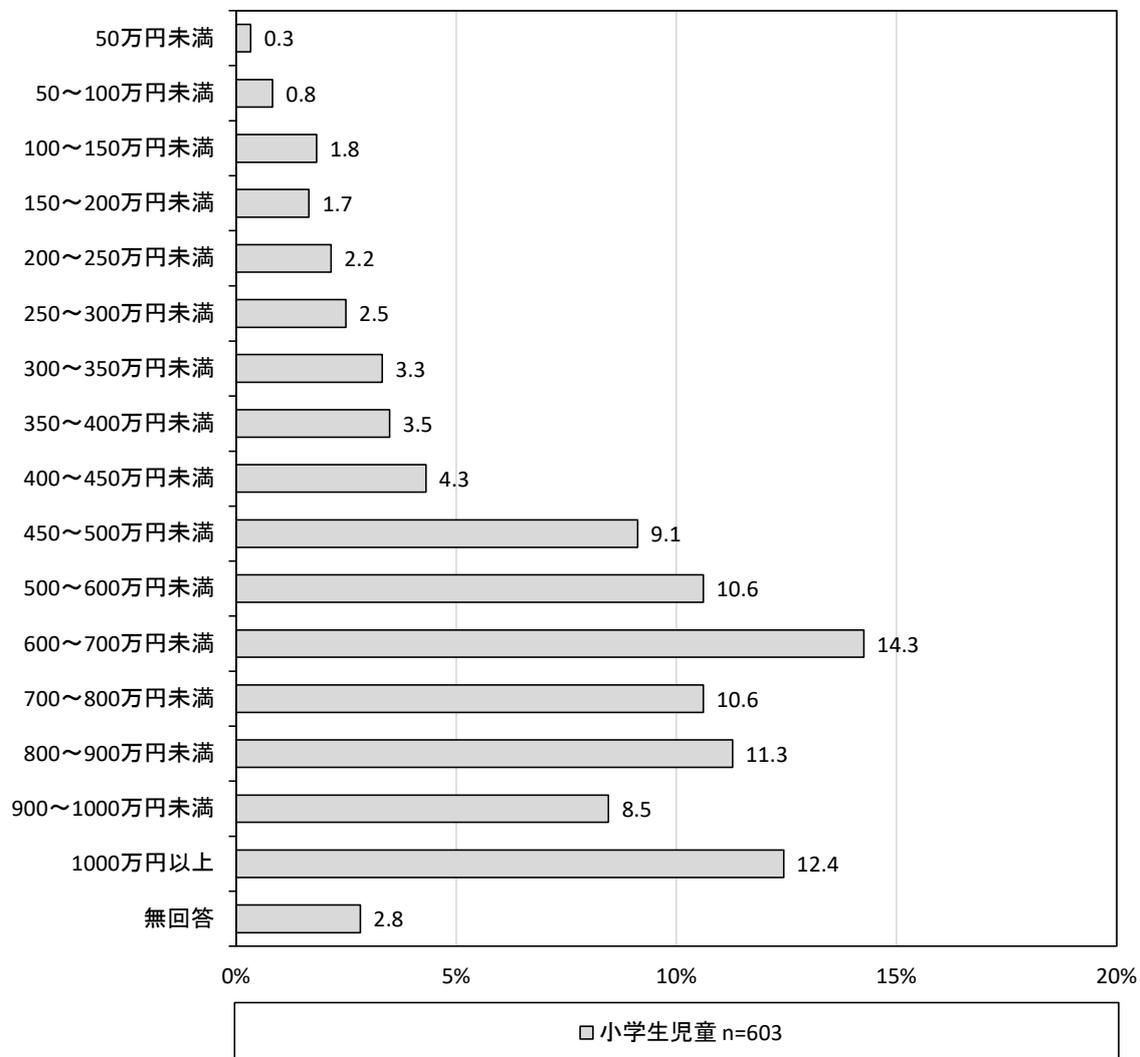


II 調査結果（子どもの生活実態調査）

（４）お子さんの世帯全体の令和５年中のおおよその年間収入〈単数回答〉

〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 27〕

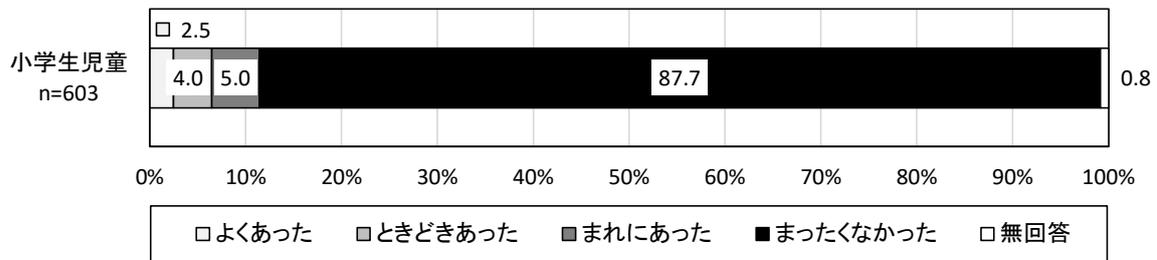
お子さんの世帯全体の令和５年中のおおよその年間収入については、「600～700万円未満」が14.3%で最も高く、次いで、「800～900万円未満」が11.3%となっています。



（５）お子さんの世帯では、過去１年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えなかったことがあったか〈単数回答〉〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 28〕

お子さんの世帯では、過去１年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えなかったことがあったかについては、「まったくなかった」が 87.7%で最も高く、次いで、「まれにあった」が 5.0%となっています。

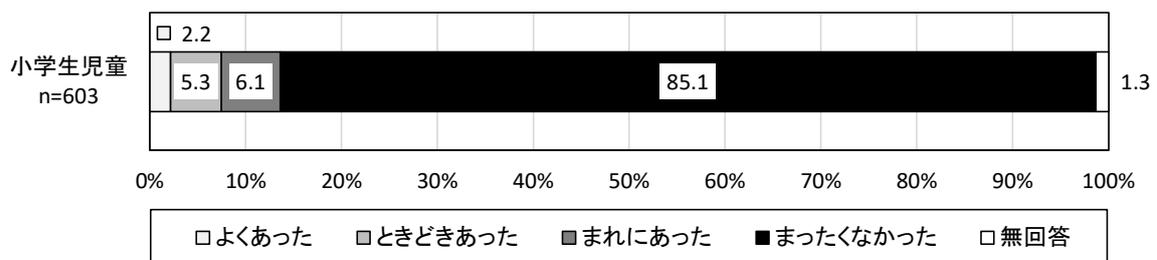
「よくあった」、「ときどきあった」と「まれにあった」を合わせた『あった』の割合が 11.5% となっています。



（６）お子さんの世帯では、過去１年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えなかったことがあったか〈単数回答〉〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問 29〕

お子さんの世帯では、過去１年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えなかったことがあったかについては、「まったくなかった」が 85.1%で最も高く、次いで、「まれにあった」が 6.1%となっています。

「よくあった」、「ときどきあった」と「まれにあった」を合わせた『あった』の割合が 13.6% となっています。

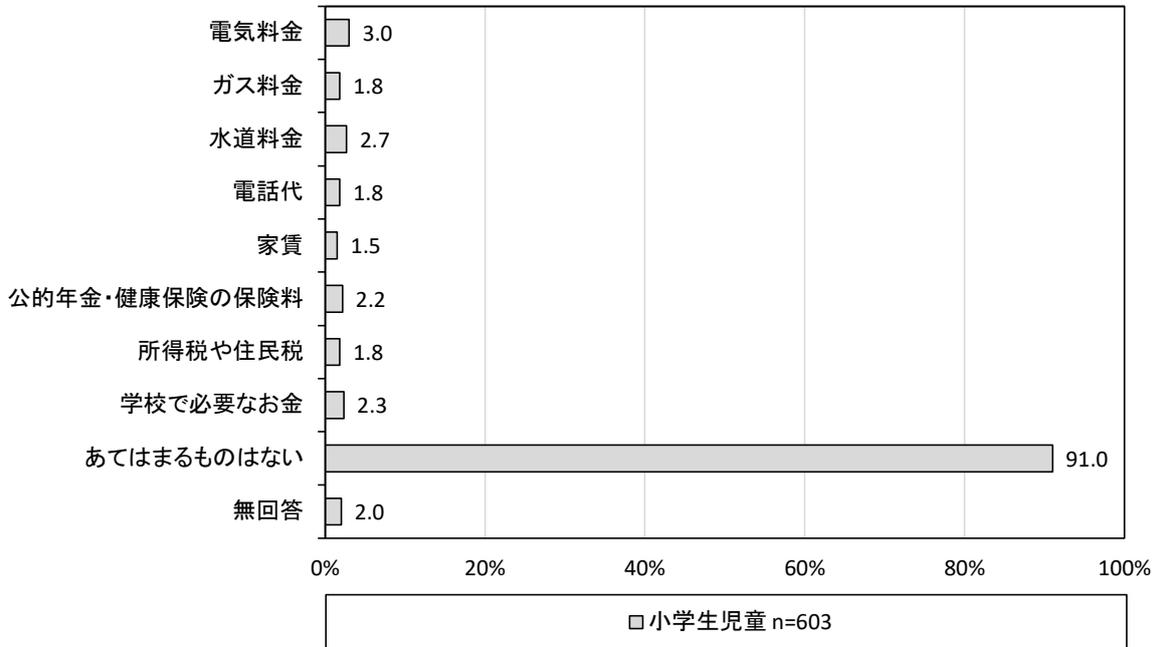


II 調査結果（子どもの生活実態調査）

（7）お子さんの世帯では、過去1年間の間に、経済的な理由で未払いになったことがあるか〈複数回答〉

〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問30〕

お子さんの世帯では、過去1年間の間に、経済的な理由で未払いになったことがあるかについては、「あてはまるものはない」が91.0%で最も高く、次いで、「電気料金」が3.0%となっています。

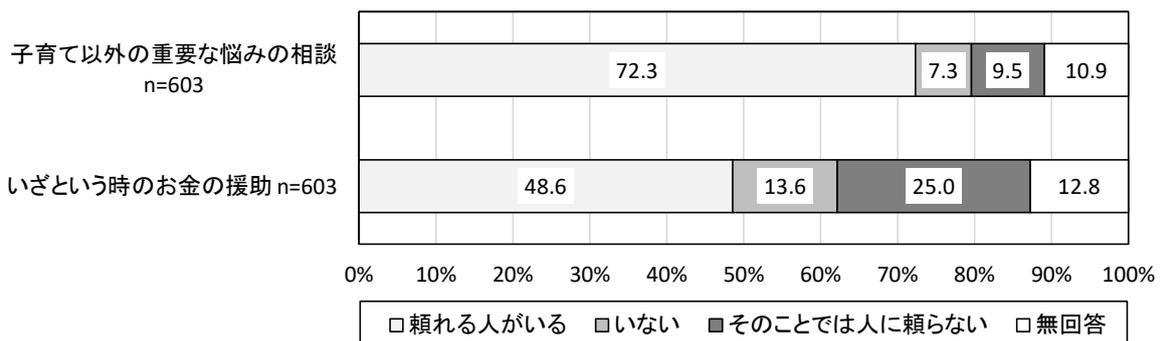


（8）悩みやお金の援助で頼れる人の有無と相談相手〈複数回答〉〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問

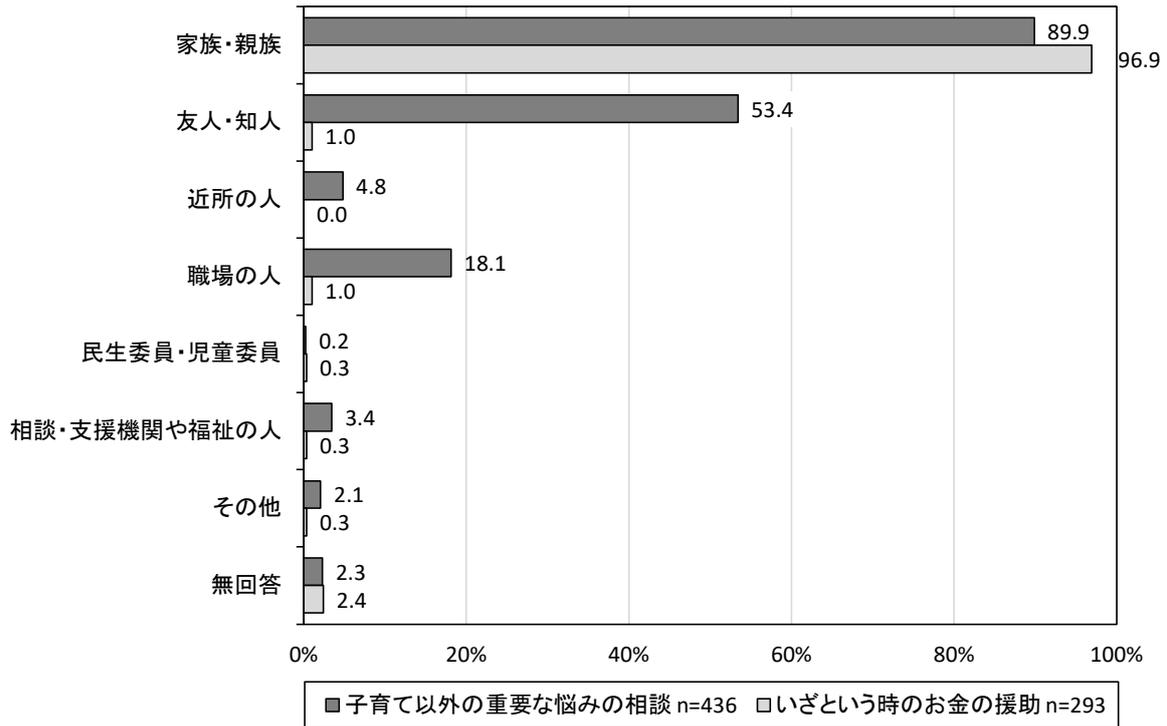
31〕

悩みやお金の援助で頼れる人の有無については、「子育て以外の重要な悩みの相談」では「頼れる人がいる」が72.3%で最も高く、次いで、「そのことでは人に頼らない」が9.5%となっています。「いざという時のお金の援助」では「頼れる人がいる」が48.6%で最も高く、次いで、「そのことでは人に頼らない」が25.0%となっています。

相談相手については、「子育て以外の重要な悩みの相談」では「家族・親族」が89.9%で最も高く、次いで、「友人・知人」が53.4%となっています。「いざという時のお金の援助」では「家族・親族」が96.9%で最も高く、次いで、「友人・知人」、「職場の人」がともに1.0%となっています。



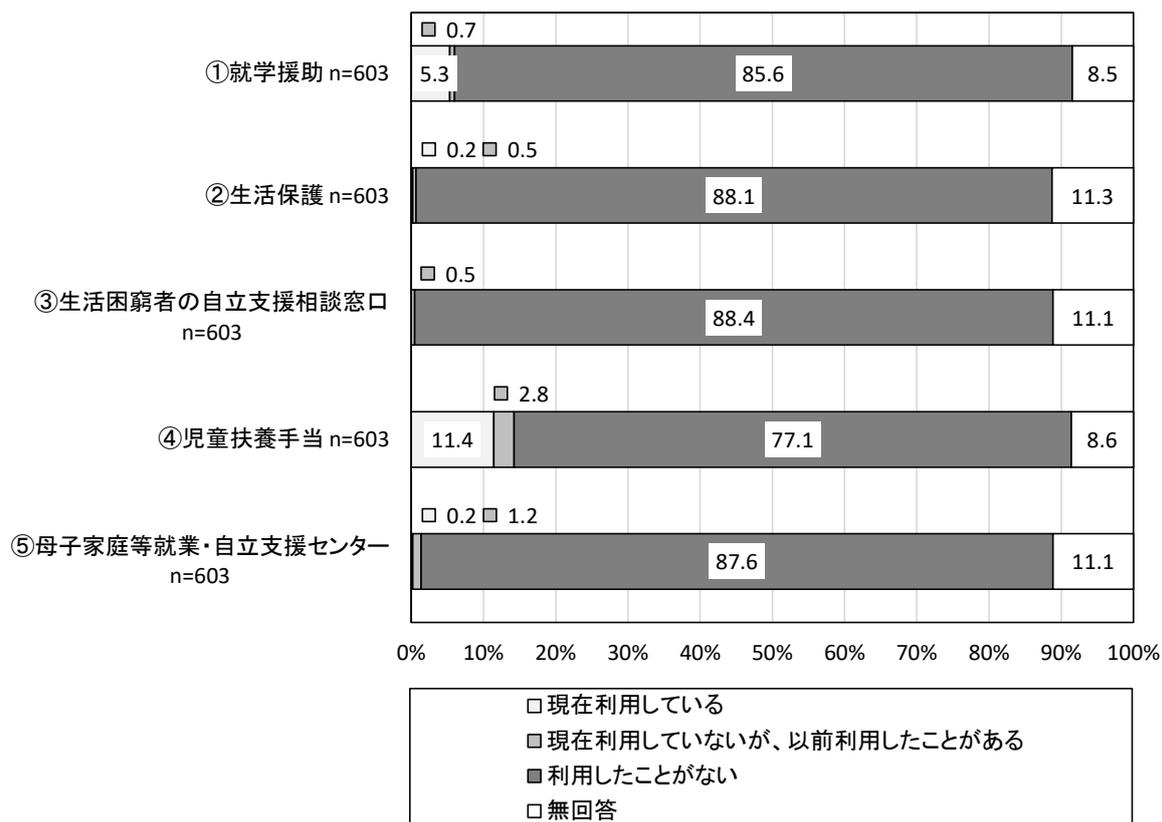
【相談相手】



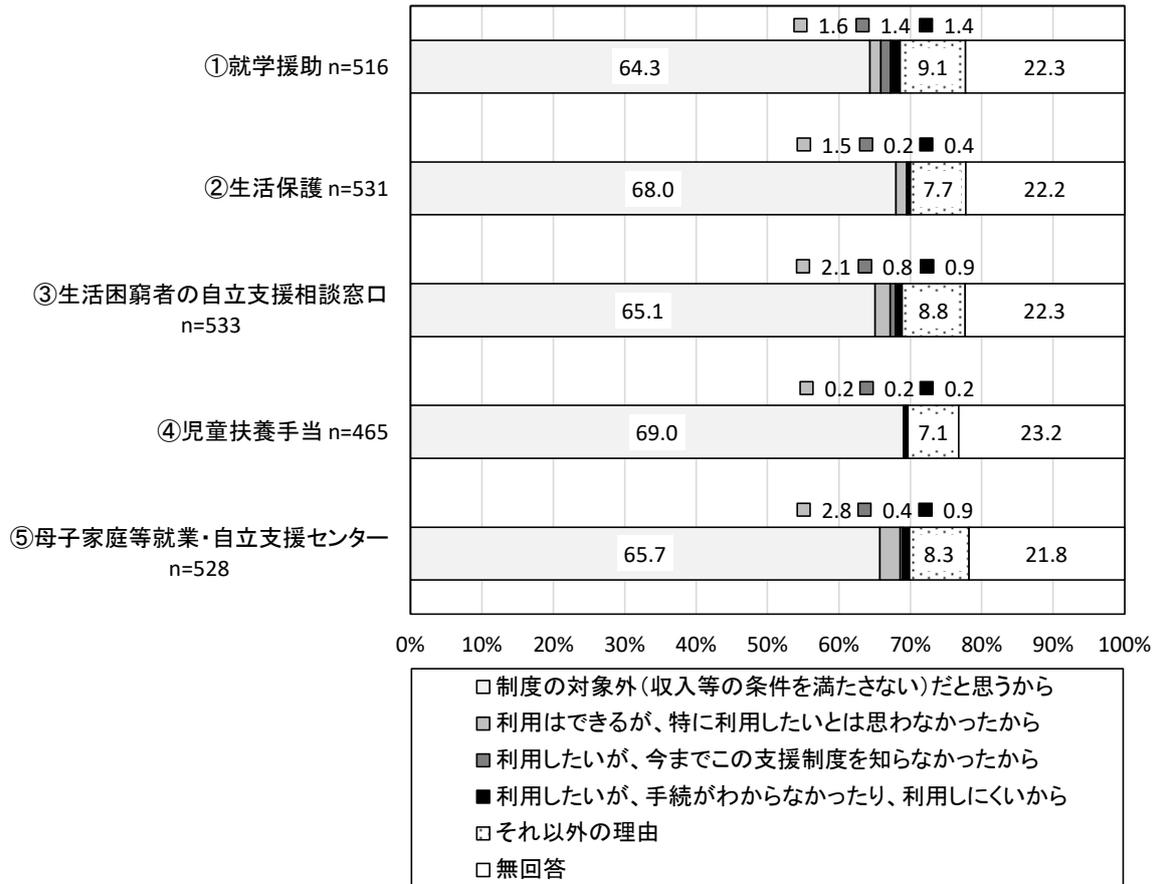
（9）支援制度の利用の有無と利用しない理由〈単数回答〉〔就学前児童調査：一、小学生児童調査：問32〕

支援制度の利用の有無については、「利用したことがない」がすべての支援制度で最も高くなっています。

利用しない理由については、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた『利用したい』の割合を見ると、「①就学援助」が2.8%で最も高く、次いで、「③生活困窮者の自立支援相談窓口」が1.7%となっています。



【利用しない理由】



さくら市
子育て支援についてのアンケート調査
【結果報告書】

令和6年5月発行

発行 さくら市

編集 さくら市 健康福祉部 こども政策課

〒329-1392 栃木県さくら市氏家 2771 番地

TEL : 028-681-1125 FAX : 028-681-1482